SONY

3-867-681-**05** (1)

SONY
コードレス留守番電話機 SPP-C500/C500PG

コードレス
留守番電話機

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

名のってる



写真はSPP-C500です。
SPP-C500PGには子機が2台付属されています。

SPP-C500/C500 PG

ナンバー・ディスプレイ対応 キャッチホン・ディスプレイ

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

↓

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、電源アダプターや充電台のプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、電源アダプターや充電台などが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災　感電

行為を禁止する記号



禁止　分解禁止　接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く　強制

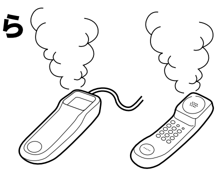
親機から変な音・においがしたら、煙が出たら



↓

❶電源アダプターをコンセントから抜く
❷電話回線コードを抜く
❸お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する（修理時は、親機と子機を両方お持ちください）

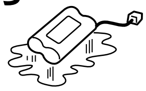
子機・充電台から変な音・においがしたら、煙が出たら



↓

❶子機なら、バッテリーをはずす
充電台なら、電源プラグをコンセントから抜く
❷お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する（修理時は、親機と子機を両方お持ちください）

バッテリーパックから液が漏れたら



↓

- すぐに火気から遠ざける
- 目に入った場合は、きれいな水で洗った後、すぐに医師に相談する
- 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す
- お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する（修理時は、親機と子機を両方お持ちください）

目次

初めてお使いになるかたは、まず「設置と接続」（☞10ページ）をお読みください。

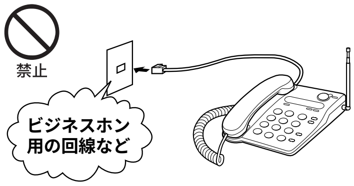
⚠警告



下記の注意事項を守らないと
火災・感電により大けがの原因と
なります。

ホームテレホン・ビジネスホン用の回線などに接続しない

家庭用電話をホームテレホン・ビジネスホン用の回線に接続すると必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となります。
回線の種類などをお確かめのうえご使用ください。



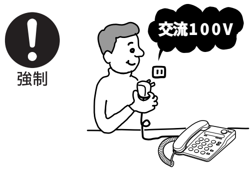
内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源アダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



本機は国内専用です

電源アダプター・充電台は交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

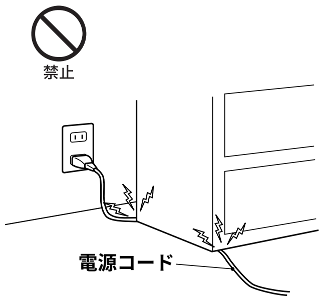


電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグまたはアダプター本体を持って抜く。
- 電源コードを金属などで柱などに固定しない。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。



内部を開けない

故障・感電・火災の原因となります。 お客様が本機の分解や改造をすることは法律で禁止されています。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



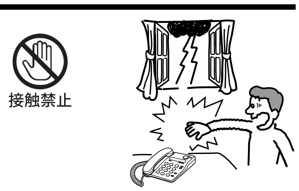
湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光の当たる場所には置かない

火災や感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、本機、電話回線コード、電源アダプター、充電台に触れない

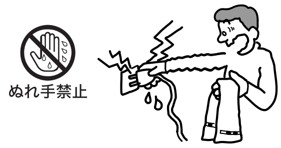
感電の原因となります。



⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグまたは電源アダプターに触らない

感電の原因となることがあります。

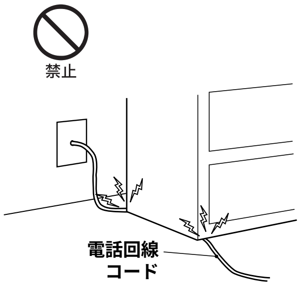


電話回線コードを傷つけない

電話回線コードを傷つけると、感電の原因となることがあります。

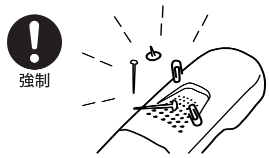
- 電話回線コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電話回線コードを抜くときは、必ずプラグのツメを押さえて抜く。
- 電話回線コードを金属などで柱などに固定しない。

万一、電話回線コードが傷んだら、新しいものにお取り替えください。
詳しくは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



子機のスピーカーに吸着物がないか確認してから使う

スピーカー部の磁石に画鋲やピンなどの金属が吸着し、思わぬけがをすることがあります。



医療機器の近くで使用する場合は必ず使用許可を得る

本機の発する電磁波が、医療機器に影響を及ぼす場合があります。
医療機器の近くで本機をご使用になる場合は、必ず使用許可を得てください。



お手入れの際、電源プラグまたは電源アダプターを抜く

電源プラグまたは電源アダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



壁にしっかり取り付ける

壁に取り付ける場合は、機器の重みにより落下しないよう堅固に取付・設置してください。けがの原因となることがあります。



幼児の手の届かないところに置く

小さい部品や付属品を幼児が誤飲する恐れがあります。



スピーカー部や充電台に磁気カード類を近づけない

キャッシュカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気を使用したカード類をスピーカー部や充電台に近づけないでください。カード類が使えなくなることがあります。



電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

- 指定された充電台以外で充電しない。
- 火の中に入れない。電池の＋と－端子を金属などでショートさせたり、分解、加熱しない。コイン、ヘヤーピン、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 充電式電池に貼ってあるビニールをはがしたり、傷つけない。
- 水、雨水、海水などで濡れた電池を充電したり、使用しない。
- 電池内部の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠警告

- 指定された電池を使用する。
- 電池内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こす恐れがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。

⚠注意

- コネクターを正しい向きで差し込む。
- 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 付属のバッテリーパックの充電温度範囲は5°C～35°Cです。この温度範囲以外で使用すると、充電池の液が漏れたり、発熱する原因となることがあります。
- ニカド電池はそのまま廃棄しないで下記の「リサイクルのお願い」に従ってください。

リサイクルのお願い

Ni-Cd

このマークはニカド電池のリサイクルマークです。

この製品には、ニカド電池を使用しています。ニカド電池はリサイクルできる貴重な資源です。ニカド電池の交換および、ご使用済みの製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、ニカド電池リサイクル協力店へご持参ください。

この説明書の読みかた

本機をお使いになる前に、接続と初期設定の作業が必要です。この取扱説明書の10〜19ページにある設置と接続の項目を必ずお読みになって、設置と接続と初期設定を確実に行ってください。

この取扱説明書では、SPP-C500とSPP-C500PGの両方の説明をしています。
お使いの機種により機能や操作が異なるところがあります。

● SPP-C500をお買い上げのお客様へ

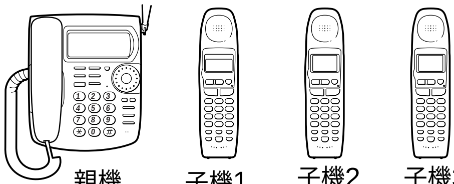
SPP-C500には子機が１台付属されています。

別売りの子機を増設していない場合



「子機1台の場合」と書いてある部分をお読みください。

別売りの子機SPP-HC700を増設している場合

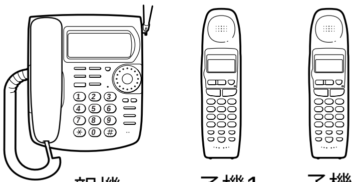


「子機が2台以上ある場合」と書いてある部分をお読みください。

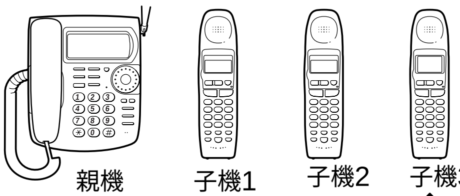
● SPP-C500PGをお買い上げのお客様へ

SPP-C500PGには子機が2台付属されています。

別売りの子機を増設していない場合



別売りの子機SPP-HC700を増設している場合



「子機が2台以上ある場合」と書いてある部分をお読みください。

その他の部分については、お使いの機種に関係なくお読みください。

本書で使っているマーク

- ボイスガイドの内容
- 参照ページ
- ご注意または確認事項
- ちょっと一言（知っていると便利な情報）

親機、**子機** 親機と子機で操作方法が違うときに、使っています。どちらかで操作してください。

こんなことができます

● 自分で作ったメロディーを着信音や保留音に使えます。　**—着信メロディー機能(☞84ページ)**
● 通話中にかかってきたキャッチホンの相手に、かけ直しをしてもらうメッセージを流し、もとの相手との通話に戻れます。
—通話優先機能(☞78､82ページ)
● 親機は100件、子機は10件の電話番号を登録して簡単に電話をかけることができます。
—電話帳機能(☞46､48､55ページ)
● かかってきた電話の相手に名前を名のらせることができます(親機のみ)。
—お名前名のらせ機能(☞88ページ)
● 親機･子機それぞれで、最近かけた10件の電話番号が残ります。　**—発信データ履歴機能(☞79ページ)**
● 指定した時刻に子機でベルを鳴らすことができます。
—モーニングコール機能(☞86ページ)
● 親機･子機とも持たずに通話(ハンズフリー)できます。　**—スピーカーホン(☞29ページ)**
● テープ不要のDSP録音(Digital Signal Processor)で、簡単に留守録の用件再生やスキップなどができます。　**(☞96ページ)**
● おトクな市外回線を自動的に選んで電話がかけられます。また、およその通話料金をお知らせします。
—α-ALPHA5Lite機能(☞110､118ページ)
● 電話がかかってきたとき、子機のベルを親機よりも先に鳴らすことができます。
—優先着信(☞90ページ)
● おやすみ中に電話がかかってきたとき、応答メッセージや相手の声を聞こえなくすることができます。
—おやすみ応答設定(☞92ページ)
● 正しく動作していないとき、その状態をお知らせします。　**—自己診断表示機能(☞129ページ)**
● 設定や登録などの操作を登録メニューと音声(親機のみ)で案内してくれます。
—登録メニュー･ボイスガイド(☞下記)

親機

(キャッチ/登録)を押すと、登録メニュー番号入力表示が出て、次のボイスガイドが流れます。
「1 電話帳登録、2 おことわり先登録、3 応答メッセージ録音、4 日時設定、5 着信メロディ設定、6 メロディ登録、7 暗証番号登録、8アルファファイブ、9 ナンバーコール設定、＃（シャープ）電話帳グループ登録、✳（アスタ）その他の登録操作です。番号をひとつ押してください。」
このあと(1)～(9)または(✳)、(#)のダイヤルボタンを押すと、選択された登録の手順をボイスガイドでお知らせします。

(キャッチ/登録)の次に押すボタン	内容	参照ページ
(1)	電話帳登録	☞48
(2)	おことわり先電話番号登録	☞41
(3)	自作応答メッセージ録音	☞97
(4)	日付、時刻設定	☞15
(5)	着信メロディー設定	☞85
(6)	メロディー登録	☞84
(7)	暗証番号登録	☞101
(8)	α-ALPHA5Lite	☞113
(9)	ナンバーコール設定	☞45
(#)	電話帳グループ登録	☞47
(✳)	その他の登録操作	☞下記

ちょっと一言
ボイスガイドは最後まで聞かずにすぐに次の手順に進んでも構いません。
また、(1)～(9)以外のボタンを使って登録する場合もボイスガイドを聞く必要はありません。

(#)ボタン（グループ登録操作）を押すと、グループ登録メニュー番号入力表示が出て、次のボイスガイドが流れます。
「1 ご指名コール登録、2 応答メッセージ録音。番号をひとつ押してください。」
このあと(1)～(2))のダイヤルボタンを押すと、選択された登録の手順をボイスガイドでお知らせします。

(キャッチ/登録)(#)の次に押すボタン	内容	参照ページ
(1)	グループご指名コール登録	☞72
(2)	グループ自作応答メッセージ録音	☞74

ちょっと一言
ボイスガイドは最後まで聞かずにすぐに次の手順に進んでも構いません。

(✳)ボタン（その他の登録操作）を押すと、その他の登録メニュー番号入力表示が出て、次のボイスガイドが流れます。
「1 ベル回数、2 アルファファイブ設定、3 回線選択、4 ナンバー・ディスプレイ選択、 5 応答メッセージ選択、6 非通知理由音声呼び出し設定、7 おやすみ応答設定、8 自動応答設定、9 子機音声設定。番号をひとつ押してください。」
このあと(1)～(9)のダイヤルボタンを押すと、選択された登録の手順をボイスガイドでお知らせします。

(キャッチ/登録)(＊ﾄｰﾝ)の次に押すボタン	内容	参照ページ
(1)	ベル回数設定	☞99
(2)	α-ALPHA5Lite設定	☞117
(3)	回線選択	☞17
(4)	ナンバー・ディスプレイ選択	☞34
(5)	応答メッセージ選択	☞98
(6)	非通知理由音声呼び出し設定	☞44
(7)	おやすみ応答設定	☞92
(8)	自動応答設定	☞93
(9)	子機音声設定	☞69

ちょっと一言
ボイスガイドは最後まで聞かずにすぐに次の手順に進んでも構いません。

登録操作についてのご注意
- 登録操作中に電話がかかってくると、登録は中止されます。受話器を取るか(スピーカーホン)を押して電話をかけようとしたときも、登録は中止されます。
- 20秒以上何も操作しないと登録は中止されます。
- 途中で登録操作をやめるには、(再生/停止)を押します。

ちょっと一言
ボイスガイドの再生中に音量ボタンを押すと、音量の調節ができます。

子機

(キャッチ/登録)ボタンを押すと、登録メニュー番号入力表示が出ます。

(キャッチ/登録)の次に押すボタン	内容	参照ページ
(1)	電話帳登録	☞48
(2)または(＊ﾄｰﾝ)	ベル音量設定	☞91
(3)	親機音声設定	☞68
(4)または(通話)	クイック通話設定	☞89
(5)	着信メロディー設定	☞85
(6)	着信メロディー登録	☞84
(7)または(#ﾄｰﾝ)	モーニングコール設定	☞86

登録操作についてのご注意
- 登録操作中に電話がかかってくると、登録は中止されます。(通話)を押すか(スピーカー)を押して電話をかけようとしたときも、登録は中止されます。
- 20秒以上何も操作しないと登録は中止されます。
- 途中で登録操作をやめるには、(切)を押します。

ナンバー・ディスプレイを使うと、以下のようなことができます。

- 電話に出る前に、かけてきた相手の電話番号などが分かります。—**ナンバー・ディスプレイ対応(☞32ページ)**
- NTTの通信中情報通知サービスに対応、通話中の割り込み者の電話番号などが分かります。
  —**キャッチホン・ディスプレイ対応(☞76ページ)**
- 電話がかかってきたとき、相手の番号を読み上げます。
  —**ナンバーコール機能(☞45ページ)**
- 二度と受けたくない電話(おことわり先は20件まで登録可能)を自動的に切ってくれます。
  —**おことわり機能(☞40ページ)**
- かかってきた相手の電話番号などが日時とともに自動的に20件まで残ります。
  —**着信データ履歴機能(☞35ページ)**
- 着信データ履歴から留守番電話の用件を簡単に再生できます。　—**ダイレクト用件再生(☞38ページ)**
- 非通知のおことわり登録ができます。**(☞42ページ)**

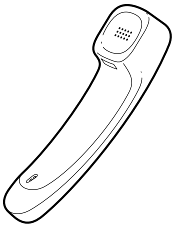
電話帳機能とあわせて使うと

- 電話帳に登録してある相手の呼び出し音を名前や宛先に変えて使うことができます。
  —**音声呼び出し機能(☞59ページ)**
- 電話帳グループに登録してある人から留守中に入った用件を転送できます。
  —**グループ留守電転送(☞107ページ)**
- 電話帳に登録してある相手だけに、自分で録音しておいた留守応答メッセージで応答できます。(電話帳グループごとの応答もできます。)
  —**自動切り換え応答機能(☞74、98ページ)**
- 子機の電話帳にある人から電話がかかってくると親機でも名のってお知らせします。
  —**子機音声設定(☞69ページ)**
- 子機の電話帳に登録してある相手から電話がかかってきたときのみ、子機のベルを鳴らすことができます。　—**子機プライベート着信(☞70ページ)**
- 電話帳に登録してある人からの電話はベルの鳴りかたが変わります。
  —**着信音鳴り分け機能(☞39ページ)**
- 親機と子機、または子機のみの電話帳に登録してある人からの電話は呼び出し音声で知らせます。
  —**親機音声設定(☞68ページ)**
- 着信データ履歴を使って、かけてきた相手を電話帳に登録できます。　**(☞50ページ)**
- 電話帳、着信／発信データ履歴を検索すると、電話帳の呼び出し音声が確認できます。
  —**電話帳・着信データ履歴・発信データ履歴音声確認(☞56ページ)**

設置と接続の前に

箱の中身を確かめる

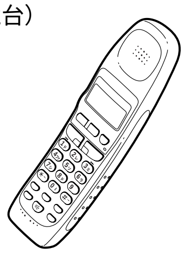
受話器



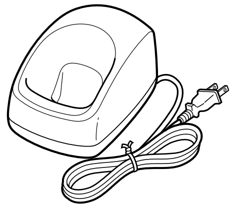
親機



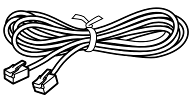
子機
（SPP-C500PGのみ2台）



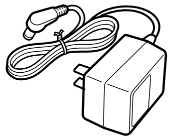
充電台
（SPP-C500PGのみ2台）



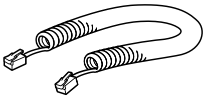
電話回線接続コード
（長さ2m、6極2芯）



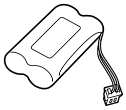
電源アダプター
（コード長さ1.8m）



受話器コード



バッテリーパック
（SPP-C500PGのみ2個）



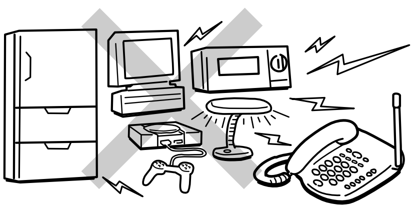
- 充電台壁かけ用ネジ（SPP-C500: 2本、SPP-C500PG: 4本）
- 親機壁かけ用ネジ（2本）
- 取扱説明書
- α-ALPHA5Liteご利用申込書
- α-ALPHA5Liteご利用の手引き
- 保証書
- ソニーご相談窓口のご案内

親機の置き場所について

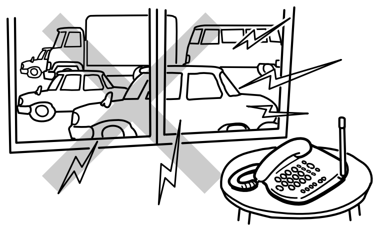
- コードレス電話機は、親機と子機の間で電波を使って交信します。磁気や電気雑音の影響を受けると、雑音が入ったり、通話が切れたりすることがあります。
  次のような場所では使用しないでください。

ー 妨害電波を発生する恐れがあるものの近く

テレビゲーム機、パソコン、テレビ、ビデオ、ステレオ、電子レンジ、冷蔵庫、こたつ、無線機、インバーター式蛍光灯など。

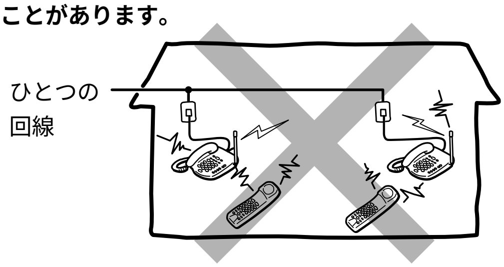


ー 交通の激しい道路の近く

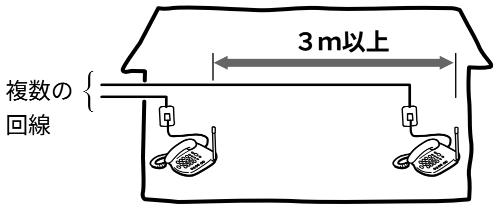


- 2組以上のコードレス電話機（親機を2台以上）をお使いの場合は、

ー ひとつの電話回線につなぐと、正常に動作しないことがあります。



ー 複数の電話回線（異なる電話番号）につなぐときは、3m以上離す。

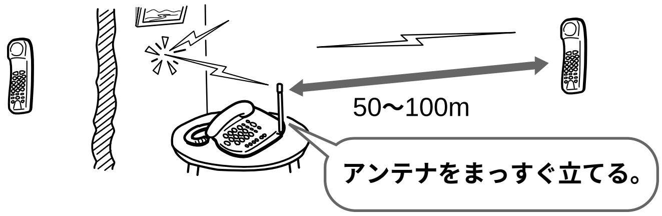


ご注意

- この電話機は、コードレス電話、留守番電話として使うために、電源が必要です。電話回線と家庭用電源コンセントの両方につなぐことができる場所を選んでください。
- 次のような場所には置かないでください。誤動作、変形、変色、故障の原因となることがあります。
  - ー 直射日光の当たる場所
  - ー 熱い場所（ストーブなどの暖房機の近く）、極端に寒い場所
  - ー 不安定な場所、振動の多い場所
  - ー 湿気の多い場所
  - ー 風通しの悪い場所、ほこりの多い場所
- 雑音が大きいときは、親機の設置場所を変えてみてください。
- 放送局の近くで使う場合やラジオ放送が混信するときは、お買い求めの販売店、またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

子機の通話範囲について

親機から約50〜100メートルの範囲で使えます。ただし、使用環境（コンクリート壁、金属の扉、金属箔のついた断熱材など）によって通話範囲は左右されます。初めてお使いのとき、使用できる範囲をご確認ください。



子機が親機から離れすぎていると

通話できないことがあります。子機から「ピッ・ピッ・ピッ…」という音（圏外警告音）が出たら、通話できる距離まで親機に近づいてください。約15秒以内ならそのまま通話できます。離れすぎたままでいると通話が切れてしまいます。

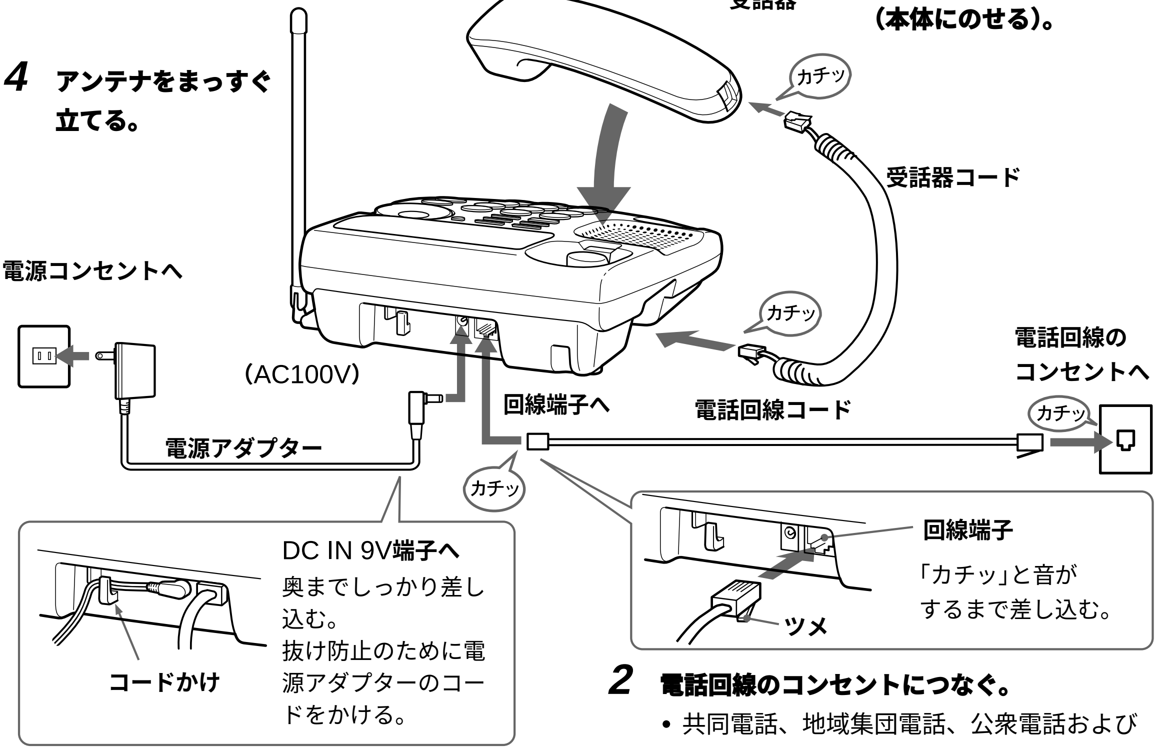
準備1: 親機を準備する

親機をつなぐ

電話回線と家庭用電源コンセントにつなぎます。

1 受話器を本体につなぐ（本体にのせる）。

4 アンテナをまっすぐ立てる。



2 電話回線のコンセントにつなぐ。

- 共同電話、地域集団電話、公衆電話およびホームテレホン、ビジネスホンには接続できません。
- 構内交換機（PBX）に接続すると、「内線ベルが鳴ったとき電話が切れる」など、正しく動作しないことがあります。詳しくはお使いの構内交換機のメーカーにお問い合わせください。
- コンセントの形が合わないときは、別売りアクセサリーが必要です。（☞13ページ「電話回線のコンセントの種類」）

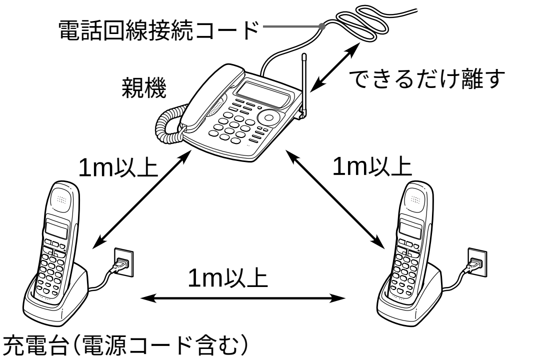
3 電源コンセント（AC100V）につなぐ。

ISDN回線のターミナルアダプターをご利用のかたへ
ターミナルアダプターの仕様によっては、本機との接続に不具合が生じる場合があります。
詳しくは、ターミナルアダプターのメーカーにお問い合わせください。

- 1つの回線に複数の電話機をつなぐ場合は14ページをご覧ください。

ご注意

- 親機と子機や充電台の電源コード、子機と他の子機（子機が2台以上ある場合）は1m以上離してお使いください。
  親機に充電台（電源コード含む）や電話回線接続コードのたわみを近づけた状態で子機をお使いになると、ベル音が正常に鳴らなかったり、雑音が出る場合があります。また、子機どうしを近づけた状態でお使いになると、子機で通話できない場合があります。
- 電話回線コードと電源コードを束ねないでください。雑音の原因となります。



つづく→

電源アダプターを接続すると

約30秒間、留守番電話の初期設定が行われます。

↓

初期設定が行われている間は使えません。
「ピー」と鳴るまでお待ちください。

↓

「ピー」と鳴り、すべてのランプが点滅します。

「おトクな0077、DDI自動選択機能がついています」が2回聞こえます。

↓

必ず15ページ「準備2:日付、時刻を合わせる」を行ってください。

日付、時刻を設定するとランプの点滅は止まります。

↓

- α-ALPHA5Lite**をお使いのかたは：**
  112**ページをご覧になって設定を行ってください。**
- α-ALPHA5Lite**を使わないかたは：**
  ALPHA**ランプが赤く点灯したままになります。**

ご注意

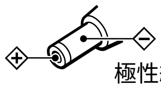
電話回線コードを接続しないで電源アダプターを接続すると、デモモード（色々な表示が次々に出て、ボタンを押しても操作できない）が始まることがあります。この場合、電話回線コードを接続してしばらくすると、デモモードは止まり初期設定が行われます。

ナンバー・ディスプレイを使わないかたへのお願い

- 本機はお買い上げ時にナンバー・ディスプレイが「入」になっています。ナンバー・ディスプレイを使わないかたは「切」にしてください（☞34ページ）。
- 以下の場合は必ずナンバー・ディスプレイを「切」にしてください。
  — NTTの「転送電話サービス」「ダイヤルインサービス」に加入しているかた。
  — 同じ回線に本機と他の電話機（FAX含む）をつないで使用しているかた。

電源アダプターの接続について

- この製品には、付属の電源アダプター（極性統一型プラグ・EIAJ*規格）をご使用ください。付属以外の電源アダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



極性統一型プラグ

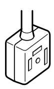
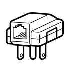
- プラグは最後まで押し込んでください。
  ＊日本電子機械工業会の略

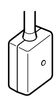
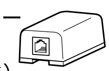
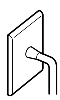
ご使用にあたってのお願い

本機のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、**「機器使用料」は、不要**となります。詳しくは、**局番なしの**116**番(無料)**へお問い合わせください。

電話回線のコンセントの種類

電話回線のコンセントには以下の4種類があります。
ご自宅のコンセントに合った方法で接続してください。

コンセントの型	接続に必要なソニーの別売りアクセサリー
モジュラー 	不要（そのままつなぐことができます）
3ピンジャック 	テレホンモジュラーアダプターTL-30 

コンセントの型	接続に必要なソニーの別売りアクセサリー
直付け型ローゼット 	テレホンモジュラーローゼットTL-32CRなど（取り付け工事が必要*） 
埋め込み 	テレホンモジュラージャックコンセントTL-31（取り付け工事が必要*） 

＊ 電話工事担任者による工事が必要です。お買い上げ店かソニーサービス窓口、またはNTT（局番なしの116番）へご依頼ください。

準備1: 親機を準備する（つづき）

ナンバー・ディスプレイをお使いの場合の接続について

ご注意

- 1つの回線にはナンバー・ディスプレイ対応の機器は1台しかつなげません。
  2台以上お使いのときは、本機以外の機器はナンバー・ディスプレイが機能しないように設定してください。
- ナンバー・ディスプレイは、NTTの他のサービスと併用できない場合があります。詳しくは、NTTにお問い合わせください。

- **他の電話機をお使いの場合**

相手が電話をかけると

本機

ベルは鳴らない。
電話を取っても、通話できません。（着信データ表示が点滅しています。このときは、すぐに受話器を戻してお待ちください。）

↓

ベルが鳴って、表示窓に電話番号などが表示される。
電話を取ると通話できます。

データ受信中

他の電話機

短い間隔でベルが鳴る。
電話を取っても通話できません。（このときは、すぐに受話器を戻してお待ちください。）ここで電話を取ると、本機のナンバー・ディスプレイ機能は使えません。

↓

ふつうにベルが鳴る。
電話を取ると通話できます。

本機以外に留守番電話をご使用の場合は、他の電話機の留守番機能が働かないようにしてください。留守番応答すると、本機のナンバー・ディスプレイ機能が使えない場合があります。

- **FAX、モデムとの接続**
  機種によっては、本機、FAX、モデムの動作が制約されたり、本機と接続できない場合があります。詳しくは、FAX、モデムのメーカーにお問い合わせください。
- **ISDN回線のターミナルアダプターとの接続**
  ナンバー・ディスプレイ機器対応のターミナルアダプターをお使いください。詳しくは、ターミナルアダプターのメーカーにお問い合わせください。
- **新電電アダプター（回線自動選択装置）との接続**
  アダプターの事業者にお問い合わせください。
- **ホームテレホン、ドアホンアダプター、構内交換機（PBX）など**
  接続できません。詳しくは、お使いの機器のメーカーにお問い合わせください。

同じ回線に他の電話機をつないだ場合の取り次ぎについて

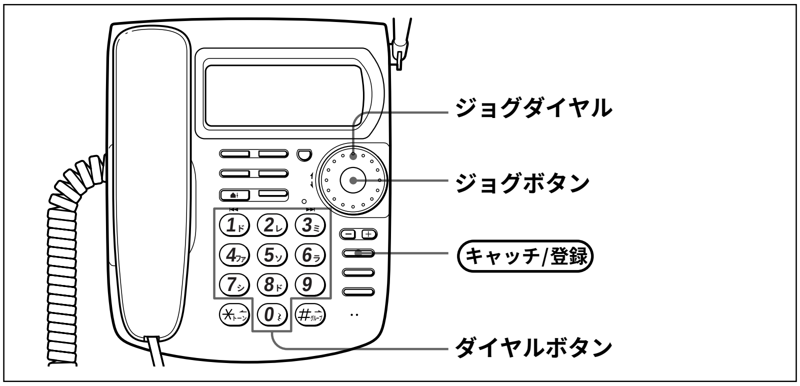
1つの回線で複数の電話機コンセントがある場合、または別売りの電話機アクセサリーを使って1つの回線から複数のジャックに分岐する場合は、同じ回線に本機と他の電話機を同時につなぐことができます。
その際、以下の点にご注意ください。

- **本機の親機または子機で保留（☞23ページ）にした電話に他の電話機で出るには**
  本機の親機で保留にした場合は、必ず受話器を戻してください。
  本機の子機で保留にした場合は、必ず充電台に戻すか（切）を押してください。
  その後で他の電話機の受話器を取ると、保留は自動的に解除されます。（電話機の種類によっては自動的に解除されない場合もあります。）
- **他の電話機で取った電話を本機の親機または子機に取り次いだ場合**
  その電話をさらに子機（または親機）に取り次ぐ（☞24ページ）ときは、必ず（保留/消去）を押してから（内線／名のらせ）(親機)、（内線）(子機）を押してください。

準備2: 日付、時刻を合わせる

> **ご注意**
> 時計の精度は1ヵ月に±60秒程度の誤差があります（25°Cにて）。

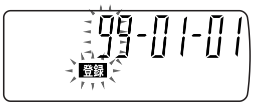
年、月、日、時刻の設定が必要です。（日時は親機に表示されます。）
親機で操作します。



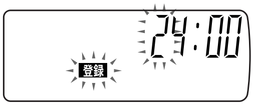
> **ご注意**
> - 長い停電のあとは、1999年1月1日にリセットされ表示が点滅します。（このとき、留守ランプが点滅しています☞120ページ）。
> 日付、時刻を設定し直してください。
> - 日時設定を行わないと、モーニングコールの時刻設定（☞86ページ）はできません。

1 **受話器を置いたままで、(キャッチ/登録)を押す。**
ボイスガイドが聞こえます。

2 **(4)を押す。または、ジョグダイヤルを回して「4」を表示させ、ジョグボタンを押す。**
「日時設定」

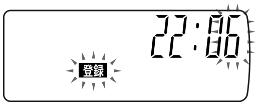


3 **年月日を押す。**
年は、西暦の末尾2桁を入力します。
ひと桁の月日を設定するときは前に「0」を付けます。
例：1999年12月5日は「9」「9」「1」「2」「0」「5」と押す。

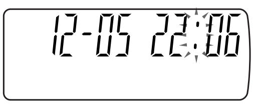


時刻表示になります。

4 **時刻を押す。**
24時間制です。ひと桁の時刻を設定するときは前に「0」を付けて4桁を入力します。
例：午後10時6分は「2」「2」「0」「6」と押す。



5 **(キャッチ/登録)またはジョグボタンを押す。**
「ピー」と鳴り、時計が動き始めます。



> **ちょっと一言**
> - 手順4で時刻を間違えて入力したときは、(＊)、(#)で点滅しているところを動かして、正しい時刻を上書きすることができます。
> - 手順5は、テレビなどの時報に合わせて(キャッチ/登録)を押すと便利です。手順4と5の間は約60秒待つことができます。

時刻がずれると、α-ALPHA5Liteが正しく働かない場合がありますので、定期的に時刻を確認し、ずれていたら正しい時刻に設定し直してください。

準備3: 電話がかかることを確かめる

電話回線には3種類あります。この種類は、NTTとの回線契約により異なります。初めてお使いになるとき、親機を接続するだけで自動的に回線の種類を検出し設定します（自動回線選択）。

親機で操作します。

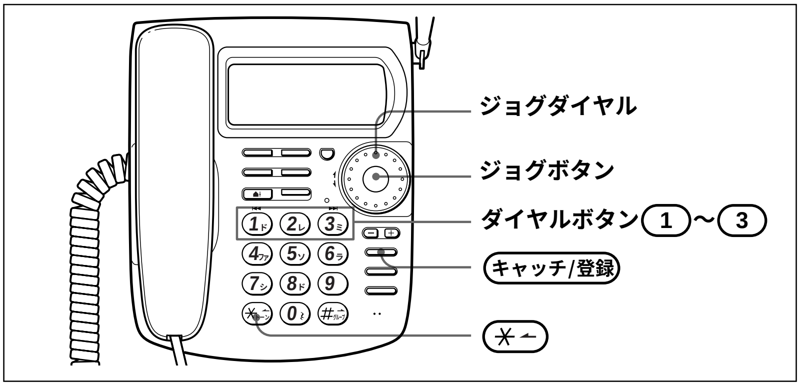
電話をかけてみる

117（時報）や177（天気予報）などにかけてみてください。（有料）

かかったときは次ページの回線選択は不要です。18ページの「準備4：子機を充電する」に進んでください。

かからなかった場合は、次ページの手順で回線選択を行ってください。

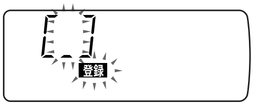
電話がかからないときは（回線選択）



> **ちょっと一言**
> - 以下のような場合、設定が必要になります。
>   – 引っ越しなどで、電話会社との回線契約を変更されたとき
>   – ファクシミリにつないだとき
>   – 構内交換機（PBX）につないだとき
> - 回線の種類は3つあります。手順4でそのうちの1つを選びます。
>   (1) 低速ダイヤル回線（10PPS*）
>   (2) 高速ダイヤル回線（20PPS*）
>   (3) プッシュ回線
>   * PPS（Pulse Per Second）：ダイヤル速度の単位です。

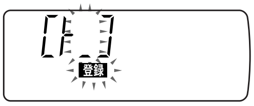
1 受話器を置いたままで、（キャッチ/登録）を押す。

ボイスガイドが聞こえますが、すぐに次の手順へ進んでください。



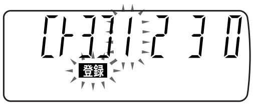
2 （＊）を押す。または、ジョグダイヤルを回し、「ト」を表示させ、ジョグボタンを押す。

ボイスガイドが聞こえます。



3 （3）を押す。または、ジョグダイヤルを回し、「ト3」を表示させ、ジョグボタンを押す。

「回線選択」



> **ちょっと一言**
> 手順4で（0）を選ぶと自動回線選択に戻ります。（自動回線選択中は、ランプが点滅します。）

4 （3）を押す。または、ジョグダイヤルを回し、「3」を点滅させる。



5 （キャッチ/登録）または、ジョグボタンを押す。

確認のために、「ピー」と鳴ります。

6 電話をかけてみる。

電話がかかったらプッシュ回線です。

電話がかからなかったら

手順4で（2）を押します。電話がかかったら、高速ダイヤル回線です。かからなかったら、低速ダイヤル回線です。手順4で（1）を押します。

準備4: 子機を充電する

⚠危険 **バッテリーパックに巻かれているビニールを、はがしたり傷つけたりしないでください。**

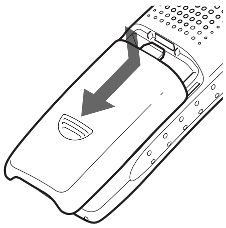
ちょっと一言
子機の充電中に電話をかけるときは親機でかけてください。

初めてお使いになるときは、まず付属のバッテリーを約10時間充電してください。

充電のしかた

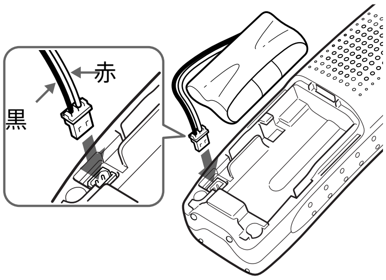
1 バッテリーを入れる。

①電池ぶたを開ける。



少し押しながらずらす。

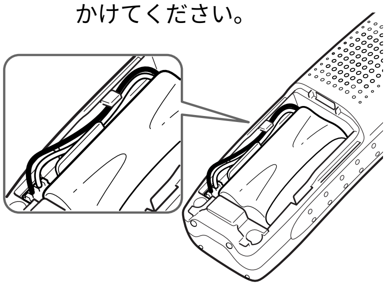
②コネクターを差し込む。



電池入れの指示通りの向きで、最後まで確実に差し込みます（はずすときは、コネクターを持って引き抜く）。

③バッテリーを入れる。

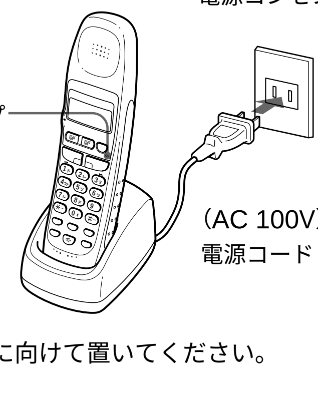
コードをコードかけにかけてください。



④電池ぶたを閉める

2 電源コンセントにつないだ充電台に、子機を置く。

着信／充電ランプが点灯し、充電が始まります。10時間以上そのままにしておいてください。



ボタン面を手前に向けて置いてください。

ご注意
- 充電中は充電台や子機が温かくなりますが、故障ではありません。
- 充電台の電源コードは束ねないでください。雑音の原因になります。

充電中は充電台の電源コードを抜かないでください。
子機をのせたまま充電台の電源コードをはずすと、子機が通話状態（通話ボタンのランプが点灯）になります。この場合は、充電台を電源コンセントにつないでください。

バッテリーについて

子機は充電台の上に常に置いていなくても使えますが、長時間充電台から離しておくとバッテリーが空になってしまうので、通話後は充電台に戻すことをおすすめします。バッテリーが常に充電された状態でお使いになれます。

使用可能時間について（充分に充電されたバッテリーの場合）

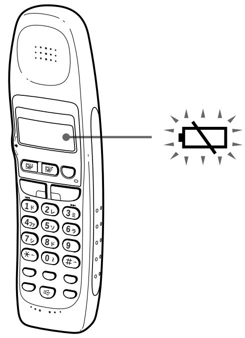
通話しているとき：　連続約6時間
充電台に戻さずに電話を待っているとき：約240時間（約10日間）
長期間お使いにならないときは10時間以上充電してからバッテリーを抜いておいてください。

通話中にバッテリーが消耗したとき（表示窓にバッテリー表示が点滅し、「ピッ・・・ピッ・・・」と鳴ったとき）は

次の方法で親機で通話できます。

1　子機の(保留/消去)を押す。
2　子機を充電台に戻すか(切)を押す。
3　親機の受話器を取り上げる。

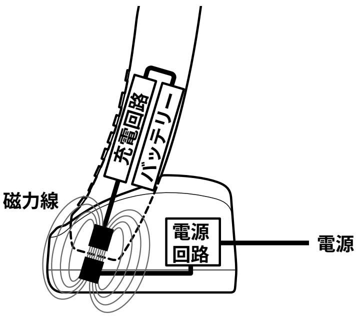
子機はその後充電台にのせておき、約10時間以上充電してください。



バッテリーの寿命について

- 子機のバッテリーは消耗品です。バッテリーの寿命は使いかたや使用頻度によりますが、1～2年が目安です。
- 充分に充電しても使用できる時間が極端に短くなってきたら、バッテリーの寿命です。新しいバッテリー（別売りのバッテリーパックBP-T50）にお取り替えください。詳しくは、販売店かソニーサービス窓口にお問い合わせください。
- バッテリーを長持ちさせるには、通話が終わるたびに子機を充電台に戻して常に充電しておくことをおすすめします。

充電台について



付属の充電台は、電磁誘導による、充電端子のない無接点充電方式を採用しています。

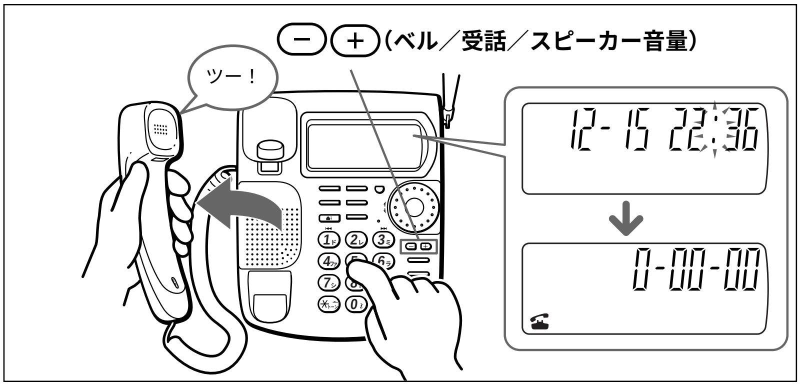
ご注意

- 金属（コイン、クリップなど）を充電台の上に置かないでください。充電台や金属が熱くなることがあり危険です。
- 磁気に弱い物（キャッシュカード、テレホンカード、フロッピーディスクなど）は近づけないでください。充電台から出ている磁力線により、それらが使えなくなってしまうことがあります。
- ラジオを近くに置かないでください。
  ラジオから「ブーン」という雑音が聞こえることがあります。その場合は、ラジオの向きを変えるか、雑音のなくなる位置まで離してみてください。

電話をかける

接続はお済みですか？（☞10ページ「設置と接続」）

親機でかける



受話器を取り「ツー」という音を確かめてから電話番号を押す。

ご注意

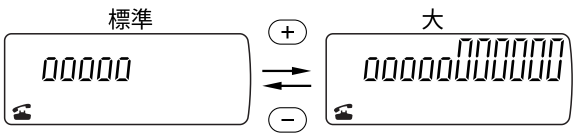
- 初めてお使いのときは、時刻合わせ（☞15ページ）が終わるまでランプが点滅しています。
- 表示窓に「C43」が出たら、子機が使われています。

通話が終わったら

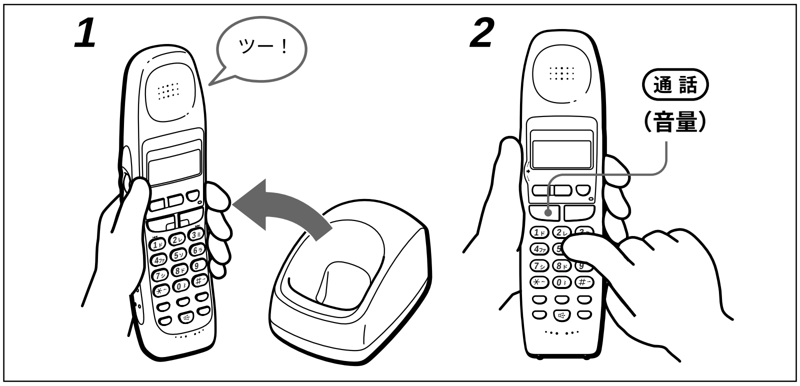
受話器を戻します。

受話音量を調節するには（標準←→大の2段階）

相手の声が聞きにくいときなどに、調節します。
受話器を持って通話中に＋（大）または－（小）（ベル／受話／スピーカー音量）ボタンを押します。
お買い上げ時は「標準」になっています。



子機でかける

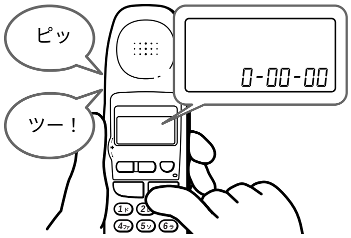


> **ちょっと一言**
> バッテリーを長持ちさせるためには、通話が終わるたびに子機を充電台に戻して常に充電しておくことをおすすめします。

> **ご注意**
> - 子機の充電中に充電台の電源コードを抜かないでください。電源コードをはずすと、子機が通話状態（通話ボタンのランプが点灯）になります。
> - （通 話）を押したときに「ピーピー・・・」という音がした場合は、親機が使われているので、子機で通話できません。

1 **充電台から取る。**

充電台にのせていないときは
（通 話）を押します。



2 **電話番号を押す。**

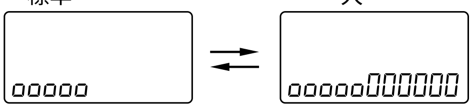
通話が終わったら

充電台に戻すか、（切）を押します。

受話音量を調節するには（標準←→大の2段階）

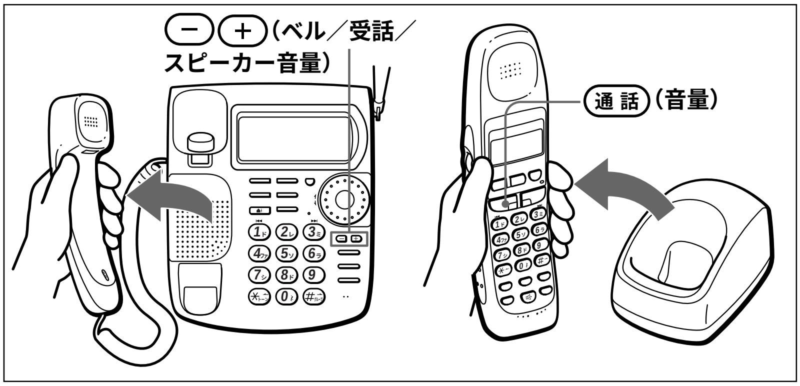
相手の声が聞きにくいときなどに、調節します。
子機を持って通話中に（通 話）（音量）を押します。
お買い上げ時は、「標準」になっています。

標準　　大



（通 話）を押すごとに切り換わります。

電話を受ける



親機 **ベルが鳴ったら受話器を取る。**

子機 **ベルが鳴ったら充電台から取る。**

充電台にのせていないときは

ベルが鳴ったら(通話)を押します。



通話が終わったら

親機 受話器を戻します。

子機 充電台に戻すか、(切)を押します。

ベルが鳴っても電話に出ないと

15回ベルが鳴ると、「ただ今留守にしています。のちほどおかけ直しください。」のメッセージが流れます。

このメッセージを流さないようにする方法については、「電話の自動着信をやめる。」(☞93ページ) をご覧ください。

キャッチホンが入ったときは

(キャッチ/登録)を押します。

もとの通話に戻るにはもう一度(キャッチ/登録)を押します。

(詳しくは☞82ページ)

ご注意

- 親機の受話器を取ったときに:



この表示が点滅していたら、一旦戻して、ベルが鳴ってから受話器を上げてください。
- 子機のベルは親機より1、2回遅れて鳴る場合があります。子機のベルが鳴り始めてから子機を取ってください。
- 子機の充電中に充電台の電源コードを抜かないでください。電源コードをはずすと、子機が通話状態（通話ボタンのランプが点灯）になります。

ちょっと一言

バッテリーを長持ちさせるためには、通話が終わるたびに子機を充電台に戻して常に充電しておくことをおすすめします。

受話音量を調節するには(標準←→大の2段階)

相手の声が聞きにくいときなどに、調節します。

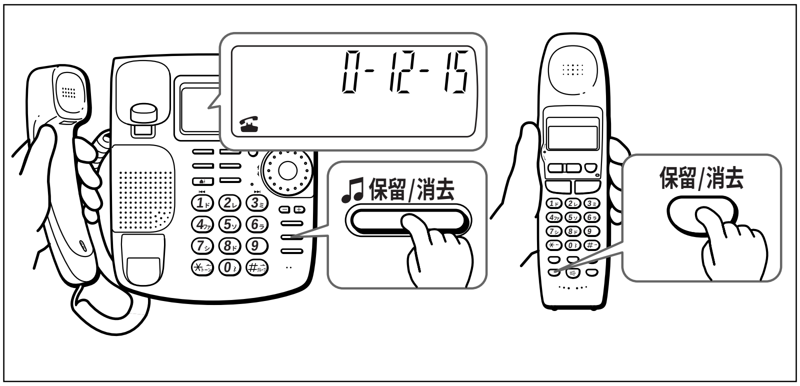
親機 受話器を持って通話中に(+)(大) または(−)(小) (ベル／受話／スピーカー音量) ボタンを押します。

子機 子機を持って通話中に(通話)(音量) を押します。

通話の相手を待たせる（保留）

相手に待ってもらう間、メロディーが流れます。

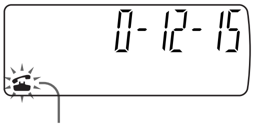
ちょっと一言
- スピーカーホン（☞29、30ページ）で通話中にも同じように保留にすることができます。
- 同じ回線につないだ別の電話機がある場合は14ページをご覧ください。
- 保留音に自作メロディーを使うこともできます。詳しくは84ページをご覧ください。



親機で通話中に保留にする

ちょっと一言
- 右の手順1で保留にしたあと、受話器を戻しても電話は切れません。通話に戻るには受話器を取ります。
- 保留にしたあと、内線／名のらせを使って取り次ぐことができます（☞24ページ）。

1 **通話中に保留/消去を押す。**



点滅します。

2 **通話に戻るにはもう一度保留/消去を押す。**

親機で保留にした電話に子機で出るには

親機で保留にしたあと、受話器を戻します。子機を充電台から取るか通話を押すと、子機で出られます。

子機で通話中に保留にする

ちょっと一言
- 右の手順1で保留にしたあと、充電台に戻すか、切を押しても電話は切れません。通話に戻るには充電台から取るか通話を押します。
- 保留にしたあと、内線を使って子機から親機へ取り次ぐことができます（☞25ページ）。また子機が2台以上ある場合は、子機から子機へ取り次ぐこともできます（☞26ページ）。

1 **通話中に保留/消去を押す。**
通話ボタンが点滅します。

2 **通話に戻るにはもう一度保留/消去または通話を押す。**

子機で保留にした電話に親機（または他の子機）で出るには

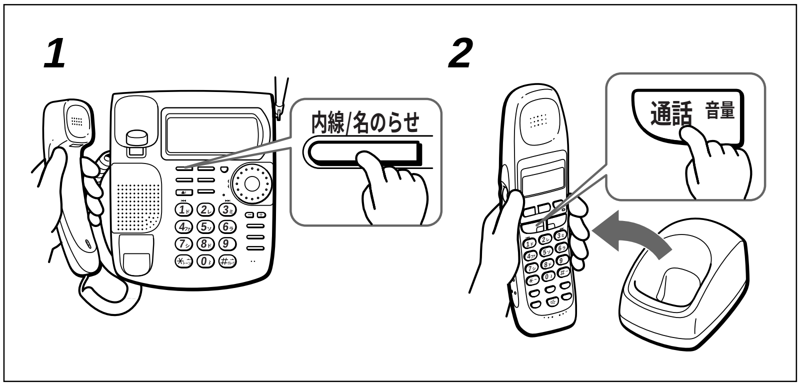
子機で保留にしたあと、充電台に戻す、または切を押します。親機のスピーカーから保留メロディーが流れます。
受話器を取ると、親機で出られます。（他の子機で取る場合は充電台から取るか通話を押します。）

電話を取り次ぐ

親機から子機へ取り次ぐ

親機で取った電話を子機にまわすとき、親機と子機の間で話（内線通話）をしてから電話を取り次ぐことができます。



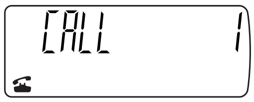


1　子機1台の場合：通話中に（内線／名のらせ）を押す。
子機が2台以上ある場合：通話中に（内線／名のらせ）を押してから、表示窓に出た子機番号から1つ選んで押す。

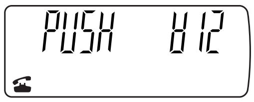
子機1	（1）
子機2	（2）
子機3	（3）
すべての子機*	（#）

* 最初に出た子機につながります。

子機1台の場合



子機が2台ある場合



電話は保留になり、相手にはメロディーが聞こえます。

2　子機のベルが鳴ったら充電台から取る。充電台にのせていないときは、（通話）を押す。

（スピーカーホン（☞30ページ）で受けることはできません。）

3　親機から子機へ電話をまわすことを伝える。

4　親機の受話器を戻す。

子機で外からの電話に出られます。

子機が出ないときは

もう一度（内線／名のらせ）を押すと、もとの通話に戻れます。

ちょっと一言

同じ回線につないだ別の電話機がある場合は14ページをご覧ください。

ちょっと一言

- 子機が2台以上ある場合、表示窓には「H（すべての子機）」とすべての子機番号が表示されます。
- （保留/消去）を押して通話を保留にしてからでも、同じように取り次げます。
- 親機で（内線／名のらせ）を押したあと、受話器を戻すと、呼び出しは中止され、親機のスピーカーから保留メロディーが流れます。親機、子機どちらかが出れば外からの電話に出られます。
- 手順3のあとで子機が内線通話を切ると、親機で再び外からの電話に出られます。

ご注意

親機から子機へ取り次いだ場合、子機に表示されるのは、子機で通話を始めた時点からの通話時間表示です。

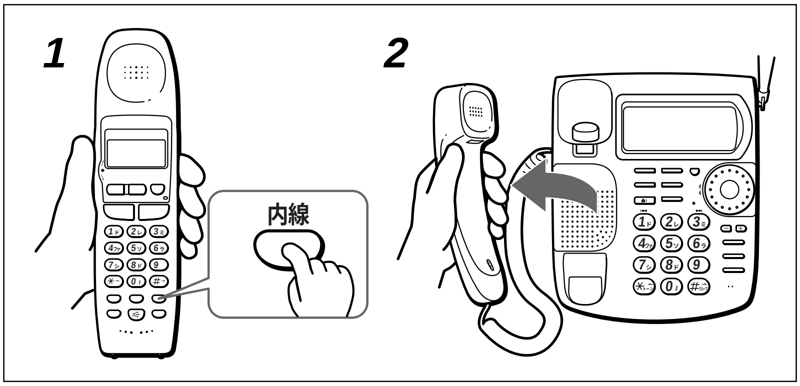
つづく→

子機から親機へ取り次ぐ

子機で取った電話を親機にまわすとき、子機と親機の間で話（内線通話）をしてから電話を取り次ぐことができます。



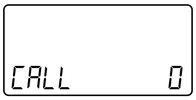
ちょっと一言
同じ回線につないだ別の電話機がある場合は14ページをご覧ください。



ちょっと一言
- (保留/消去)を押して通話を保留にしてからでも、同じように取り次げます。
- 子機で(内線)を押したあと、充電台に戻すか、(切)を押すと、呼び出しは中止され、親機のスピーカーから保留メロディーが流れます。親機、子機どちらかが出れば外からの電話に出られます。
- 手順3のあとで親機が内線通話を切ると、子機で再び外からの電話に出られます。

ご注意
子機から親機へ取り次いだ場合、親機に表示されるのは、子機と親機の合計の通話時間表示です。

1 **子機1台の場合：通話中に(内線)を押す。**
子機が2台以上ある場合：通話中に(内線)(0)を押す。



電話は保留になり、相手にはメロディーが聞こえます。

2 **親機のベルが鳴ったら受話器を取る。**
（スピーカーホン（☞29ページ）で受けることはできません。）

3 **子機から親機へ電話をまわすことを伝える。**

4 **子機を充電台に戻すか、(切)を押す。**
親機で外からの電話に出られます。

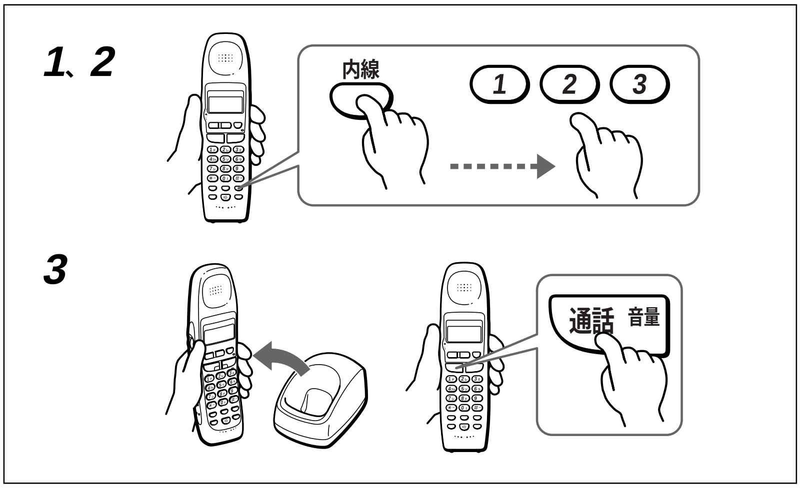
親機が出ないときは

もう一度(内線)または(通話)を押すと、もとの通話に戻れます。

子機から子機へ取り次ぐ（子機が2台以上ある場合のみ）

子機が2台以上ある場合は、子機で取った電話を他の子機に取り次ぐことができます。
ただし、内線通話はできません。呼び出された子機を取ると、すぐに外からの電話につながります。





ちょっと一言
同じ回線につないだ別の電話機がある場合は14ページをご覧ください。

ちょっと一言
- （保留/消去）を押して通話を保留にしてからでも、同じように取り次げます。
- 取り次ぎ先の子機には取り次ぎ元の子機の番号が表示されます。
- 手順1のあとで、子機を充電台に戻すか、（切）を押すと、呼び出しは中止され、親機のスピーカーから保留メロディーが流れます。親機またはいずれかの子機が出れば外からの電話に出られます。
- 子機が2台以上ある場合、表示窓には親機の番号（「0」）と今話している子機以外の番号が表示されます。

1 通話中に（内線）を押す。
子機が2台のとき

```
PUSH   0 2
```

2 子機番号を押す。
例：子機1から子機2へ取り次ぐ場合、子機1で（2）を押す。

子機1

```
CALL      2
```

子機2

```
- 1-
```

電話は保留になり、相手にはメロディーが聞こえます。

3 ベルが鳴ったら、取り次ぎ先の子機を充電台から取る。充電台にのせていないときは、（通話）を押す。
取り次がれた子機で外からの電話に出られます。

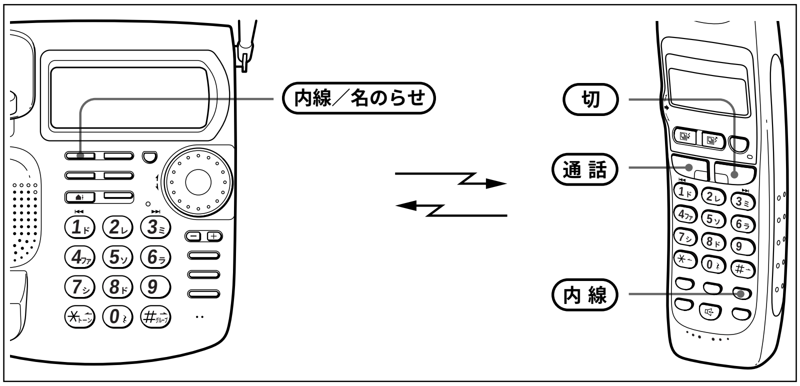
4 子機を充電台に戻す。

子機が出ないときは

もう一度（内線）または（通話）を押すと、もとの通話に戻れます。

親機と子機の間で話す（内線通話）

つづく→



親機から子機にかけるには（子機1台の場合）

ちょっと一言
親機では受話器を取らずに（内線／名のらせ）を押して、そのままスピーカーホンで話すこともできます。
呼び出された子機はスピーカーホンでは話せません。

1 **親機：受話器を取り、（内線／名のらせ）を押す。**
子機のベルが鳴ります。

2 **子機：充電台にのせているときは：充電台から取る。**
充電台にのせていないときは：（通 話）を押す。
子機と親機で通話できます。

3 **通話が終わったら、**
親機 **受話器を戻す。**
子機 **充電台に戻すか、（切）を押す。**

親機から子機にかけるには（子機が2台以上ある場合）

ご注意
子機どうしでは内線通話はできません。

ちょっと一言
親機では受話器を取らずに（内線／名のらせ）を押して、そのままスピーカーホンで話すこともできます。
呼び出された子機はスピーカーホンでは話せません。

1 **親機：受話器を取り、（内線／名のらせ）を押す。**

2 **子機番号を押す。**

呼び出し先	押すボタン
子機1	（1）
子機2	（2）
子機3	（3）
すべての子機を同時に*	（#）

* 最初に出た子機に電話がつながります。
子機のベルが鳴ります。

3 **子機：充電台にのせているときは：充電台から取る。**
充電台にのせていないときは：（通 話）を押す。
子機と親機で通話できます。

4 **通話が終わったら、**
親機 **受話器を戻す。**
子機 **充電台に戻すか、（切）を押す。**

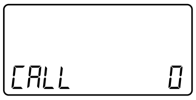
親機と子機の間で話す（内線通話）（つづき）

子機から親機にかけるには

ご注意
子機どうしでは内線通話はできません。

ちょっと一言
子機では充電台にのせたまま（内線）を押してスピーカーホンで話すこともできます。
呼び出された親機はスピーカーホンでは話せません。

1 子機：充電台から取り、（内線）を押す。



親機のベルが鳴ります。

2 親機：受話器を取る。

子機と親機で通話できます。

3 通話が終わったら、

親機▶ 受話器を戻す。

子機▶ 充電台に戻すか、（切）を押す。

途中で内線の呼び出しを中止するには

親機▶ もう一度（内線／名のらせ）を押す。

子機▶ もう一度（内線）を押す。

内線通話中に電話がかかってきたときは

ご注意
- 子機では、ベル音の前に「ピー、ピー、ピー、ピー」という音が鳴ります。
- 子機で外からの電話を受けたときも、親機の受話器は戻しておいてください。

内線通話は中止されます。親機または子機で電話を受けてください。

親機▶ いったん受話器を戻してから電話を取ります。

子機▶ 子機のベルが鳴ってから（通話）を押します。

受話器や子機を置いたまま話す（スピーカーホン）

つづく→

受話器や子機を持たずに電話をかけたり、受けたりすることができます。
手がふさがっているときや、何人かで相手と話したいときに便利です。

受話器を置いたまま話すには



ご注意
- 相手側の音声が小さいと、しばらくの間、相手の声が聞こえないことがあります。
- まわりの音が騒がしいときは、相手の声が途切れることがあります。静かなところでお使いください。

1 **電話をかけるとき：** **（スピーカーホン）を押し、「ツー」という音がしてから電話番号を押す。**

電話を受けるとき： **ベルが鳴ったら（スピーカーホン）を押す。**

2 **親機に向かって話す。**
（相手の声はスピーカーから聞こえます。）

3 **通話が終わったら、（スピーカーホン）を押す。**

スピーカー音量を調節するには（小←→大の8段階）

ちょっと一言
スピーカーホン通話の音量と用件再生などの音量とは別々に調節できます。

スピーカーホン通話、用件再生などの音量を調節します。
スピーカーから音が出ているときに（＋）（大）または（－）（小）（ベル／受話／スピーカー音量）ボタンを押します。
お買い上げ時は、「標準」になっています。



スピーカーホンと普通の通話を切り換えるには

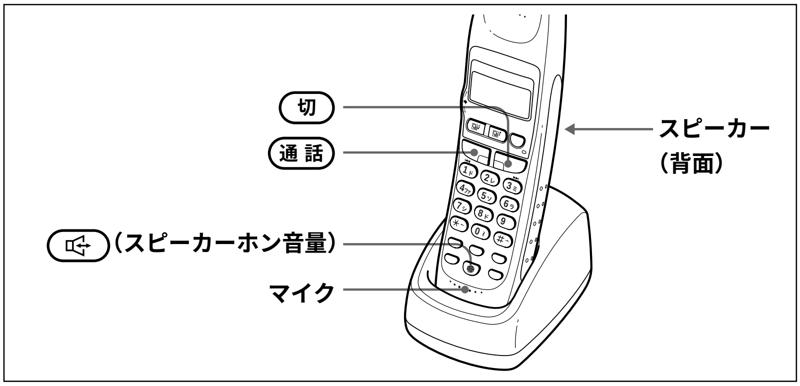
- **スピーカーホン通話中に、普通の通話に切り換えるには**
  受話器を取り上げます。
- **受話器を持って通話中に、スピーカーホンに切り換えるには**
  （スピーカーホン）を押します。
  そのまま受話器を戻しても、電話は切れません。

スピーカーホン通話中に通話の相手を待たせるには（保留）

（保留/消去）を押します。
通話に戻るには、もう一度（保留/消去）を押すか、（スピーカーホン）を押します。
または、受話器を取っても通話に戻れます。
また、子機で電話に出ることもできます。

子機を置いたまま話すには

充電台にのせているときは



ご注意
- 相手側の音声が小さいと、しばらくの間、相手の声が聞こえないことがあります。
- まわりの音が騒がしいときは、相手の声が途切れることがあります。静かなところでお使いください。

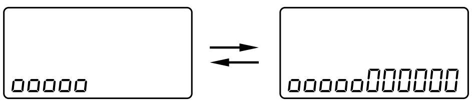
1 **電話をかけるとき：** **（通話）または（スピーカーホン音量）を押し、「ツー」という音がしてから電話番号を押す。**
電話を受けるとき： **ベルが鳴ったら（通話）または（スピーカーホン音量）を押す。**

2 **子機に向かって話す。**
（相手の声はスピーカーから聞こえます。）

3 **通話が終わったら、（切）を押す。**

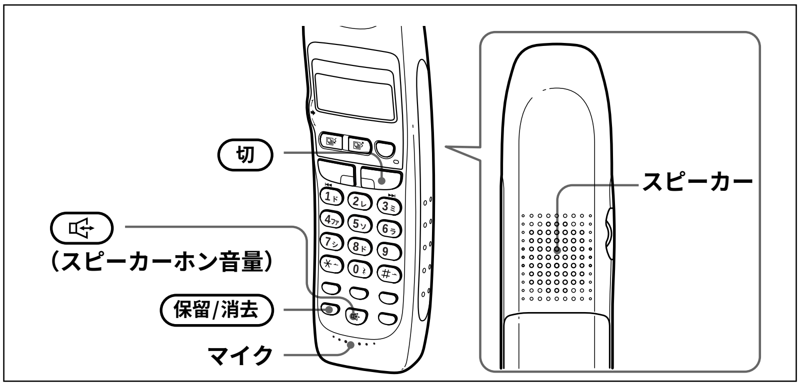
スピーカー音量を調節するには（標準⟷大の2段階）

スピーカーホン通話、用件再生などの音量を調節します。
スピーカーから音が出ているときに（スピーカーホン音量）を押します。
お買い上げ時は、「標準」になっています。



（スピーカーホン音量）を押すごとに切り換わります。

充電台にのせていないときは



ご注意
スピーカーホン通話中に充電台に戻すと、通話は切れます。

1 **電話をかけるとき：** **(スピーカーホン音量)を押し、「ツー」という音がしてから電話番号を押す。**
電話を受けるとき： **ベルが鳴ったら(スピーカーホン音量)を押す。**

2 **子機に向かって話す。**
(相手の声はスピーカーから聞こえます。)

3 **通話が終わったら、充電台に戻すか 切 を押す。**

スピーカー音量を調節するには(標準←→大の2段階)

スピーカーから音が出ているときに(スピーカーホン音量)を押します。
お買い上げ時は、「標準」になっています。

スピーカーホンと普通の通話を切り換えるには

- **スピーカーホン通話中に、普通の通話に切り換えるには**
  充電台にのせているときは、充電台から取ります。
  充電台にのせていないときは、通話 を押します。

- **子機を持って通話中に、スピーカーホンに切り換えるには**
  (スピーカーホン音量)を押します。

スピーカーホン通話中に通話の相手を待たせるには(保留)

保留/消去 を押します。
通話に戻るには、もう一度 保留/消去 を押すか、(スピーカーホン音量)を押します。通話 を押しても通話に戻れます。(充電台にのせているときは、通話 を押すとスピーカーホンになります。)

ナンバー・ディスプレイを使うために

「ナンバー・ディスプレイ」サービスとは

電話に出る前にかけてきた相手の電話番号を専用の電話機などの表示窓に表示するNTTのサービスです。

「ナンバー・ディスプレイ」サービスを利用するには

ご注意

- ナンバー・ディスプレイは、NTTの他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくはNTTにお問い合わせください。
- 接続については、14ページをご覧ください。

NTTの「ナンバー・ディスプレイ」サービス（有料）に加入してください。

ナンバー・ディスプレイに関するお問い合わせは、
局番なしの116番におかけください。

本機では、お買い上げ時にナンバー・ディスプレイの設定が「入」になっているため、本機側での設定は必要ありません。
本機はNTTの「キャッチホン・ディスプレイ」サービスに対応しています。詳しくは76ページをご覧ください。

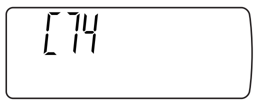
電話がかかってきたときの表示（親機）

ご注意

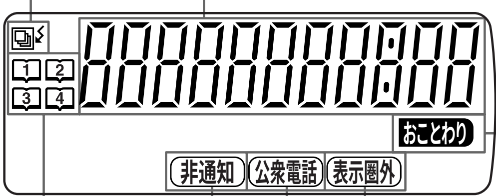
表示窓に「非通知」と表示される相手が電話をかけてきてもベルはふつうに鳴ります。ベルを鳴らさずに自動的に切るようにするためには、42ページをご覧になって「非通知」をおことわり登録してください。

着信があった場合
（相手が発信を途中で放棄したり、電話がかかり、表示窓に相手の電話番号が表示される前に受話器を取ると、点滅します。）

- かけてきた相手の電話番号
- 公衆電話からかけてきた場合：-C-
- 「通常非通知（回線ごと非通知）」の電話からまたは「184」をつけてかけてきた場合：-P-
- 携帯やPHSで番号表示をOFFしている場合：-P-または-0-
- 番号通知できない地域や回線からかけてきた場合：-0-
- 本機がナンバー・ディスプレイ未加入／手続き中、または本機のナンバー・ディスプレイ「切」の場合は時刻表示になります。
- 番号データの受信に失敗した場合：



* 携帯、PHSは、「非通知」または「表示圏外」と表示される場合があります。詳しくは、携帯、PHSの契約会社にお問い合わせください。



相手の電話番号が、おことわり登録してある電話番号と一致した場合

相手の電話番号が、電話帳に登録してある電話番号と一致した場合

- 「184」をつけてかけてきた場合
- 「通常非通知（回線ごと非通知）」の電話からかけてきた場合
- 携帯やPHSで番号表示をOFFしている場合*

- 番号通知できない地域や回線からかけてきた場合
- 携帯やPHSで番号表示をOFFしている場合*

公衆電話からかけてきた場合

つづく→

電話がかかってきたときの表示（子機）

着信があった場合

相手の電話番号が、電話帳に登録してある電話番号と一致した場合

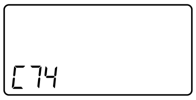
相手が公衆電話からかけてきた場合

- 番号通知できない地域や回線からかけてきた場合
- 携帯やPHSで番号表示をOFFしている場合*



- 「184」をつけてかけてきた場合
- 「通常非通知（回線ごと非通知）」の電話からかけてきた場合
- 携帯やPHSで番号表示をOFFしている場合*

- かけてきた相手の電話番号
- 公衆電話からかけてきた場合：-C-
- 「通常非通知（回線ごと非通知）」の電話からまたは「184」をつけてかけてきた場合：-P-
- 携帯やPHSで番号表示をOFFしている場合：-P-または-O-
- 番号通知できない地域や回線からかけてきた場合：-O-
- 本機がナンバー・ディスプレイ未加入／手続き中、または本機のナンバー・ディスプレイ「切」の場合は着信／充電ランプが点滅します。
- 番号データの受信に失敗した場合：



ご注意

表示窓に「非通知」と表示される相手が電話をかけてきてもベルはふつうに鳴ります。ベルを鳴らさずに自動的に切るようにするためには、42ページをご覧になって「非通知」をおことわり登録してください。

* 携帯、PHSは、「非通知」または「表示圏外」と表示される場合があります。詳しくは、携帯、PHSの契約会社にお問い合わせください。

ナンバー・ディスプレイ情報の受信について

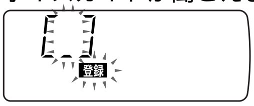
回線事情や雑音によってナンバー・ディスプレイの情報が正しく受信されない場合、電話番号が表示されません。このとき、自己診断機能により「C74」と表示されますが、本機は正常に動作しているので、通常通りお使いいただけます。

ナンバー・ディスプレイを「切」にするには

お買い上げ時にはナンバー・ディスプレイは「入」になっています。

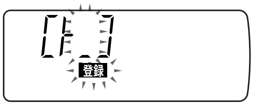
1 **受話器を置いたままで、(キャッチ/登録)を押す。**

ボイスガイドが聞こえます。



2 **(＊ト)を押す。または、ジョグダイヤルを回して「ト」を表示させ、ジョグボタンを押す。**

ボイスガイドが聞こえます。

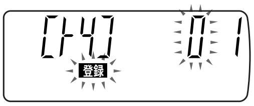


3 **(4)を押す。または、ジョグダイヤルを回して「ト4」を表示させ、ジョグボタンを押す。**

「ナンバー・ディスプレイ選択」



4 **(0)を押す。または、ジョグダイヤルを回して「0」を点滅させる。**



5 **(キャッチ/登録)またはジョグボタンを押す。**

「ピー」と鳴り、確認のため、「解除」と聞こえます。

ナンバー・ディスプレイを再び「入」にするには

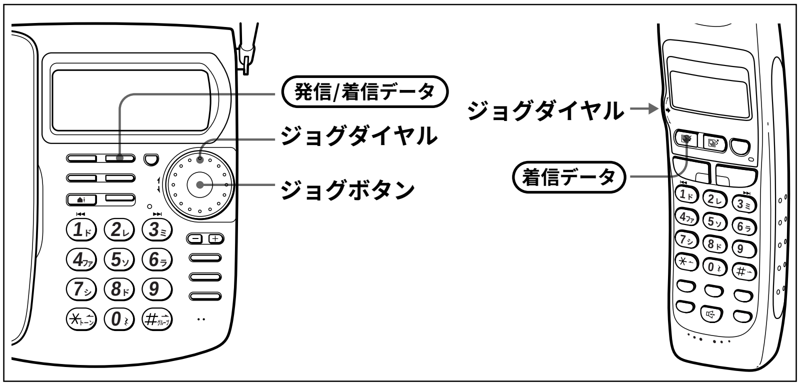
上記の手順4で(1)を押します。

(キャッチ/登録)を押すと、「ピー」と鳴り、確認のため、「設定」と聞こえます。

ナンバー・ディスプレイを使う

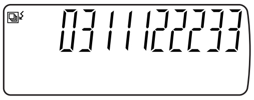
つづく→

着信データ履歴を確認する



1 **親機** **受話器を置いたままで、(発信/着信データ)を2回押す。**

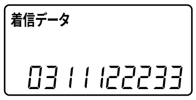
最新の着信データが表示されます。



20秒たつともとの表示に戻ります。20秒たつ前にもとの表示に戻したいときはもう一度(発信/着信データ)を押してください。

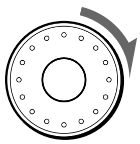
子機 **通話を切った状態で、(着信データ)を押す。**

最新の着信データが表示されます。

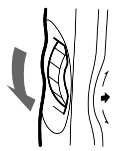


20秒たつともとの表示に戻ります。20秒たつ前にもとの表示に戻したいときはもう一度(着信データ)を押してください。

2 **ジョグダイヤルを回す。**



ジョグダイヤルを回す。



新しい着信データから順に20件まで確認できます。

また、誰からコール（☞60ページ）・ご指名コール（☞63ページ）に登録された、または呼び出し音声が録音された（☞65ページ）電話番号と一致する着信データを表示すると、呼び出し音声が聞こえ確認できます。

最後までいったとき、更にジョグダイヤルを回すと、「ピッ」という音が鳴ります。

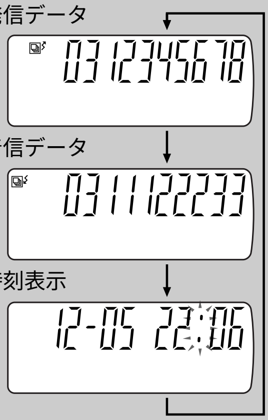
ちょっと一言

- 着信データ履歴から電話帳に登録することもできます。詳しくは、「着信データ履歴から登録する」（☞50ページ）をご覧ください。
- 親機で(発信/着信データ)を押すごとに表示は次のように切り換わります。

発信データ

着信データ

時刻表示

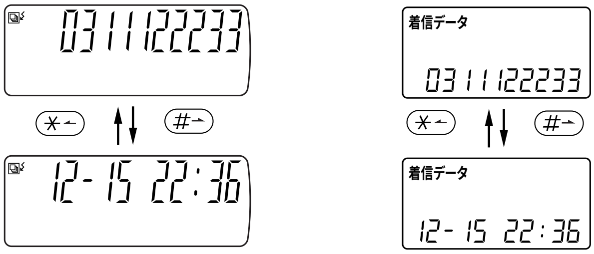


着信電話番号表示と着信日時表示の切り換え

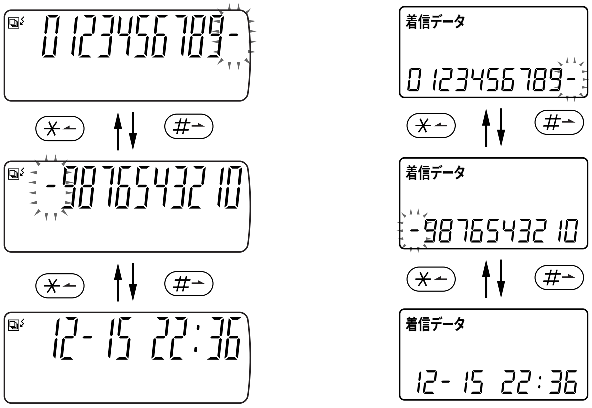
手順1や2の表示が着信電話番号を表示しているとき、(#)を押すと、その番号の着信日時表示に切り換わります。また、表示が着信日時を表示しているとき、(*)を押すと、その日時の着信電話番号表示に切り換わります。

親機　　子機

着信電話番号が11桁以下の場合



着信電話番号が12桁以上の場合



着信データがないときは

手順1で、表示窓に次の表示が出ます。



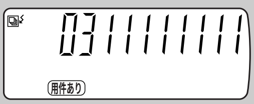
5秒たつともとの表示に戻ります。5秒たつ前にもとの表示に戻したいときは(発信/着信データ)を押してください。

5秒たつともとの表示に戻ります。5秒たつ前にもとの表示に戻したいときは(着信データ)を押してください。

着信データが20件を超えると

古いものから消えます。

ちょっと一言
表示窓に「用件あり」が点灯していると（親機のみ）



留守番電話に用件が録音されています。この用件を手軽に再生できます（ダイレクト用件再生☞38ページ）。

ナンバー・ディスプレイの使いかた

つづく→

着信データから電話をかける

ご注意

着信データに電話番号がない場合（「非通知」、「公衆電話」、「表示圏外」など）は、着信データから電話をかけることはできません。

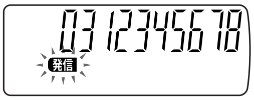
ちょっと一言

右記のかけかたのほかに「発信」を選ぶ方法やスピーカーホン通話の方法があります。詳しくは、「電話帳を使って電話をかける」（☞55ページ）をご覧ください。

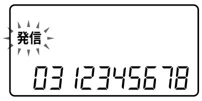
1 **親機** **受話器を置いたままで、（発信/着信データ）を2回押して、ジョグダイヤルを回し、かけたい着信データを表示させる。**

子機 **電話を切った状態で、（着信データ）を押して、ジョグダイヤルを回し、かけたい着信データを表示させる。**

2 **受話器を取る。**



充電台から取る、または（通 話）を押す。



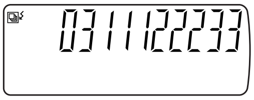
着信データを消す

ちょっと一言

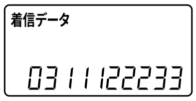
- 着信データを消去しても用件は消去されません。
- 手順2～5の代わりに（保留/消去）を2回押して消去することもできます。同じ番号からの着信データでも個々に消してください。
- 着信データを消去すると、表示は次の着信データになります。続けて消去するときは、手順2～5を行ってください。全ての着信データを消去すると「ー」という表示が出ます。

1件ずつ消去します。

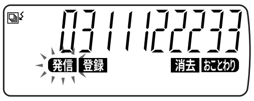
1 **親機** **受話器を置いたままで、（発信/着信データ）を2回押して、ジョグダイヤルを回し、消したい着信データを表示させる。**



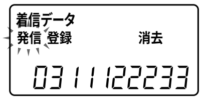
子機 **通話を切った状態で、（着信データ）を押して、ジョグダイヤルを回し、消したい着信データを表示させる。**



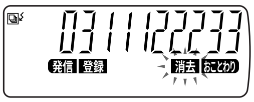
2 **ジョグボタンを押す。**



ジョグダイヤルを押す。



3 **ジョグダイヤルを回して「消去」を点滅させる。**

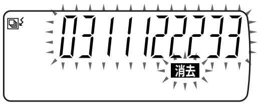


ジョグダイヤルを回して「消去」を点滅させる。



4 **ジョグボタンを押す。**

電話番号が点滅します。



ジョグダイヤルを押す。

電話番号が点滅します。



5 **もう一度ジョグボタンを押す。**

確認のために、「ピー」と鳴ります。

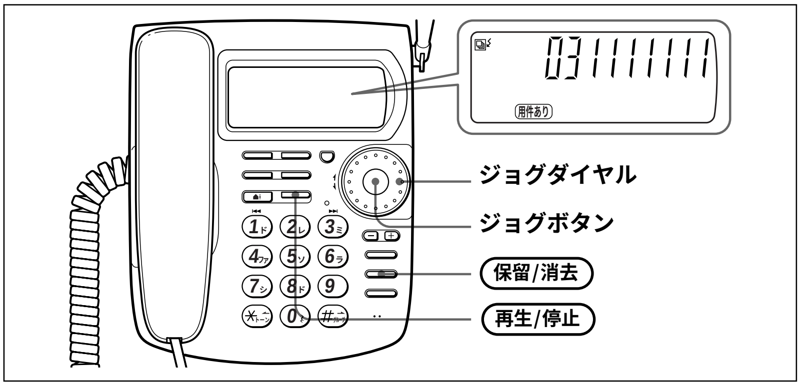
もう一度ジョグダイヤルを押す。

確認のために、「ピー」と鳴ります。

ナンバー・ディスプレイの使いかた

着信データ履歴から用件を再生／消去する（親機のみ）

着信データを表示中、「用件あり」が点灯したら、その着信データには留守番電話の用件が録音されています。



着信データ履歴から用件を再生するには（ダイレクト用件再生）

ちょっと一言
今聞いている用件をもう一度聞くには（リピート）、(1)（⏮）を押します。

(再生/停止)を押す。
その用件のみを再生します。

用件がなかった場合

(再生/停止)を押すと「用件はありません」のメッセージが流れます。

着信データ履歴から用件を消去するには

1. **(再生/停止)を押して、消したい用件を再生する。**
2. **用件を再生中に(保留/消去)を押す。**
   「もう一度消去を押してください」
3. **もう一度(保留/消去)を押す。**
   表示窓の「用件あり」が消えます。
   確認のために、「ピー」と鳴ります。

着信音鳴り分け機能を使う

ご注意
電話帳が市外局番から登録されていないと、鳴り分け機能は使えません（☞48ページ）。

ナンバー・ディスプレイ（☞32ページ）と、電話帳機能（☞46ページ）をあわせて使うとこの機能が使えます。親機・子機それぞれの電話帳に登録してある相手から電話がかかってきたときに、ベル音が変わり、親しい人からであることが分かります。

親機



電話帳に登録してある相手から電話がかかってきたとき



子機



電話帳に登録してある相手から電話がかかってきたとき



電話帳登録は、親機・子機それぞれで登録できるため、鳴り分けもそれぞれに対して行います。

特定の電話からつながらないようにする（おことわり機能）

ナンバー・ディスプレイを使うと、特定の電話からつながらないようにできます。いたずら電話など、二度と受けたくない電話を登録しておけば、次回からはベルを鳴らさずに自動的に応答し、切ります。（相手には通話料金がかかります。）最大20件まで登録できます。

親機で操作します。

おことわり先に登録した相手から電話がかかってくると「この電話は、お受けできません」というおことわりメッセージが、3回相手の電話に流れて、相手側の電話は自動的に切れます。

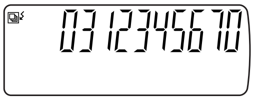
ことわりたい相手を着信データ履歴から登録する



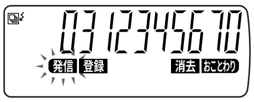
ご注意

- 表示窓に「C42 FULL」が出たら、おことわりが満杯です。不要なおことわりデータを消去して（☞43ページ）、登録し直してください。
- 着信データのうち、「公衆電話」「表示圏外」はおことわり登録できません。

1 **受話器を置いたままで、（発信/着信データ）を2回押す。**



2 **ジョグダイヤルを回して、断わりたい電話番号または「非通知」を表示させてから、ジョグボタンを押す。**

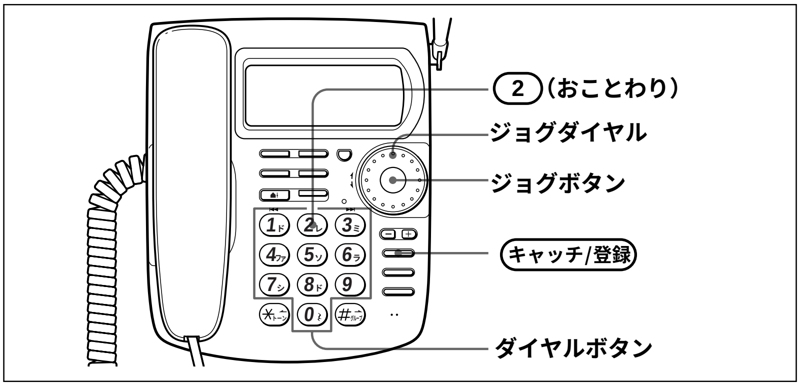


3 **ジョグダイヤルを回して、「おことわり」を点滅させ、ジョグボタンを押す。**

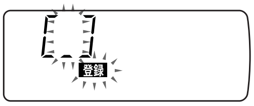
確認のため、「ピー」と鳴ります。

つづく→

ことわりたい相手を電話番号で登録する



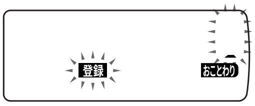
1 **受話器を置いたままで、キャッチ/登録 を押す。**



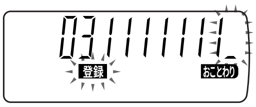
ボイスガイドが聞こえます。

2 **2 (おことわり) を押すか、ジョグダイヤルを回して「2」を表示させ、ジョグボタンを押す。**

「おことわり先を市外局番から押して、最後に登録を押してください」



3 **ダイヤルボタンを使って、相手の電話番号を市外局番から押す。**



4 **キャッチ/登録、またはジョグボタンを押す。**

確認のために「ピー」と鳴ります。

ご注意

- 表示窓に「C42 FULL」が出たら、おことわりが満杯です。不要なおことわりデータを消去して（☞43ページ）、登録し直してください。
- 市外局番から入れなかった場合は、「ピピピピピ」と鳴ります。手順1からやり直してください。

ナンバー・ディスプレイの使いかた

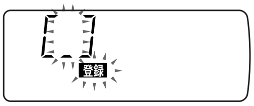
「非通知」をおことわり登録する

ご注意

すべての非通知の電話を受けられなくなりますのでご注意ください。

「非通知」の相手から電話がかかってくると、「恐れいりますが、186を最初にダイヤルしてからおかけ直しください」というおことわりのメッセージが3回流れ、電話を自動的に切ります。

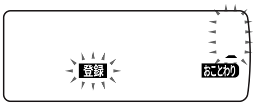
1 受話器を置いたままで、（キャッチ/登録）を押す。



ボイスガイドが聞こえます。

2 （2）（おことわり）を押すか、ジョグダイヤルを回して「2」を表示させ、ジョグボタンを押す。

「おことわり先を市外局番から押して、最後に登録を押してください」



3 電話番号の代わりに（1）（8）（4）を押す。

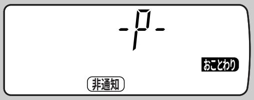


4 （キャッチ/登録）、またはジョグボタンを押す。

確認のために「ピー」と鳴ります。

ちょっと一言

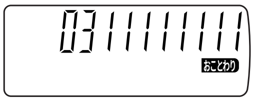
- 「非通知」をおことわり登録すると、下記のように表示されます。

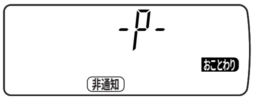


- 「非通知」をおことわり先から消去する方法については43ページをご覧ください。

おことわり先を確認する

受話器を置いたままで、（2）（おことわり）を押します。

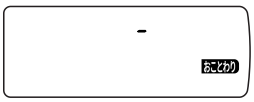




表示窓に「おことわり」が点灯し、相手の電話番号を表示します。ジョグダイヤルを回して確認します。
登録順に20件まで確認できます。
20秒たつともとの表示に戻ります。20秒たつ前にもとの表示に戻したいときは（再生/停止）を押してください。

1件もおことわりの登録がされていないときは

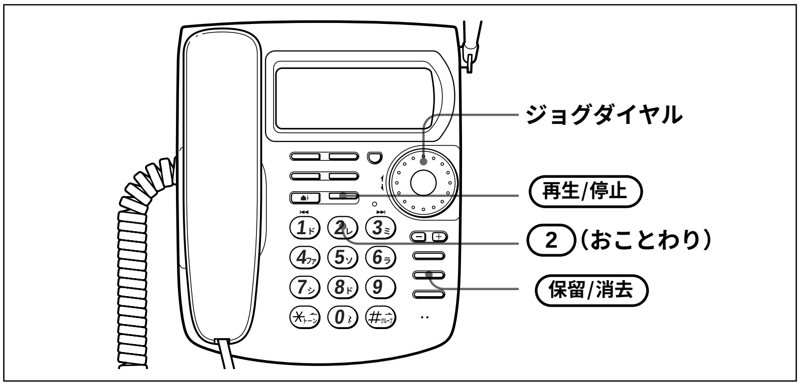
5秒たつともとの表示に戻ります。5秒たつ前にもとの表示に戻したいときは（再生/停止）を押してください。



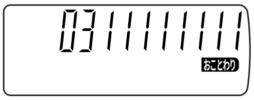
おことわり登録から消去する

1件ずつ消去します。

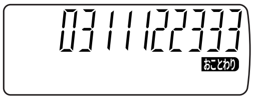
親機で操作します。



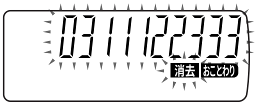
1 **受話器を置いたままで、2(おことわり)を押す。**



2 **ジョグダイヤルを使って、消去したい電話番号を表示させる。**



3 **保留/消去を押す。**



4 **もう一度保留/消去を押す。**

確認のために「ピー」と鳴ります。

消去を中止するときは、手順3の後に再生/停止を押してください。

「非通知」をおことわり登録から消去する

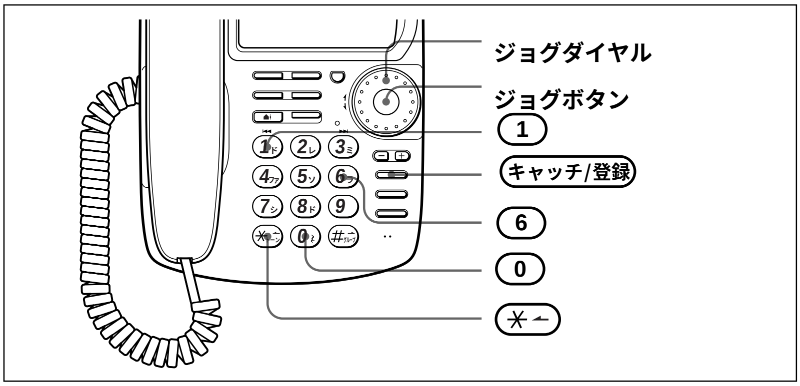
上記の手順2で「非通知」を表示させてから、保留/消去を2回押す。

ナンバー・ディスプレイの使いかた

非通知理由音声呼び出し機能を解除する

音声呼び出し機能が設定されている（表示窓に「名のってる」が点灯、☞67ページ）場合に、非通知・公衆電話・表示圏外からの着信があると、非通知理由「非通知です」、「公衆電話です」、「表示圏外です」とお知らせするようになっています。この機能を解除することができます。

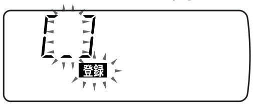
親機で操作します。



> **ちょっと一言**
> - お買い上げ時は非通知理由音声呼び出し機能は設定になっています。
> - 操作は親機で行いますが、親機・子機両方とも解除されます。

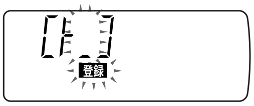
1 **受話器を置いたままで、（キャッチ/登録）を押す。**

ボイスガイドが聞こえます。



2 **（＊）を押す。または、ジョグダイヤルを回して、「ト」を表示させ、ジョグボタンを押す。**

ボイスガイドが聞こえます。

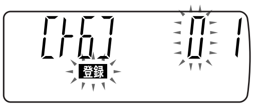


3 **（6）を押す。または、ジョグダイヤルを回して、「ト6」を表示させ、ジョグボタンを押す。**

「非通知理由音声呼び出し設定」



4 **（0）を押す。または、ジョグダイヤルを回して、「0」を点滅させる。**



5 **（キャッチ/登録）またはジョグボタンを押す。**

「ピー」と鳴り、確認のために「解除」と聞こえます。

非通知理由音声呼び出しを設定に戻すには

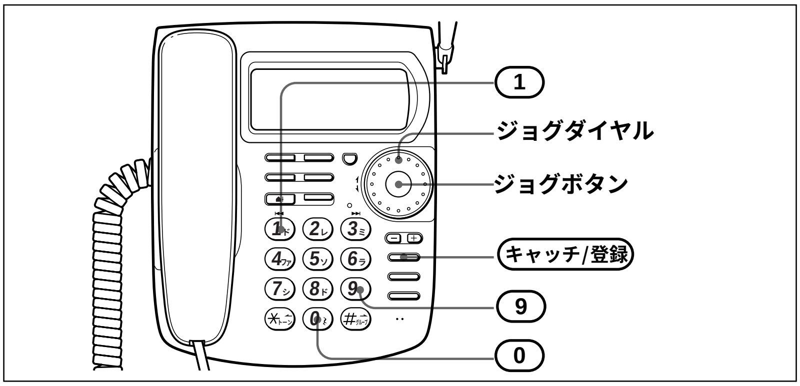
上記の手順4で（1）（設定）を押します。

（キャッチ/登録）を押すと、「ピー」と鳴り、確認のために「設定」と聞こえます。

電話番号の読み上げをやめる（ナンバーコール機能解除）

音声呼び出し機能が設定されている（表示窓に「名のってる」が点灯、☞67ページ）場合に、親機の電話帳に登録していない人から電話がかかってくると、電話番号を音声で読み上げます（ナンバーコール機能）。このナンバーコール機能を解除することができます。

親機で操作します。

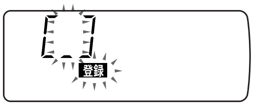


ちょっと一言

- お買い上げ時はナンバーコール機能は設定になっています。
- 操作は親機で行いますが、親機・子機両方とも解除されます。

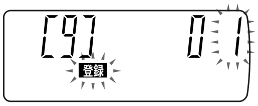
1 **受話器を置いたままで、(キャッチ/登録)を押す。**

ボイスガイドが聞こえます。

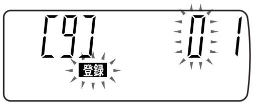


2 **(9)を押す。または、ジョグダイヤルを回して、「9」を表示させ、ジョグボタンを押す。**

「ナンバーコール設定」



3 **(0)を押す。または、ジョグダイヤルを回して、「0」を点滅させる。**



4 **(キャッチ/登録)またはジョグボタンを押す。**

「ピー」と鳴り、確認のために「解除」と聞こえます。

ご注意

子機の電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、ナンバーコール「設定」になっていても、親機で番号を読み上げない場合があります。

ナンバーコール機能を設定に戻すには

上記の手順3で(1)（設定）を押します。

(キャッチ/登録)を押すと、「ピー」と鳴り、確認のために「設定」と聞こえます。

電話帳機能について

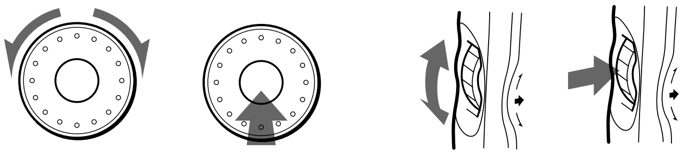
電話帳機能とは

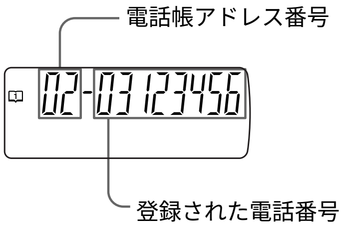
よくかける電話番号を登録しておくと、ジョグダイヤルで簡単に検索して、かけることができます。
親機100件、子機10件まで登録することができます（1件の電話番号は20桁まで）。

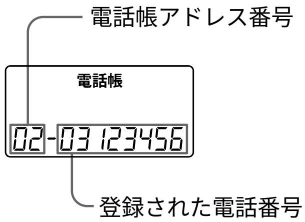
ジョグダイヤルの使いかた

親機 ジョグダイヤルを回して相手を選択し、ジョグボタンを2回押します（または受話器を上げます）。

子機 ジョグダイヤルを回して相手を選択し、ジョグダイヤルを2回押します（または(通話)を押します）。







電話帳機能とナンバー・ディスプレイ（☞32ページ）を使うと

- 電話帳に登録されている相手からの着信ベル音を変えます（着信音鳴り分け機能、☞39ページ）。
- 相手の名前がベル音と交互に再生され、誰からの着信か分かるようにできます（音声呼び出し機能、☞59ページ）。

電話帳グループとは（親機のみ）

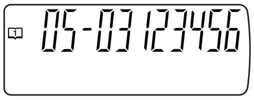
親機の電話帳は、下記のアドレス番号を指定することによって、4つあるグループの1つに振り分けて登録することができます。ご家族で本機をお使いの場合など、それぞれのグループを個人専用の電話帳として利用すると、検索が簡単にでき便利です。

指定アドレス00～24：電話帳グループ1
指定アドレス25～49：電話帳グループ2
指定アドレス50～74：電話帳グループ3
指定アドレス75～99：電話帳グループ4

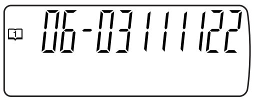
電話帳グループの使いかた

1 **(#)と(1)～(4)（グループ番号）を押す。**

そのグループで1番小さいアドレスの電話番号が表示されます。



2 **ジョグダイヤルを回して相手を選択する。**



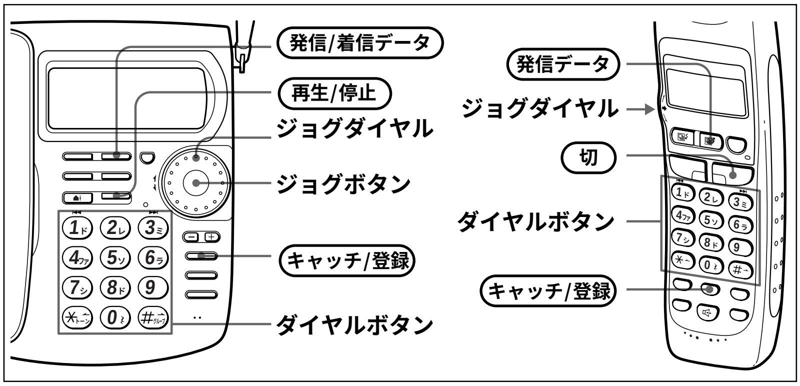
3 **ジョグボタンを2回押す（または受話器を取る）。**

電話帳グループとナンバー・ディスプレイ（☞32ページ）を使うと（親機のみ）

電話帳に登録するとき、グループに振り分けて登録してあると、ナンバー・ディスプレイとあわせて使うことによって、ご指名コールをグループごとに登録したり、グループに特定な留守応答メッセージを録音したり、グループに登録した人からの電話のみ転送したりできます。詳しくは71ページをご覧ください。

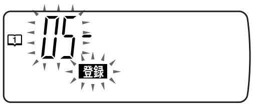
電話帳に電話番号を登録する

よくかける電話番号を登録しておくと、ジョグダイヤルで簡単に検索して、かけることができます。



ちょっと一言
（親機のみ）グループに振り分けて登録したい場合は、手順1のあとに47ページの「電話帳グループの使いかた」の手順1を行うと、目的のアドレス番号にすばやく到達することができます。

1 **親機** **受話器を置いたままで、ジョグボタンを押す。**
または（キャッチ/登録）を押し、（1）を押す。
00〜99のうち、未登録の一番小さいアドレス番号が表示されます。

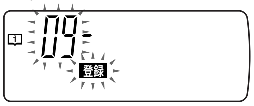


子機 **通話を切った状態でジョグダイヤルを押す。**
または（キャッチ/登録）を押し、（1）を押す。
00〜09のうち、未登録の一番小さいアドレス番号が表示されます。



ご注意
登録したいグループに空きアドレスがない場合は、「ピピピピピ」と警告音が鳴り、次のグループの一番小さい空きアドレスへジャンプします。

2 **ジョグダイヤルを回して、登録したいアドレス番号を表示させる。**



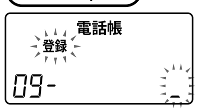
ジョグダイヤルを回して、登録したいアドレス番号を表示させる。



3 **ジョグボタンまたは（キャッチ/登録）を押す。**



ジョグダイヤルまたは（キャッチ/登録）を押す。



ちょっと一言
- 手順4で電話番号を間違えて入力したときは、（保留/消去）で消してください。
- 電話番号の前に「184」や「186」をつけて登録することもできます。
- 市内の相手に市外局番からダイヤルしても、同じ料金でかかります。

4 **ダイヤルボタンを使って、登録したい電話番号を市外局番から押す（20桁以内）。**



ダイヤルボタンを使って、登録したい電話番号を市外局番から押す（20桁以内）。



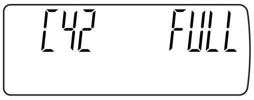
5 **ジョグボタンまたは（キャッチ/登録）を押す。**
確認のために、「ピー」と鳴ります。

ジョグダイヤルまたは（キャッチ/登録）を押す。
確認のために、「ピー」と鳴ります。

電話帳が満杯のときは

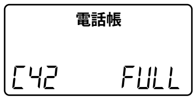
手順1を行うと、エラー音が鳴り表示窓に次の表示が出ます。

親機



5秒たつともとの表示に戻ります。5秒たつ前にもとの表示に戻したいときは（再生/停止）を押してください。

子機



5秒たつともとの表示に戻ります。5秒たつ前にもとの表示に戻したいときは（切）を押してください。

ポーズ（待ち時間）の必要な電話番号を登録するには

ちょっと一言
構内交換機に接続して使う場合はポーズが必要なことがあります。

ご注意
ポーズを入れて登録した番号はナンバー・ディスプレイの一致機能を利用することはできません。

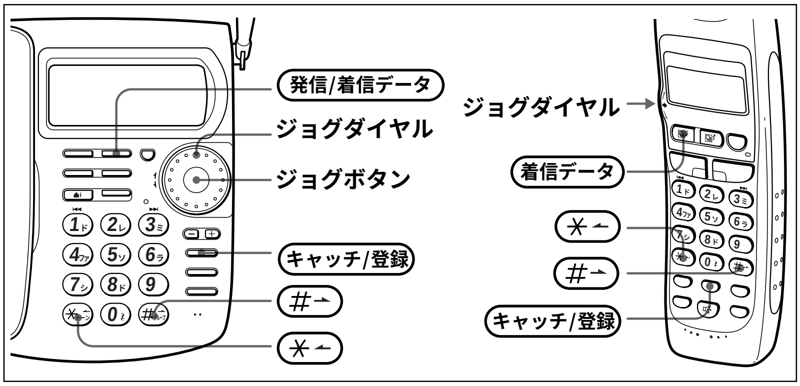
次のボタンを1回押すと約4秒間の待ち時間ができます。

親機 **電話番号の間に（発信/着信データ）を押す。**
表示窓には「P」が表示されます。
必要な待ち時間の長さに合わせて（発信/着信データ）を何度か押します。

子機 **電話番号の間に（発信データ）を押す。**
表示窓には「P」が表示されます。
必要な待ち時間の長さに合わせて（発信データ）を何度か押します。

着信データ履歴から登録する

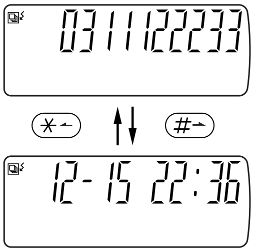
ナンバー・ディスプレイ（☞32ページ）をお使いのかたは、着信データ履歴を使って電話帳登録ができます。



ちょっと一言
着信データが1件もなかった場合、「ー」が出たあともとの状態に戻ります。

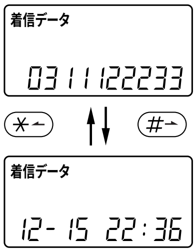
1 **親機** **受話器を置いたままで、（発信/着信データ）を2回押す。**

着信電話番号を表示しているとき、（#）を押すと、その番号の着信日時表示に切り換わります。また、表示が着信日時を表示しているとき、（＊）を押すと、その日時の着信電話番号表示に切り換わります。

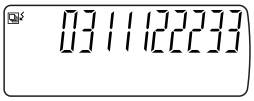


子機 **通話を切った状態で、（着信データ）を押す。**

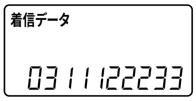
着信電話番号を表示しているとき、（#）を押すと、その番号の着信日時表示に切り換わります。また、表示が着信日時を表示しているとき、（＊）を押すと、その日時の着信電話番号表示に切り換わります。



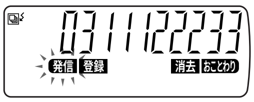
2 **ジョグダイヤルを回して登録したい電話番号を選ぶ。**



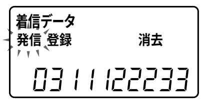
ジョグダイヤルを回して登録したい電話番号を選ぶ。



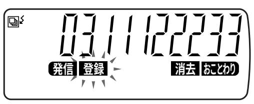
3 **ジョグボタンを押す。**



ジョグダイヤルを押す。



4 **ジョグダイヤルを回して「登録」を点滅させる。**



ジョグダイヤルを回して「登録」を点滅させる。



ご注意

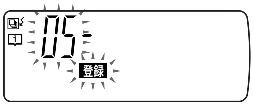
電話帳が満杯の場合、エラー音が鳴り、「C42 FULL」が出たあともとの状態に戻ります。

ちょっと一言

（親機のみ）グループに振り分けて登録したい場合は、手順5のあとに47ページの「電話帳グループの使いかた」の手順1を行うと、目的のアドレス番号にすばやく到達することができます。

5 **ジョグボタンを押す。**

00～99のうち、未登録の一番小さいアドレス番号が表示されます。

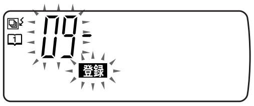


ジョグダイヤルを押す。

00～09のうち、未登録の一番小さいアドレス番号が表示されます。



6 **ジョグダイヤルを回して、登録したいアドレス番号を表示させる。**



ジョグダイヤルを回して、登録したいアドレス番号を表示させる。



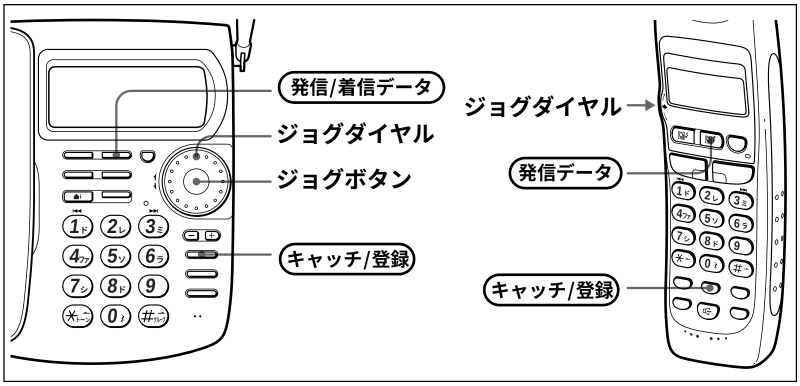
7 **ジョグボタンまたは（キャッチ/登録）を押す。**

確認のために、「ピー」と鳴ります。

ジョグダイヤルまたは（キャッチ/登録）を押す。

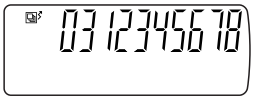
確認のために、「ピー」と鳴ります。

発信データ履歴から登録する

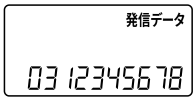


ちょっと一言
発信データが1件もなかった場合、「–」が出たあともとの状態に戻ります。

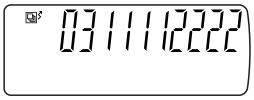
1 **親機** **受話器を置いたままで、(発信/着信データ)を押す。**
最新の発信番号表示が出ます。



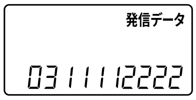
子機 **通話を切った状態で、(発信データ)を押す。**
最新の発信番号表示が出ます。



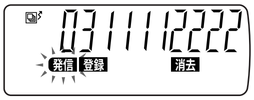
2 **ジョグダイヤルを回して登録したい電話番号を選ぶ。**



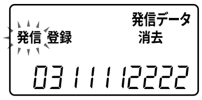
ジョグダイヤルを回して登録したい電話番号を選ぶ。



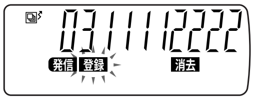
3 **ジョグボタンを押す。**



ジョグダイヤルを押す。



4 **ジョグダイヤルを回して「登録」を点滅させる。**

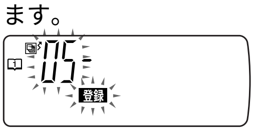


ジョグダイヤルを回して「登録」を点滅させる。



ご注意
電話帳が満杯の場合、エラー音が鳴り、「C42 FULL」が出たあともとの状態に戻ります。

5 **ジョグボタンを押す。**
00～99のうち、未登録の一番小さいアドレス番号が表示されます。



ジョグダイヤルを押す。
00～09のうち、未登録の一番小さいアドレス番号が表示されます。



ちょっと一言
（親機のみ）グループに振り分けて登録したい場合は、手順5のあとに47ページの「電話帳グループの使いかた」の手順1を行うと、目的のアドレス番号にすばやく到達することができます。

6 **ジョグダイヤルを回して、登録したいアドレス番号を表示させる。**



ジョグダイヤルを回して、登録したいアドレス番号を表示させる。



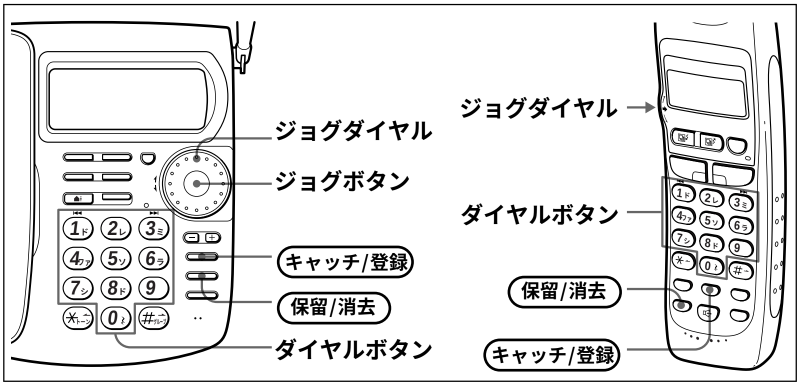
7 **ジョグボタンまたは(キャッチ/登録)を押す。**
確認のために、「ピー」と鳴ります。

ジョグダイヤルまたは(キャッチ/登録)を押す。
確認のために、「ピー」と鳴ります。

登録した電話番号を修正・消去する

つづく→

電話番号を修正するには

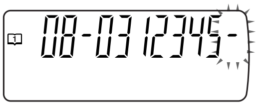


ちょっと一言

- 電話帳データが1件もなかった場合、「−」が出たあともとの状態に戻ります。
- （親機のみ）グループに振り分けて登録してある場合は、手順1の前に47ページの「電話帳グループの使いかた」の手順1を行うと、他のグループの電話番号をすばやく検索することができます。

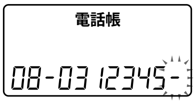
1 **親機** **受話器を置いたままで、ジョグダイヤルを使って修正したい電話番号を表示させる。**

検索のしかたについては、56ページをご覧ください。

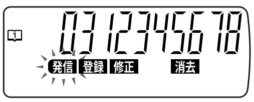


子機 **通話を切った状態で、ジョグダイヤルを使って修正したい電話番号を表示させる。**

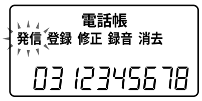
検索のしかたについては、56ページをご覧ください。



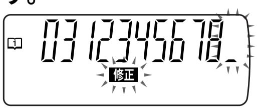
2 **ジョグボタンを押す。**



ジョグダイヤルを押す。



3 **ジョグダイヤルを回して「修正」を点滅させてジョグボタンを押す。**



ジョグダイヤルを回して「修正」を点滅させてジョグダイヤルを押す。



4 **（保留/消去）を押して修正したい番号まで消してから、ダイヤルボタンを使って入力し直す。**



（保留/消去）を押して修正したい番号まで消してから、ダイヤルボタンを使って入力し直す。



5 **ジョグボタンまたは（キャッチ/登録）を押す。**

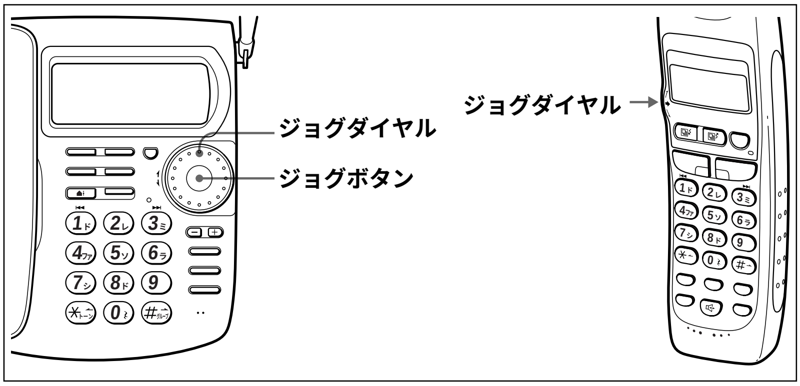
確認のために、「ピー」と鳴ります。

ジョグダイヤルまたは（キャッチ/登録）を押す。

確認のために、「ピー」と鳴ります。

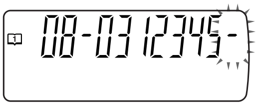
電話帳から消去するには

1件ずつ消去してください。



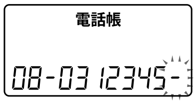
1 **親機** **受話器を置いたままで、ジョグダイヤルを使って、消去したい電話番号を表示させる。**

検索のしかたについては、56ページをご覧ください。



子機 **通話を切った状態で、ジョグダイヤルを使って、消去したい電話番号を表示させる。**

検索のしかたについては、56ページをご覧ください。



2 **ジョグボタンを押す。**



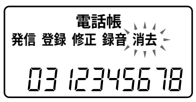
ジョグダイヤルを押す。



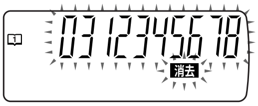
3 **ジョグダイヤルを回して「消去」を点滅させる。**



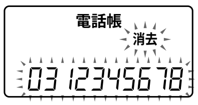
ジョグダイヤルを回して「消去」を点滅させる。



4 **ジョグボタンを押す。**



ジョグダイヤルを押す。



5 **もう一度ジョグボタンを押す。**

確認のために、「ピー」と鳴ります。

もう一度ジョグダイヤルを押す。

確認のために、「ピー」と鳴ります。

ちょっと一言

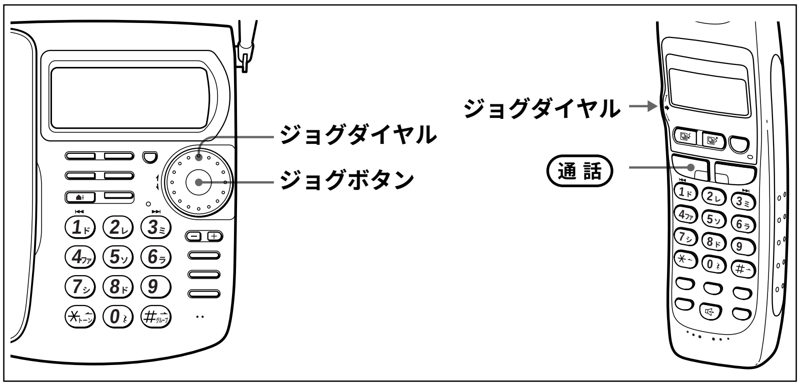
- 電話帳データが1件もなかった場合、「－」が出たあともとの状態に戻ります。
- （親機のみ）グループに振り分けて登録してある場合は、手順1の前に47ページの「電話帳グループの使いかた」の手順1を行うと、他のグループの電話番号をすばやく検索することができます。
- 手順2～5の代わりに（保留/消去）を2回押して消去することもできます。

電話帳を使って電話をかける

つづく→

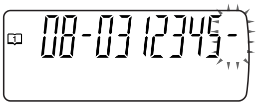
電話帳に登録してある電話番号を、ジョグダイヤルで手早く検索して電話をかけることができます。

電話をかける

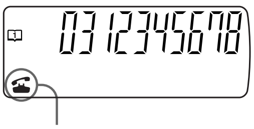


1 **親機▶ 受話器を置いたままで、ジョグダイヤルを回してかけたい電話番号を表示させる。**

検索のしかたについては56ページをご覧ください。



2 **受話器を取る。**



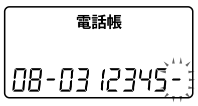
点灯します。

表示された電話番号に電話がかかります。

スピーカーホン通話（☞29ページ）をすることもできます。

子機▶ 通話を切った状態で、ジョグダイヤルを回してかけたい電話番号を表示させる。

検索のしかたについては56ページをご覧ください。



(通 話)を押す。

(通 話)ボタンのランプが点灯します。

表示された電話番号に電話がかかります。

スピーカーホン通話（☞30ページ）をすることもできます。

ちょっと一言

- 電話帳データが1件もなかった場合、「ー」が出たあともとの状態に戻ります。
- （親機のみ）グループに振り分けて登録してある場合は、手順1の前に47ページの「電話帳グループの使いかた」の手順1を行うと、他のグループの電話番号をすばやく検索することができます。

ちょっと一言

以下の方法で電話をかけることもできます。

- 手順2の代わりにジョグボタンを押し、「発信」が点滅したらもう一度ジョグボタン（子機ではジョグダイヤル）を押す。
- 受話器を取るか(スピーカーホン)を押してから、ジョグダイヤルを回してかけたい電話番号を表示させ、ジョグボタン（子機ではジョグダイヤル）を押す。

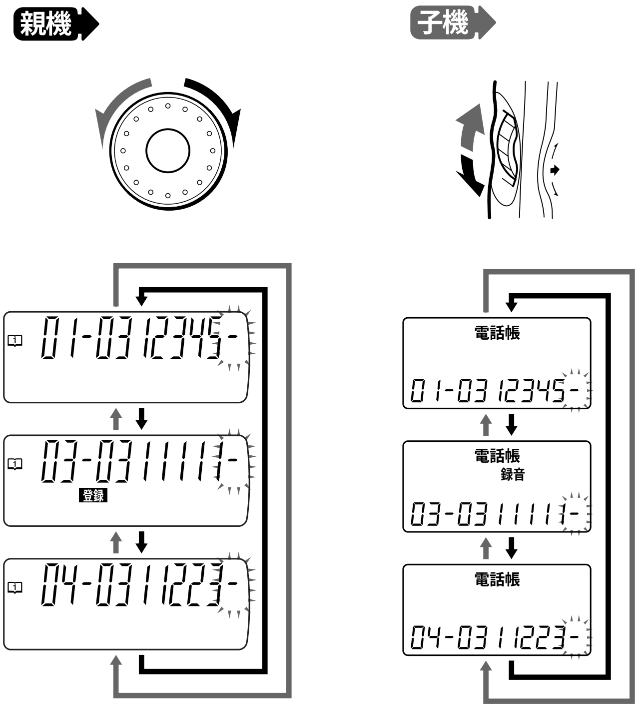
電話帳を使って電話をかける（つづき）

検索のしかたについて

ちょっと一言
- 音声登録（☞59ページ）されているときは音声が聞こえます。
- 未登録の電話帳アドレス番号はスキップされ、次に登録済みの電話帳アドレス番号と電話番号を表示します。
- （親機のみ）グループに振り分けて登録してある場合は、ジョグダイヤルを回す前に47ページの「電話帳グループの使いかた」の手順1を行うと、目的のアドレス番号にすばやく到達することができます。

ジョグダイヤルを回すと電話帳のアドレス番号（☞46ページ）の順番に表示されます。
また、誰からコール（☞60ページ）．ご指名コール（☞63ページ）に登録された、または呼び出し音声が録音された（☞65ページ）電話番号と一致する電話番号を表示すると、呼び出し音声が聞こえ確認できます。

例： アドレス01、03、04が電話帳登録済みの場合

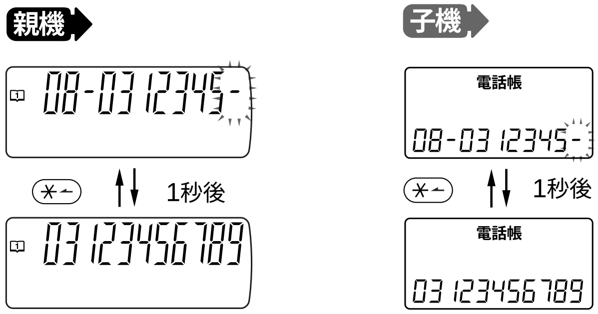


つづく→

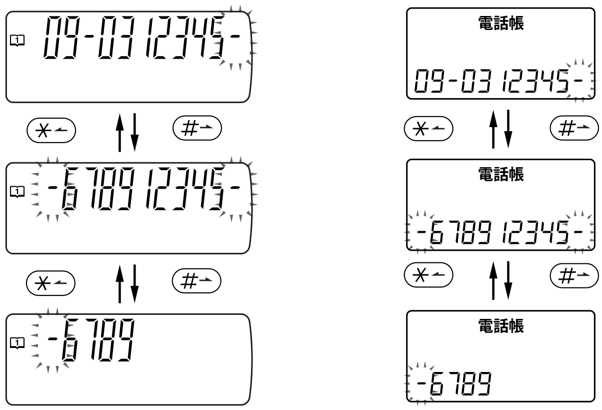
9桁以上の電話番号を表示窓で確認するには

電話番号が9桁以上のときは、始めの7桁しか表示されません。続きを表示させるには、（＃）を押して表示を切り換えます。表示は（＊）で戻ります。（9桁以上11桁以下の場合は、1秒後自動的に全桁を表示します。）

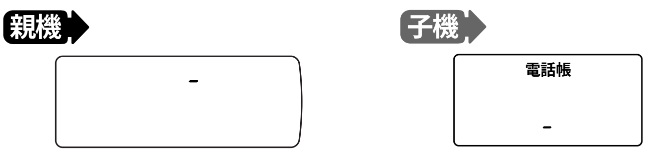
例1： アドレス番号08の電話番号が03123456789の場合



例2： アドレス番号09の電話番号が03123456789123456789の場合（18桁以上のとき）



1件も電話帳に登録されていないときは



5秒たつともとの表示に戻ります。5秒たつ前にもとの表示に戻すには（再生/停止）を押してください。

5秒たつともとの表示に戻ります。5秒たつ前にもとの表示に戻すには（切）を押してください。

電話帳を使って電話をかける（つづき）

電話帳検索を中止するには

親機 (再生/停止)を押す。　子機 (切)を押す。

通話中に電話帳から電話番号を探すには

親機 通話中にジョグダイヤルを回して電話番号を検索します。電話番号は約20秒間表示されて通話時間表示に戻ります。20秒たつ前に通話時間表示に戻すには(再生/停止)を押してください。

子機 通話中にジョグダイヤルを回して電話番号を検索します。電話番号は約20秒間表示されて通話時間表示に戻ります。20秒たつ前に通話時間表示に戻すには(優先)を押してください。

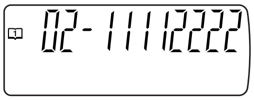
電話帳を組み合わせて使う

電話帳には、電話をかけるときに使う電話番号だけでなく、電話がつながった後に押す暗証番号やポケベルのメッセージなどを登録しておくこともできます。

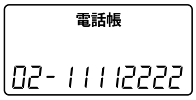
例えば、ポケベルの番号とメッセージをそれぞれ電話帳に登録しておいた場合、以下のように使うことができます。

例：　電話帳にポケベル番号「1111-2222」と、メッセージ「3323042244＃＃」を登録してある場合

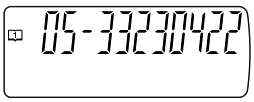
1 親機 **電話帳の中からポケベル番号を選んで電話をかける（☞55ページ）。**



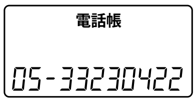
子機 **電話帳の中からポケベル番号を選んで電話をかける（☞55ページ）。**



2 **電話がつながったら、ジョグダイヤルを回して電話帳の中から登録しておいたメッセージを選ぶ。**



電話がつながったら、ジョグダイヤルを回して電話帳の中から登録しておいたメッセージを選ぶ。



3 **ポケベルセンターのアナウンスに従い、メッセージを送るときに、ジョグボタンを押す。**

ポケベルセンターのアナウンスに従い、メッセージを送るときに、ジョグダイヤルを押す。

呼び出し音を相手の名前や宛先に変える（音声呼び出し機能）

つづく→

呼び出し音を相手の名前や宛先に変える（音声呼び出し機能）と、色々な使いかたができます。

親機の表示窓に「名のってる」表示が点灯していることを確認してください（☞67ページ）。

- ナンバー・ディスプレイと電話帳をあわせて使うと、電話が鳴ったときの呼び出し音を下記の音声のどれかに変えることができます。1つの電話番号の呼び出し音声は1つなので、既に登録されている番号にもう一度登録すると上書きされます。ただし、親機と子機の電話帳に同じ番号が登録されていると、親機で登録した音声が優先されます。子機で音声を登録してあっても、その音声は聞こえません。
  電話帳については46ページをご覧ください。

誰からコール



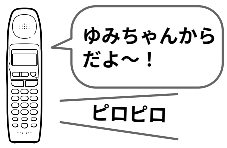
70種類の中から選んでください（☞60〜62ページ）。

ご指名コール（子機のみ）



10種類の中から選んでください（☞63〜64ページ）。

自分で録音（子機のみ）



ご自分で、お好きな名前を録音して使えます（☞65〜66ページ）。

親機音声設定（☞68ページ）

「入」のときは

親機で音声呼び出しが登録されている相手から電話がかかってくると、子機でも同じ呼び出し音声が聞こえます。



「切」にすると

親機で音声呼び出しが登録された相手から電話がかかってきても、その子機の電話帳に登録されていなければ、呼び出し音声は聞こえません。



子機音声設定（☞69ページ）

「切」のときは

子機の電話帳だけに登録されている相手から電話がかかってくると、その子機だけで呼び出し音声が聞こえます。



「入」にすると

子機で音声呼び出しが録音されている相手から電話がかかってくると、親機でも同じ呼び出し音声が聞こえます。

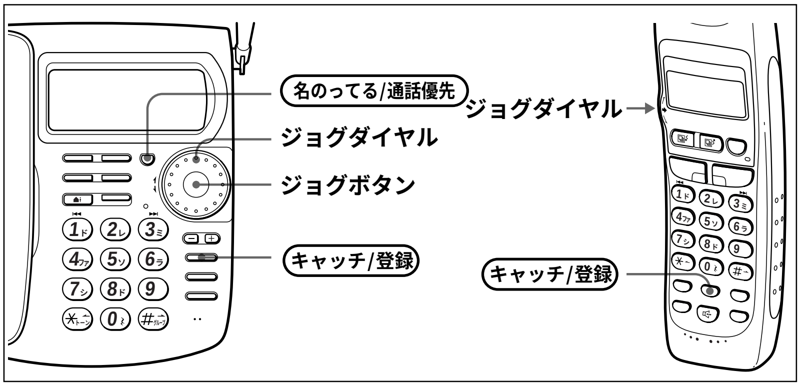


音声呼び出し入／切（☞67ページ）

名のってるボタンを使って、呼び出し音声を消去せずに、一時的に切っておくことができます（☞67ページ）。
来客時などにお使いいただけます。

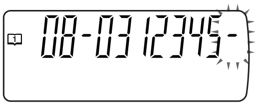
誰からコールを登録する

本機には、よく使う呼び名20種類・名字50種類があらかじめ録音されています（☞61ページ）。その番号を選ぶことで、電話帳に登録されている人からの呼び出し音を音声に変えることができます。
操作の前に、親機の表示窓に「名のってる」表示が点灯していることを確認してください（☞67ページ）。
電話帳については46ページをご覧ください。



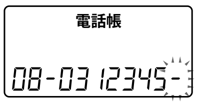
ご注意
親機と子機の電話帳に同じ番号が登録されていると、親機で登録した音声が優先されます。

1 **親機** **受話器を置いたままで、ジョグダイヤルを回して、誰からコールを登録したい電話番号を検索して表示する。**



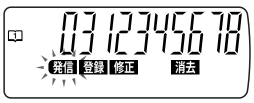
音声呼び出しが登録されているとき、その音声が聞こえます。

子機 **通話を切った状態で、ジョグダイヤルを回して、誰からコールを登録したい電話番号を検索して表示する。**

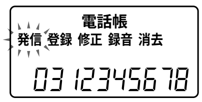


音声呼び出しが登録されているとき、その音声が聞こえます。

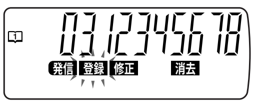
2 **ジョグボタンを押す。**



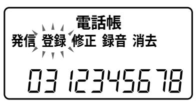
ジョグダイヤルを押す。



3 **ジョグダイヤルを回して「登録」を点滅させる。**



ジョグダイヤルを回して「登録」を点滅させる。

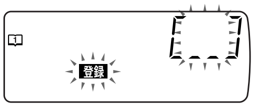


ナンバー・ディスプレイと電話帳をあわせて使う

つづく→

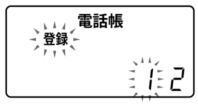
ご注意
呼び出し音声が録音されている同じ電話帳の相手に登録すると、登録した誰からコールが優先され、録音された内容が消去されます。

4 **そのままジョグボタンを押す。**

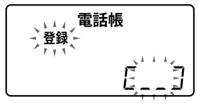


誰からコールが登録済みの場合は、登録された誰からコールの番号が出て、再生されます。
「誰からコール登録」

ジョグダイヤルを押す。

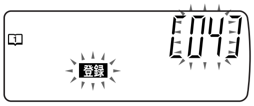


ジョグダイヤルをもう一度押す。



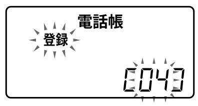
誰からコールが登録済みの場合は、登録された誰からコールの番号が出て、再生されます。

5 **2桁の番号を押すか、ジョグダイヤルを回して、登録したい誰からコールを選ぶ。**



選択された誰からコールが聞こえます。

2桁の番号を押すか、ジョグダイヤルを回して、登録したい誰からコールを選ぶ。



選択された誰からコールが聞こえます。

6 **(キャッチ/登録)またはジョグボタンを押す。**
確認のために、「ピー」と鳴り、登録された音声が聞こえます。

(キャッチ/登録)またはジョグダイヤルを押す。
確認のために、「ピー」と鳴り、登録された音声が聞こえます。

誰からコールは下記の番号で登録されています。

00 お父さん	18 彼氏	36 ゴトウさん	54 ハヤシさん
01 お母さん	19 彼女	37 コバヤシさん	55 フジイさん
02 パパ	20 アベさん	38 コンドウさん	56 フジタさん
03 ママ	21 アライさん	39 サイトウさん	57 フジワラさん
04 お兄さん	22 イケダさん	40 サカモトさん	58 マエダさん
05 お姉さん	23 イシイさん	41 ササキさん	59 マツモトさん
06 弟さん	24 イシカワさん	42 サトウさん	60 ムラカミさん
07 妹さん	25 イトウさん	43 シミズさん	61 モチヅキさん
08 お爺ちゃん	26 イノウエさん	44 スズキさん	62 モリさん
09 お婆ちゃん	27 ウエダさん	45 タカハシさん	63 ヤマグチさん
10 おじさん	28 エンドウさん	46 タナカさん	64 ヤマザキさん
11 おばさん	29 オオニシさん	47 タニグチさん	65 ヤマシタさん
12 お孫さん	30 オカモトさん	48 チバさん	66 ヤマダさん
13 実家	31 カトウさん	49 ナカジマさん	67 ヤマモトさん
14 お得意様	32 キクチさん	50 ナカムラさん	68 ヨシダさん
15 会社	33 キムラさん	51 ニシムラさん	69 ワタナベさん
16 社長さん	34 クドウさん	52 ハシモトさん	
17 お店	35 コウノさん	53 ハマダさん	

ご注意
- 実際にはこのあとに「からです」がつきます。
- 手順6ではボイスガイドは「XXXからです」となります。

登録した誰からコールを確認するには

親機 受話器を置いたままで、ジョグダイヤルを回して確認したい電話番号を表示させます。

子機 通話を切った状態で、ジョグダイヤルを回して確認したい電話番号を表示させます。

登録された音声が再生されます。

登録をやり直すには

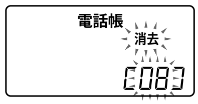
60〜61ページの手順1〜6をもう一度行ってください。誰からコールは新しく登録されたものに変更されます。

登録した誰からコールを消去するには

1 **親機** 手順4の後で 登録した誰からコールの番号が出ているときに（保留/消去）を押す。
「もう一度消去を押してください」



子機 手順4の後で 登録した誰からコールの番号が出ているときに（保留/消去）を押す。



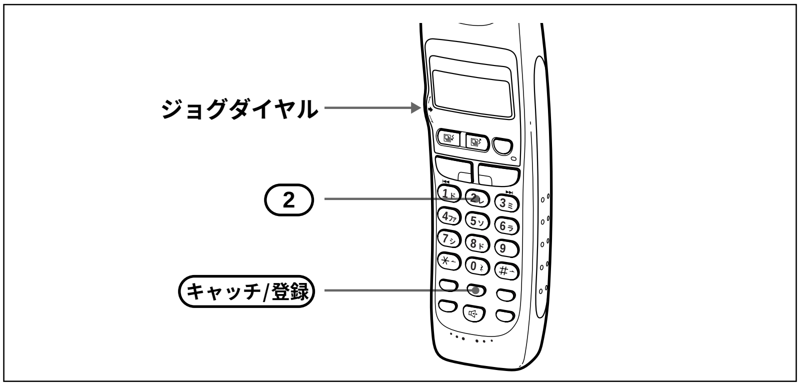
2 ボイスガイド終了後、20秒以内にもう一度（保留/消去）を押す。
確認のために、「ピー」と鳴ります。

20秒以内にもう一度（保留/消去）を押す。
確認のために、「ピー」と鳴ります。

つづく→

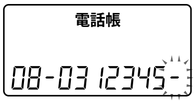
ご指名コールを登録する（子機のみ）

本機には、10種類の呼びかけかたがあらかじめ録音されています（☞64ページ）。その番号を選ぶことで呼び出し音を音声に変えることができます（電話帳に登録された相手のみ）。
親機の表示窓に「名のってる」表示が点灯していることを確認してください（☞67ページ）。
電話帳については46ページをご覧ください。

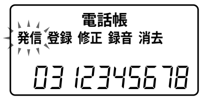


ご注意
呼び出し音声が録音されている同じ電話帳の相手に登録すると、登録したご指名コールが優先され、録音された内容が消去されます。

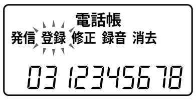
1 **通話を切った状態で、ジョグダイヤルを回して、ご指名コールを登録したい電話番号を表示する。**



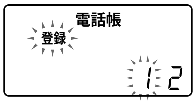
2 **ジョグダイヤルを押す。**



3 **ジョグダイヤルを回して「登録」を点滅させる。**



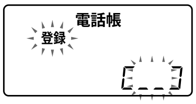
4 **ジョグダイヤルを押す。**



5 **(2)を押すか、または、ジョグダイヤルを回して、「2」を点滅させる。**

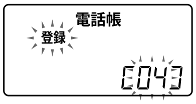


6 **ジョグダイヤルを押す。**



ご指名コールが登録済みの場合は登録されたご指名コールの番号が出て、再生されます。

7 **2桁の番号を押すか、ジョグダイヤルを回して、登録したいご指名コールを選ぶ。**



選択されたご指名コールが聞こえます。

ご指名コールは下記の番号で登録されています。

00	お父さ〜ん
01	お母さ〜ん
02	パパ〜
03	ママ〜
04	お兄ちゃ〜ん
05	お姉ちゃ〜ん
06	お爺ちゃ〜ん
07	お婆ちゃ〜ん
08	旦那さま〜
09	奥さま〜

8 **（キャッチ/登録）またはジョグダイヤルを押す。**
確認のために、「ピー」と鳴り、登録された音声が聞こえます。

登録したご指名コールを確認するには

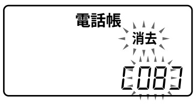
通話を切った状態で、ジョグダイヤルを回して確認したい電話番号を表示させます。
登録された音声が再生されます。

登録をやり直すには

手順1〜8をもう一度行ってください。ご指名コールは新しく登録されたものに変更されます。

登録したご指名コールを消去するには

1 手順6の後で 登録したご指名コールの番号が出ているときに（保留/消去）を押す。



2 20秒以内にもう一度（保留/消去）を押す。
確認のために、「ピー」と鳴ります。

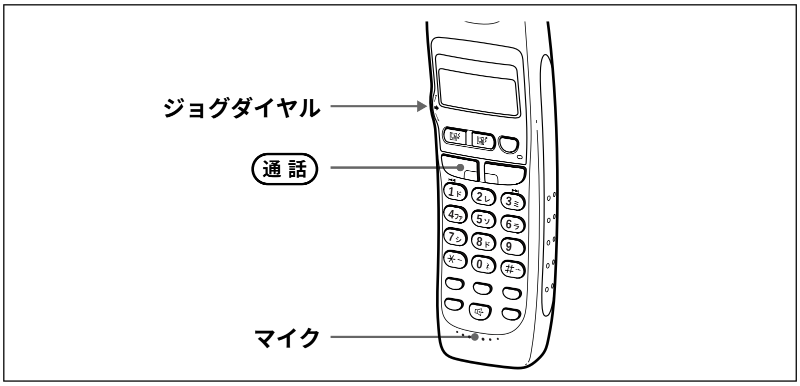
つづく→

呼び出し音声を録音する（子機のみ）

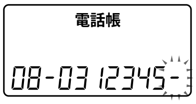
誰からコール、ご指名コール以外に、ご自分で呼び出し音声を録音することもできます（電話帳に登録された相手のみ）。

親機の表示窓に「名のってる」表示が点灯していることを確認してください（☞67ページ）。

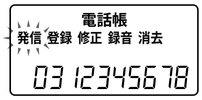
電話帳については46ページをご覧ください。



1 **通話を切った状態で、ジョグダイヤルを回して、音声を録音したい電話番号を表示する。**



2 **ジョグダイヤルを押す。**



3 **ジョグダイヤルを回して「録音」を点滅させる。**

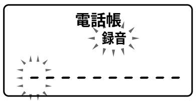


4 **ジョグダイヤルを押す。**

- 呼び出し音声が録音されていない場合



- 呼び出し音声が録音済みの場合（呼び出し音声を再生しながら、バー表示が2秒間で左から右へ1つずつ消灯します。再生終了後、上の表示になります。）



ご注意

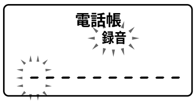
- 呼び出し音声を録音すると、留守番電話の用件録音時間がやや短くなります。
- 親機と子機の電話帳に、同じ番号が登録されていると、親機で登録した音声が優先されます。
- 呼び出し音声は、聞き取りやすいようにはっきりと話してください。
- 誰からコール・ご指名コールが登録されている同じ電話帳の相手に録音すると、録音した呼び出し音声が優先され、登録された内容が消去されます。
- 録音しようとするとき、エラー音が聞こえたら、用件がいっぱいに録音されていて、メモリーが満杯です。不要な用件を消去してください（☞100ページ）。用件の録音時間は、自分で録音した応答メッセージ、呼び出し音声を含め、約10分です。

ご注意

- 手順5で20秒以内に(通話)を押さないと、録音できません。手順1からやり直してください。
- 各手順は20秒以上かけないでください。

5 **(通話)を押して、「ピー」と鳴ったら子機のマイクに向かって呼び出し音声を話す。**

「ピー」と鳴ると、バー表示が2秒間で左から右へ1つずつ消灯します。



「ピー」と鳴り、電話番号が点灯し、録音した呼び出し音声が聞こえます。
録音内容を確認してください。

録音した呼び出し音声を確認するには

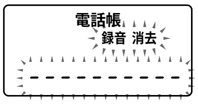
通話を切った状態で、ジョグダイヤルを回して確認したい電話番号を表示させます。
録音した呼び出し音声が再生されます。

録音をやり直すには

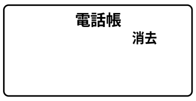
手順1〜5をもう一度行ってください。呼び出し音声は新しく録音されたものに変更されます。

録音した呼び出し音声を消去するには

1 手順4の後で 録音した呼び出し音声を再生中に(保留/消去)を押す。



2 20秒以内にもう一度 (保留/消去)を押す。



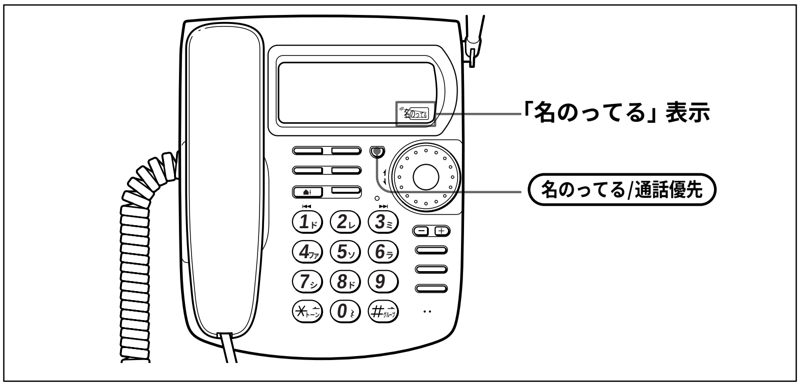
確認のために、「ピー」と鳴ります。

つづく→

音声呼び出し機能を解除する

ちょっと一言
来客時などに、お使いください。

音声呼び出し（誰からコール・ご指名コール・録音した呼び出し音声・ナンバーコール・非通知理由）を、切っておくことができます。
親機で操作します。



ちょっと一言
操作は親機で行いますが、親機・子機両方とも解除されます。

名のってる/通話優先を押して表示窓の「名のってる」表示を消灯させる。

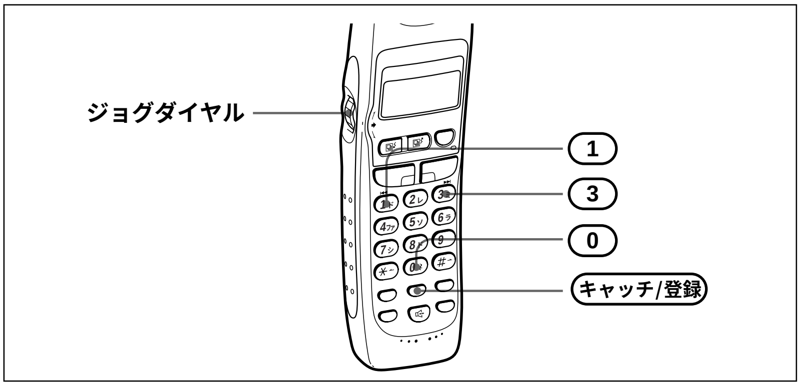
音声呼び出し機能を再び設定するには

名のってる/通話優先を押して表示窓に「名のってる」表示を点灯させます。

子機音声呼び出しをその子機の電話帳のみにする（親機音声設定の解除）

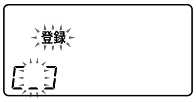
お買い上げ時は、親機で音声呼び出し登録した相手から電話がかかってくると、子機でも同じ呼び出し音声が聞こえます（親機音声設定）。親機音声設定を「解除」にすると、その子機で登録してある呼び出し音声のみが聞こえます。

その子機で操作します。

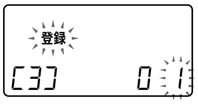


> **ご注意**
> 親機と子機の電話帳に同じ番号が登録されていると、親機音声設定が解除されていても、親機で登録した音声が優先されます。

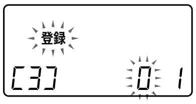
1 **通話を切った状態で、（キャッチ/登録）を押す。**



2 **（3）を押す。または、ジョグダイヤルを回して、「3」を表示させ、ジョグダイヤルを押す。**



3 **（0）（解除）を押す。または、ジョグダイヤルを回して、「0」を点滅させる。**



番号を変更しない場合は手順4に進んでください。

4 **（キャッチ/登録）またはジョグダイヤルを押す。**
確認のために、「ピー」と鳴ります。

親機音声設定に戻すには

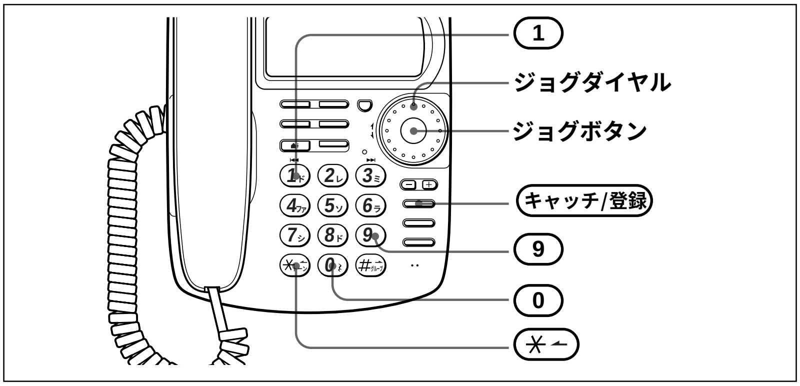
上記の手順3で（1）（設定）を選びます。
（キャッチ/登録）を押すと、「ピー」と鳴ります。

子機の呼び出し音声が親機でも聞こえるようにする（子機音声設定）

子機の電話帳に登録してある電話番号から電話がかかってきたとき、子機で録音・登録してある呼び出し音声を親機でも聞くことができます（子機音声設定）。

操作の前に、表示窓に「名のってる」表示が点灯していることを確認してください（☞67ページ）。

親機で操作します。



> **ちょっと一言**
> お買い上げ時は子機音声設定機能は解除になっています。

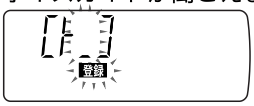
1 **受話器を置いたままで、(キャッチ/登録)を押す。**

ボイスガイドが聞こえます。



2 **(＊)を押す。または、ジョグダイヤルを回して、「ト」を表示させ、ジョグボタンを押す。**

ボイスガイドが聞こえます。



3 **(9)を押す。または、ジョグダイヤルを回して、「ト9」を表示させ、ジョグボタンを押す。**



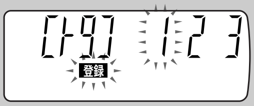
「子機音声設定」

4 **(1)を押す。または、ジョグダイヤルを回して、「1」を点滅させる。**



5 **(キャッチ/登録)またはジョグボタンを押す。**

「ピー」と鳴り、確認のため、「設定」と聞こえます。

> **ちょっと一言**
> 子機が2台以上ある場合、手順3で(9)を押すと、表示窓に次の表示が出ます。
> 例：子機が3台の場合
>
> 
>
>
> ジョグダイヤルを回して設定する子機の番号を選んで、ジョグボタンを押します。
> 子機1で設定する場合は：(1)
> 子機2で設定する場合は：(2)
> 子機3で設定する場合は：(3)

子機音声設定を再び解除するには

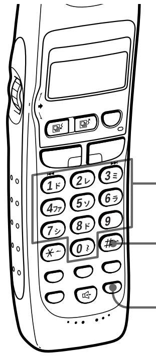
手順4で(0)を押します。

(キャッチ/登録)を押すと、「ピー」と鳴り、確認のため「解除」と聞こえます。

子機を電話帳登録の相手以外からは鳴らないようにする（子機プライベート着信）

ご注意
- 子機の電話帳に登録してある電話番号以外からかかってきたときは、親機のベルだけが鳴ります。
- 子機プライベート着信にしているときは、トールセーバー機能（☞102ページ）は使えません。

ナンバー・ディスプレイと電話帳（☞46ページ）をあわせて使うと、子機の電話帳に登録してある相手からかかったときだけ、その子機のベルを鳴らすようにすることができます（子機プライベート着信）。
この場合、子機のベルは親機よりも先に約4回鳴ります。
子機が2台以上ある場合は、いずれかひとつの子機で設定できます。
子機プライベート着信は、設定してから1〜9時間（指定した時間）後に自動的に解除されます。
その子機で操作します。



1 **通話を切った状態で、(優先)(＃)を押す。**

2 **(1)〜(9)で 子機プライベート着信が自動的に解除される時間（1桁）を押す。**
確認のために、「ピー」と鳴ります。
電話がかかってくると、その子機のベルが他より先に鳴ります。

ご注意
- 他の子機が子機プライベート着信または優先着信（☞90ページ）になっているときは設定できません。
- すでに子機プライベート着信に設定されている子機でこの操作をしたり、優先着信を設定すると、設定内容が更新されます。
- 他の子機で設定済みのときは、「C52」と表示されます。
- 子機のベル音量を「切」にしていると、ベルは鳴りません。

子機プライベート着信をやめるには

子機プライベート着信は、設定した時間後に自動的に解除されますが、その前に解除するには以下の操作をしてください。
子機プライベート着信が設定されている子機で操作します。

1 **通話を切った状態で、(優先)を押す。**

2 **(0)を押す。**
確認のために、「ピー」と鳴ります。
子機プライベート着信が解除されます。

ちょっと一言
- 留守番状態にしているときは、親機のベルが鳴り始めてから設定されているベルの回数（☞99ページ）のあとで応答メッセージが流れます。
- 電話をかけてきた相手に聞こえるベルの回数は、子機または親機で鳴る回数より1〜2回多く聞こえます。

子機が2台以上ある場合

子機プライベート着信を設定した子機で、親機や他の子機が鳴る前（ベル4〜5回）に電話に出ると、他の子機には着信データ履歴は残りません。（親機には残ります。）

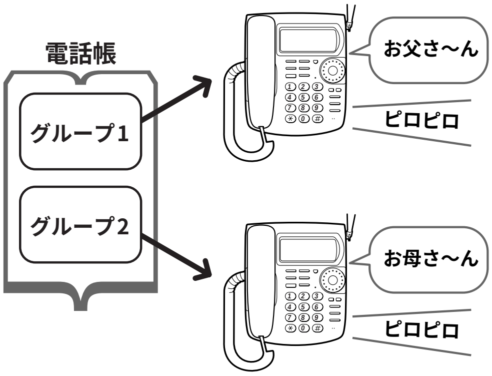
グループ機能について

電話帳に登録するとき、グループに振り分けて登録してあると(☞47ページ)、ナンバー・ディスプレイとあわせて使うことによって、ご指名コールをグループごとに登録したり(☞72ページ)、グループに特定な留守応答メッセージを録音したり(☞74ページ)、グループに登録した人からの電話のみ転送したり(☞107ページ)できます。

親機の表示窓に「名のってる」表示が点灯していることを確認してください(☞67ページ)。

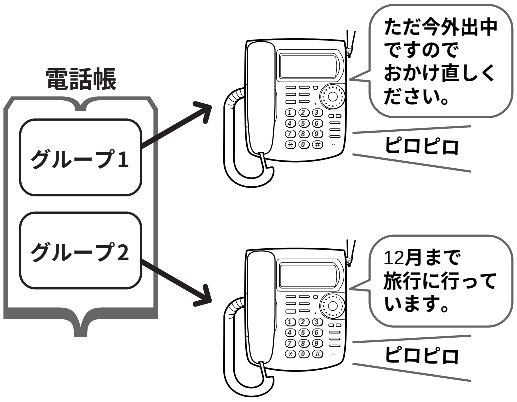
電話帳グループの登録については47ページをご覧ください。

グループご指名コール



10種類の中から選んだ呼びかけかたをグループに分けて登録します(☞72〜73ページ)。

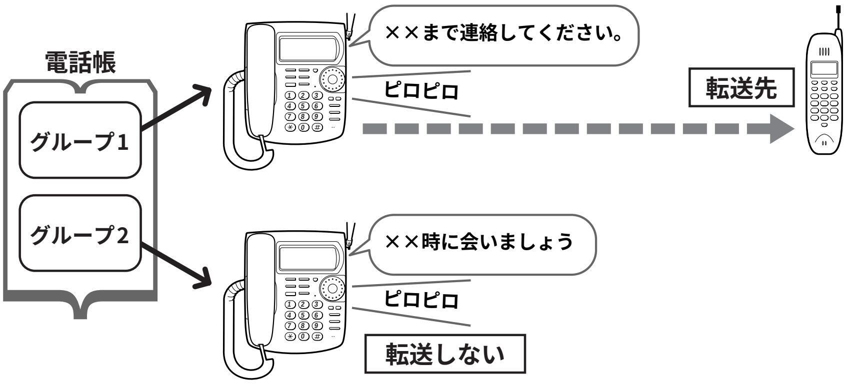
グループ自作応答メッセージ自動切り換え機能(☞74ページ)



グループに登録した相手にグループ自作応答メッセージで応答します。

グループ留守番転送(☞107ページ)

グループに登録した相手から留守中に電話がかかってきて用件を録音されると、その用件を転送します。

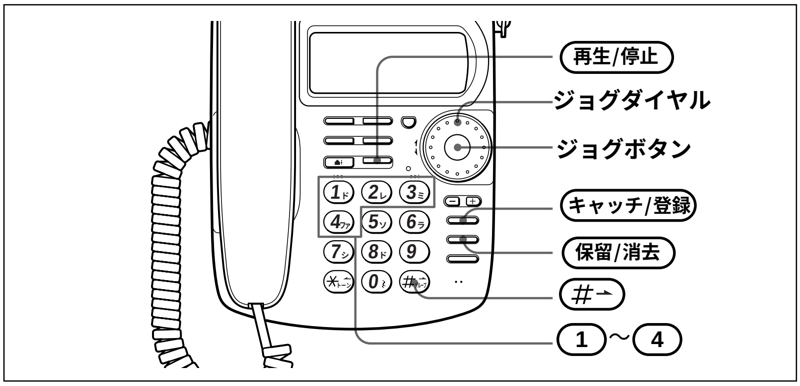


ご指名コールを使い分ける

親機の電話帳グループそれぞれに、ご指名コール登録をしておくと、電話がかかってきたときの呼び出し音声によって、誰宛ての電話か分かります。かかってきた電話番号が、ある電話帳グループに登録した電話番号と一致した場合、グループに登録したご指名コール（10種類から選択☞73ページ)が交互に聞こえます。

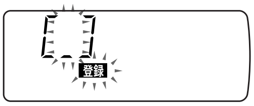
操作の前に、親機の表示窓に「名のってる」表示が点灯していることを確認してください（☞67ページ)。

親機で操作します。



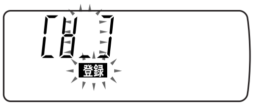
1 **受話器を置いたままで、（キャッチ/登録）を押す。**

ボイスガイドが聞こえます。



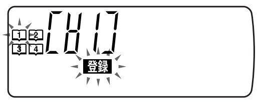
2 **（#）を押す。または、ジョグダイヤルを回して、「G」を表示させ、ジョグボタンを押す。**

ボイスガイドが聞こえます。

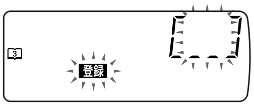


3 **（1）を押す。または、ジョグダイヤルを回して、「G1」を表示させ、ジョグボタンを押す。**

「ご指名コール登録」



4 **登録したいグループ番号（1）～（4）を押す。または、ジョグダイヤルを回して登録したいグループ番号を点滅させ、ジョグボタンを押す。**



ご指名コールが登録済みの場合は登録されたご指名コールの番号が出て、再生されます。

ちょっと一言

同じ電話番号が複数のグループに登録されている場合は、一番小さい番号のグループで登録されたご指名コールが再生されます。

ご注意

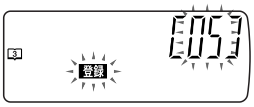
ある電話番号が誰からコール登録されている（☞60ページ）場合、その電話番号に属するグループをご指名コール登録しても、電話がかかってきたときは、誰からコールで音声呼び出しをします（誰からコール優先)。

ご指名コールは下記の番号で登録されています。

00	お父さ〜ん
01	お母さ〜ん
02	パパ〜
03	ママ〜
04	お兄ちゃ〜ん
05	お姉ちゃ〜ん
06	お爺ちゃ〜ん
07	お婆ちゃ〜ん
08	旦那さま〜
09	奥さま〜

5 **2桁の番号を押すか、または、ジョグダイヤルを回して、登録したいご指名コールを選ぶ。**

このとき、選択されたご指名コールが聞こえます。



6 **（キャッチ/登録）を押す。またはジョグボタンを押す。**

確認のために、「ピー」と鳴り、登録されたご指名コールが聞こえます。

登録したご指名コールを確認するには

手順1〜4をもう一度行ってください。手順4のあとで登録したご指名コールが再生されます。そのまま（再生/停止）を押します。

登録をやり直すには

手順1〜6をもう一度行ってください。ご指名コールは新しく登録されたものに変更されます。

登録したご指名コールを消去するには

1 手順4のあとで 登録したご指名コールの番号が出ているときに（保留/消去）を押す。

「もう一度消去を押してください」

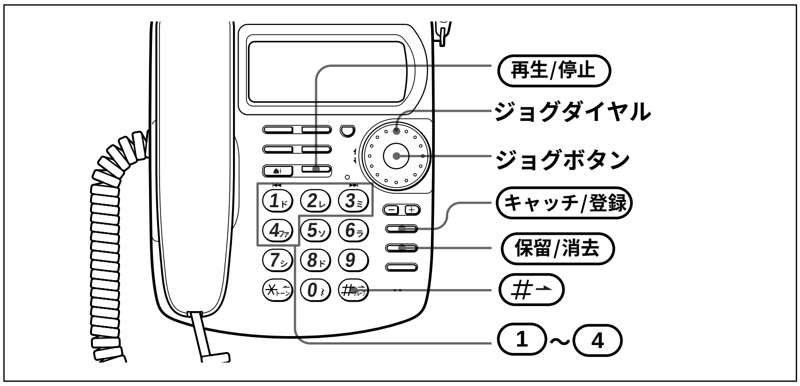


2 ボイスガイド終了後、20秒以内にもう一度 （保留/消去）を押す。

確認のために、「ピー」と鳴ります。

留守応答メッセージを使い分ける

親機の電話帳グループそれぞれに、自作の応答メッセージを録音をしておくと、留守番電話に電話がかかってきたとき、それぞれのグループに合った応答メッセージで応答します。
親機で操作します。



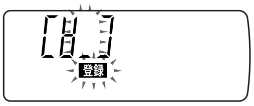
留守応答メッセージを録音するには

ご注意
- 応答メッセージは、聞き取りやすいように、ゆっくり、はっきりと話してください。
- 録音しようとするとき、エラー音が聞こえ、「C42 FULL」と表示されたときは、用件がいっぱいに録音されていて、メモリーが満杯です。不要な用件を消去してください（☞100ページ）。
本機の録音可能時間は、用件、自分で録音した応答メッセージ、呼び出し音声を含めて約10分です。

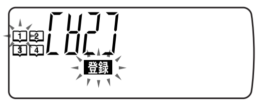
1 **受話器を置いたままで、（キャッチ/登録）を押す。**
ボイスガイドが聞こえます。



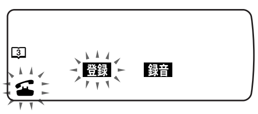
2 **（#）を押す。または、ジョグダイヤルを回して、「H」を表示させ、ジョグボタンを押す。**
ボイスガイドが聞こえます。



3 **（2）を押す。または、ジョグダイヤルを回して、「H2」を表示させ、ジョグボタンを押す。**
「応答メッセージ録音」

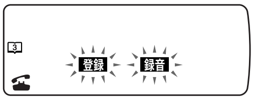


4 **登録したいグループ番号（1）～（4）を押す。または、ジョグダイヤルを回して登録したいグループ番号を点滅させ、ジョグボタンを押す。**



応答メッセージが録音済みの場合は録音された応答メッセージが再生されます。
「受話器を取って発信音のあとにお話しください。録音のあとに停止を押してください。」

5 **受話器を取り、「ピー」と鳴ったら受話器のマイクに向かって応答メッセージを話す。**



6 **(再生/停止)を押す、または受話器を戻す。**

「ピー」と鳴り、録音した応答メッセージが聞こえます。
録音内容を確認してください。

録音した応答メッセージを確認するには

手順1～4をもう一度行ってください。手順4のあとで録音した応答メッセージが再生されます。そのまま(再生/停止)を押します。

応答メッセージの録音をやり直すには

手順1～6をもう一度行ってください。応答メッセージは新しく録音されたものに変更されます。

録音した応答メッセージを消去するには

1 手順4のあとで 録音した応答メッセージを再生しているときに(保留/消去)を押す。
「もう一度消去を押してください」



2 20秒以内にもう一度 (保留/消去)を押す。
確認のために、「ピー」と鳴ります。

録音した留守応答メッセージで応答するには

98ページ「応答メッセージを選ぶ」の手順1～4を行って、手順4で(2)を選んでください。

キャッチホン・ディスプレイを使うために

「キャッチホン・ディスプレイ」サービスとは

通話中に電話がかかってきた場合、かけてきた相手（割り込み者）の電話番号を専用の電話機などの表示窓に表示するNTTの「ナンバー・ディスプレイ」のオプションサービスです。

「キャッチホン・ディスプレイ」サービスを利用するには

1 NTT**の「キャッチホン・ディスプレイ」サービス（有料）に加入してください。**
（「ナンバー・ディスプレイ」（有料）と「キャッチホン」（有料）の両方のサービスに加えて月額付加機能使用料が必要です。）

> キャッチホン・ディスプレイに関するお問い合わせは、局番なしの116番におかけください。

2 本機のキャッチホン・ディスプレイの設定をしてください。詳しくは77ページをご覧ください。

通話中に電話がかかってくると

↓

キャッチホンの呼び出し音がします。

↓

「ピッ」という割り込み音がします。

↓

約1秒間、無音の状態になります。 *

↓

あとからかけてきた相手（割り込み者）の電話番号などが表示窓に表示されます。 **

* 本機と、通話中の相手とそのどちらにも、無音の状態になります。

**大きな声で話しているときや、NTTの交換機と本機の距離が遠い場合には電話番号が表示されないことがあります。

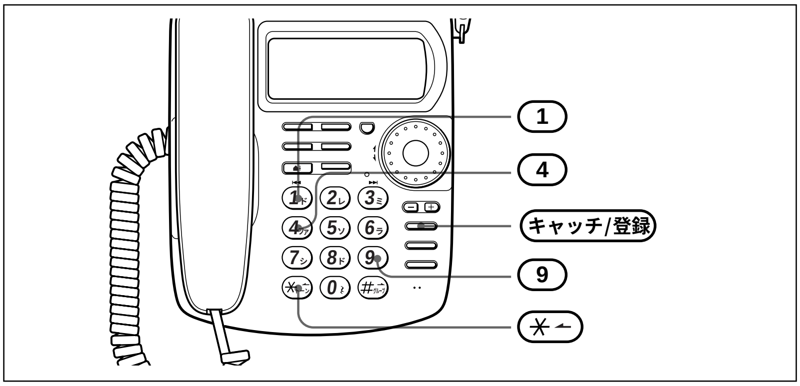
ご注意

キャッチホン・ディスプレイの設定をされると、本機が通話中の会話をキャッチホンの割り込み音と誤認して動作することがあります。その場合、約4秒間無音の状態になりますが、故障ではありません。

キャッチホン・ディスプレイを設定する

ご注意
「キャッチホン・ディスプレイ」に加入しない場合は、本機のキャッチホン・ディスプレイの設定を行わないでください。

NTTの通話中情報通知サービス「キャッチホン・ディスプレイ」を利用するためには、NTTとの契約が必要です。お近くのNTT支店、営業所または局番なしの116番にお申し込みください。
お買い上げ時には、本機はナンバー・ディスプレイのみの設定になっています。NTTの「キャッチホン・ディスプレイ」に加入されたかたは、必ず本機のキャッチホン・ディスプレイの設定を行ってください。
親機で操作します。



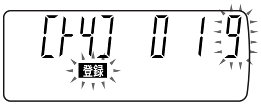
1 **受話器を置いたままで、(キャッチ/登録)を押す。**
ボイスガイドが聞こえます。

2 **(＊)またはジョグダイヤルを回して「ト」を表示させ、ジョグボタンを押す。**
ボイスガイドが聞こえます。

3 **(4)を押す。またはジョグダイヤルを回して「ト4」を表示させ、ジョグボタンを押す。**
「ナンバー・ディスプレイ選択」



4 **(9)を押す。**



5 **ジョグボタンまたは(キャッチ/登録)を押す。**
「ピー」と鳴り、確認のため「設定」と聞こえます。

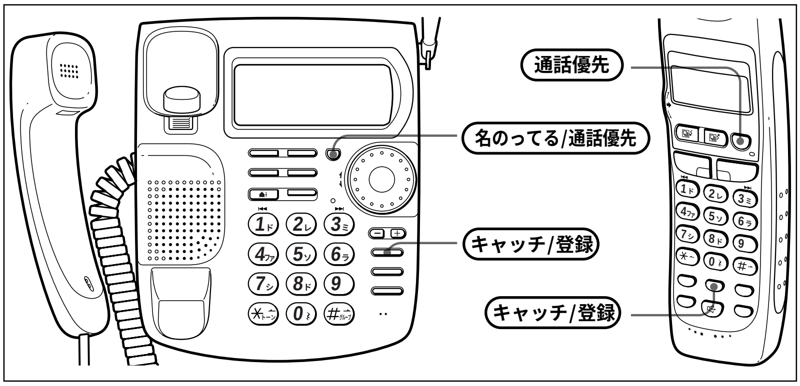
ちょっと一言
キャッチホン・ディスプレイを設定すると、同時にナンバー・ディスプレイの設定も「入」になります。

キャッチホン・ディスプレイを解除するには

上記の手順4で(1)を押します。
(キャッチ/登録)を押すと、「ピー」と鳴り、確認のため「解除」と聞こえます。
このとき、ナンバー・ディスプレイのみが「入」になります。

キャッチホン・ディスプレイを受ける（キャッチボタン、通話優先ボタン）

キャッチボタンは、通話中情報通知サービス「キャッチホン・ディスプレイ」を利用するためのボタンです。



キャッチホンの呼び出し音に続き、「ピッ」という割り込み音がしたあと、約1秒間の無音状態になります。そのあと、あとからかかってきた電話の電話番号などが表示されます。表示は「ナンバー・ディスプレイ」の表示と同じです（**☞32、33ページ****）。**

1 **(キャッチ/登録)を押す。**
あとからかかってきた電話に出られます。

2 **もとの通話に戻るには、もう1度(キャッチ/登録)を押す。**

ちょっと一言
- 通話中にキャッチホン・ディスプレイを受けて相手の番号が表示されてから、約20秒後に通話時間表示に戻ります。
- 保留中にキャッチホン・ディスプレイを受信した場合も、同じ表示が出ます。保留解除して約20秒後に通話時間表示に戻ります。

ご注意
- キャッチホン・ディスプレイで表示された相手が、おことわり登録してある電話番号でも、おことわり動作は行いません。
- キャッチホンの呼び出し音がしていないときに押すと通話が切れてしまいます。

キャッチホンの相手に自動音声で答える（通話優先機能）

ご注意
キャッチホンの呼び出し音がしていないときに押すと通話が切れてしまいます。

通話中にかかってきた電話をキャッチホン・ディスプレイで確認したあとで、通話中の相手を優先するときは、あとからかけてきた相手に自動音声で応答します。

親機 (名のってる/通話優先)を押す。　**子機** (通話優先)を押す。

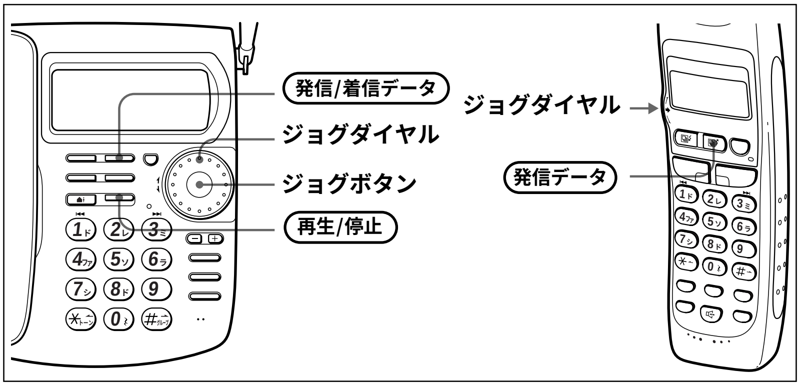
あとからかけてきたキャッチホンの相手には

「恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」とメッセージが流れ、自動的にもとの相手との通話に戻ります。

発信データ履歴から電話をかける（再ダイヤル）

つづく→

お話し中だった相手や、一度切った相手に再びかけ直すときに便利です。親機、子機それぞれ最近かけた10件の番号が記憶されます。（子機が2台以上ある場合は、それぞれの子機でかけた番号が記憶されます。）



発信データ履歴を確認する

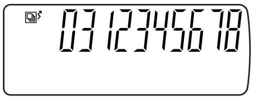
ご注意

発信データ履歴に登録できるのは20桁以内です。21桁以上の場合、最初の20桁のみ履歴に残ります。

ちょっと一言

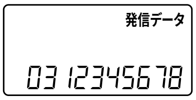
- 発信データ履歴から電話帳に登録することもできます。詳しくは、「発信データ履歴から登録する」（☞52ページ）をご覧ください。
- 同じ電話番号にかけたときは、新しい発信データ履歴のみが残ります。

1 **親機** **受話器を置いたままで、（発信/着信データ）を押す。**



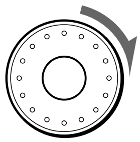
20秒たつともとの表示に戻ります。20秒たつ前にもとの表示に戻したいときは（発信/着信データ）を2回、または（再生/停止）を押してください。

子機 **電話を切った状態で、（発信データ）を押す。**

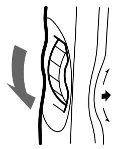


20秒たつともとの表示に戻ります。20秒たつ前にもとの表示に戻したいときはもう一度（発信データ）を押してください。

2 **ジョグダイヤルを回す。**

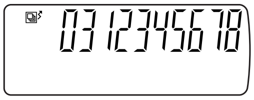


ジョグダイヤルを回す。

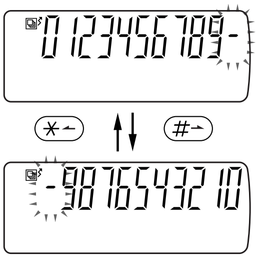


新しい発信データから順に、親機・子機それぞれ10件まで確認できます。最後までいったとき、更にジョグダイヤルを回すと、「ピッ」という音が鳴ります。

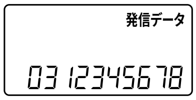
親機 発信電話番号が11桁以下の場合



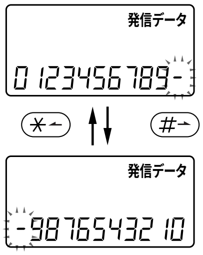
発信電話番号が12桁以上の場合



子機 発信電話番号が11桁以下の場合



発信電話番号が12桁以上の場合



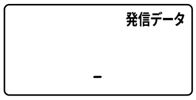
発信データがないときは

親機



5秒たつともとの表示に戻ります。5秒たつ前にもとの表示に戻したいときは（発信/着信データ）を2回、または（再生/停止）を押してください。

子機



5秒たつともとの表示に戻ります。5秒たつ前にもとの表示に戻したいときはもう一度（発信データ）を押してください。

発信データが10件を超えると

古いものから消えます。

発信データ履歴から電話をかける

ご注意

21桁以上の番号にかけた場合、最初の20桁のみが発信データ履歴に残るため、最初の20桁だけがダイヤルされます。

1 親機 **受話器を置いたままで、（発信/着信データ）を押して、ジョグダイヤルを回し、かけたい発信データを表示させる。**

検索のしかたについては、79ページをご覧ください。

子機 **通話を切った状態で、（発信データ）を押して、ジョグダイヤルを回し、かけたい発信データを表示させる。**

検索のしかたについては、79ページをご覧ください。

2 親機 **受話器を取る。**

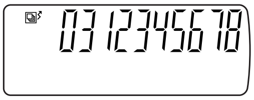
子機 **（通 話）を押す。**

発信データを消す

1件ずつ消去します。

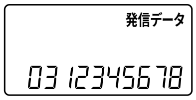
1 **親機** **受話器を置いたままで、（発信/着信データ）を押して、ジョグダイヤルを回し、消したい発信データを表示させる。**

検索のしかたについては、79ページをご覧ください。

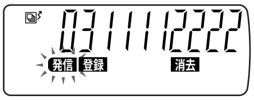


子機 **通話を切った状態で、（発信データ）を押して、ジョグダイヤルを回し、消したい発信データを表示させる。**

検索のしかたについては、79ページをご覧ください。



2 **ジョグボタンを押す。**



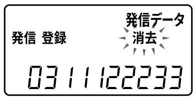
ジョグダイヤルを押す。



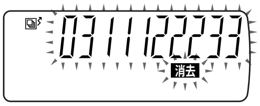
3 **ジョグダイヤルを回して「消去」を点滅させる。**



ジョグダイヤルを回して「消去」を点滅させる。



4 **ジョグボタンを押して電話番号を点滅させる。**



ジョグダイヤルを押して電話番号を点滅させる。



5 **もう一度ジョグボタンを押す。**

確認のために、「ピー」と鳴ります。

もう一度ジョグダイヤルを押す。

確認のために、「ピー」と鳴ります。

ちょっと一言

- 手順2～5の代わりに（保留/消去）を2回押して消去することもできます。
- 発信データを消去すると、表示は次の発信データになります。続けて消去するときは、手順2～5を行ってください。すべての発信データを消去すると「ー」という表示が出ます。

キャッチホンを受ける（キャッチボタン、通話優先ボタン）

キャッチボタンは、NTTの通話中着信サービス「キャッチホン」を利用するためのボタンです。**「キャッチホン」を利用するためには、NTTとの契約が必要です。お近くのNTT支店、営業所または局番なしの116番にお申し込みください。**



1　キャッチホンの呼び出し音がしたら、（キャッチ/登録）を押す。
あとからかかってきた電話に出られます。

2　もとの通話に戻るには、もう1度（キャッチ/登録）を押す。

ご注意
キャッチホンの呼び出し音がしていないときに（キャッチ/登録）、（名のってる/通話優先）、（通話優先）を押すと通話が切れてしまいます。

キャッチホンが入っても通話を続けたいときは

通話中にキャッチホンの呼び出し音がしたら：
親機 （名のってる/通話優先）を押す。　子機 （通話優先）を押す。

あとからかけてきたキャッチホンの相手には

「恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」とメッセージが流れ、自動的にもとの相手との通話に戻ります。

便利な使いかた

プッシュホンサービスを利用する(トーンボタン)

ダイヤル回線（☞17ページ）でも、預金残高照会や航空券の予約などのプッシュホンサービスをご利用になれます。
プッシュ回線の場合はこの操作は必要ありません。



❶ ご注意
(＊ -)(トーン/通話料金）を使っても、サービスを受けられない場合もあります。詳しくは各サービス機関にお問い合わせください。

ちょっと一言
(＊ -)(トーン/通話料金）は一度押すと通話を切るまで働きます。ダイヤルボタンを押すたびに押す必要はありません。

1 **サービス機関に電話をかける。**

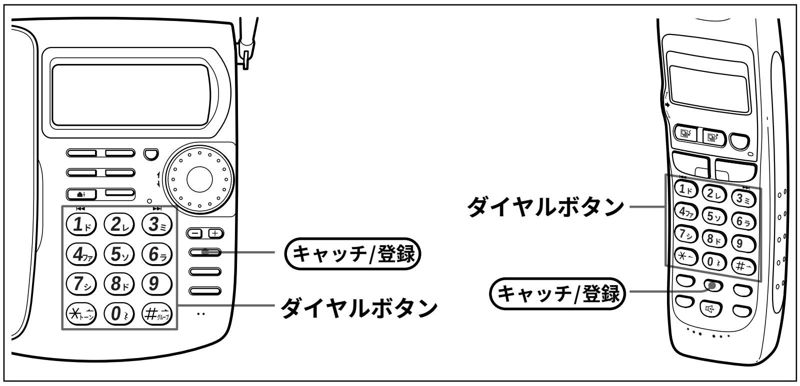
2 **ダイヤル回線の場合：** **電話がつながったら(＊ -)(トーン/通話料金）を押す。**
プッシュホン信号に切り換わります。
プッシュ回線の場合： **この操作は必要ありません。**

3 **相手の指示に従ってダイヤルボタンを押す。**

便利な使いかた

着信音や保留音を自作のメロディーに変える

電話がかかってきたときの着信音や保留音を自作のメロディーに変えることができます。親機では着信メロディーと保留メロディーを1曲ずつ、子機では着信メロディーを1曲登録できます。親機で登録した保留メロディーは子機でも使えます。



着信メロディーまたは保留メロディーを登録する

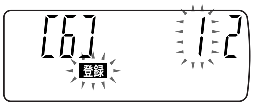
1 **親機** **受話器を置いたままで、(キャッチ/登録)を押す。**

ボイスガイドが聞こえます。

子機 **通話を切った状態で、(キャッチ/登録)を押す。**

2 **(6)を押す。またはジョグダイヤルを回して「6」を表示させ、ジョグボタンを押す。**

「1 着信メロディー登録、2 保留メロディー登録」



(6)を押す。またはジョグダイヤルを回して「6」を表示させ、ジョグダイヤルを押す。

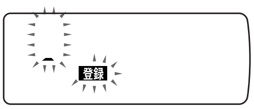
すでに着信メロディーが登録されている場合は再生されます。



3 **(親機のみ)(1)(着信メロディー)または(2)(保留メロディー)を押す。またはジョグダイヤルを回して選ぶ。**

「着信メロディー登録」または「保留メロディー登録」

すでにメロディーが登録されている場合は再生されます。



ご注意

自作の保留メロディーが登録されているときは、常にそのメロディーが使用されます。あらかじめ登録されているメロディーに戻すには、手順3で自作の保留メロディーを表示させて、(保留/消去)を何度か押して、すべて消去してから、(キャッチ/登録)を押してください。

音符の対応表

音符	ダイヤルボタン
ド	(1)
レ	(2)
ミ	(3)
ファ	(4)
ソ	(5)
ラ	(6)
シ	(7)
ド	(8)
𝄽(休符)	(0)

- (＊)か(#)を押すと、入力済みのメロディーを確認しながら音符を挿入したい場所に移動できます。
- 間違ったときは、(保留/消去)を押して入力し直します。
- 登録中にメロディーを通して聞くには(再生/停止)（子機では(再生)）を押します。

4 **左記の「音符の対応表」を見ながら、ダイヤルボタンを押してメロディーを作成する。**

●ボタンを押すと対応する音符が聞こえます。

●1音符の長さは約0.2秒です。60個まで入力できます。



左記の「音符の対応表」を見ながら、ダイヤルボタンを押してメロディーを作成する。

●ボタンを押すと対応する音符が聞こえます。

●1音符の長さは約0.2秒です。60個まで入力できます。



5 **ジョグボタンまたは(キャッチ/登録)を押す。**

「ピー」と鳴り、確認のため登録されたメロディーが再生されます。

ジョグダイヤルまたは(キャッチ/登録)を押す。

「ピー」と鳴り、確認のため登録されたメロディーが再生されます。

着信音を選ぶ

ご注意

- ナンバーコール、非通知理由音声呼び出し、呼び出し音声による着信は、着信メロディーに優先します。着信メロディーを優先させるには、(名のってる/通話優先)を押して、音声呼び出し機能を解除してください（☞67ページ）。
- 設定が1（自作着信メロディー）、または2（電話帳一致のみ自作着信メロディー）になっていて、自作着信メロディーが登録されていないと通常着信音になります。

着信メロディー

手順3で希望の着信メロディーを選びます。

- (0) 通常着信音（トゥルルルルまたはピロピラピロピラ）（☞39ページ）
- (1) いつでも自作着信メロディー
- (2) 電話帳に登録された（☞48ページ）相手にだけ自作着信メロディー（ナンバー・ディスプレイをお使いの場合）

ちょっと一言

手順3で「0」に設定してあっても、着信メロディーを登録する（☞84ページ）と、自動的に「1」に変わります。

通常の着信音か、自作の着信メロディーかを選ぶことができます（着信音の内容については左記「着信メロディー」をご覧ください）。

お買い上げ時は通常の着信音を使用し、自作の着信メロディーを登録すると、その着信メロディーに変わるようになっています。

1 **親機 受話器を置いたままで、(キャッチ/登録)を押す。**

ボイスガイドが聞こえます。

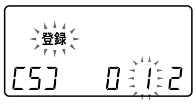
子機 通話を切った状態で、(キャッチ/登録)を押す。

2 **(5)を押す。またはジョグダイヤルを回して「5」を表示させ、ジョグボタンを押す。**

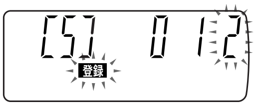
「着信メロディー設定」



(5)を押す。またはジョグダイヤルを回して「5」を表示させ、ジョグダイヤルを押す。



3 **(0)〜(2)を押して希望の着信メロディー（☞左記）を選ぶ。またはジョグダイヤルで選ぶ。**



(0)〜(2)を押して希望の着信メロディー（☞左記）を選ぶ。またはジョグダイヤルで選ぶ。



4 **ジョグボタンまたは(キャッチ/登録)を押す。**

確認のために、「ピー」と鳴ります。

ジョグダイヤルまたは(キャッチ/登録)を押す。

確認のために、「ピー」と鳴ります。

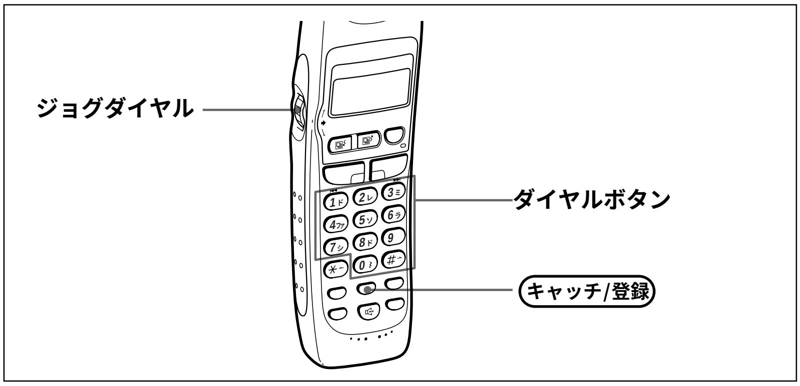
指定した時刻に子機のベルを鳴らす（モーニングコール機能）

ちょっと一言

- モーニングコールのベル音・音声は、ベル音量を「切」にしていても聞こえます。
- 子機が2台以上あるときは、それぞれの子機で設定することができます。

時刻を指定し、その時刻になると、約2分間、子機にベル音を鳴らすことができるので、子機を目覚まし時計やタイマーの代わりに使うことができます。また、ベル音が鳴っている間に子機で何らかの操作を行うと、「おはようございます、午前（または午後）XX時XX分です」と3回聞こえます。

必ず日付•時刻は合わせておいてください（☞15ページ）。
鳴らしたい子機で操作します。

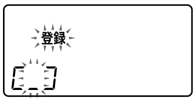


モーニングコールを設定する

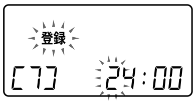
ご注意

指定時刻になったときに、その子機が電話中だったり、他の操作中の場合には、ベル音は鳴りません。

1 **通話を切った状態で、（キャッチ/登録）を押す。**



2 **（7）または（#）を押す。または、ジョグダイヤルを回して、「7」を表示させ、ジョグダイヤルを押す。**



ご注意

「C53」が表示されたときは、日付・時刻を設定してからやり直してください（☞15ページ）。

ちょっと一言

手順3で時刻を間違えて入力したときは、ジョグダイヤルで点滅しているところを動かし、新しい時刻を上書きすることができます。

3 **時刻を押す。**

24時間制です。ひと桁の時刻を設定するときは前に「0」を付けて4桁を入力します。

例：午前7時30分は「0」「7」「3」「0」と押す。



4 **（キャッチ/登録）またはジョグダイヤルを押す。**

「CALL」が表示され、確認のために、「ピー」と鳴ります。

指定した時刻になると

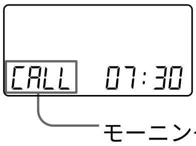
ご注意
- ベル音が鳴っているときやモーニングコールのボイスガイドを聞いている最中に外から電話がかかってくるとモーニングコール機能が中止され、通常の着信ベル音が鳴ります。
- 親機の使用中には、右記の「おはようございます、･･」のボイスガイドは聞こえません。

子機でベル音が鳴り、1分たつとベル音が大きくなります。約2分間ベル音が鳴りますが、鳴っている途中で止めるには、子機のボタンのどれかを押すか、または充電台から持ち上げます。
「おはようございます、午前（または午後）XX時XX分です」が3回聞こえます。
指定した時刻になると予約は解除になるので、次の日も使うのであれば、下記の「モーニングコールを予約する」の手順を行ってください。

モーニングコールの時刻を確認するには

ちょっと一言
(#)(モーニング）を押したとき、「24:00」が点滅した場合は、86ページの手順でモーニングコールの時刻を設定してください。

通話を切った状態で、(#)(モーニング）を押す。
設定時刻が表示されます。



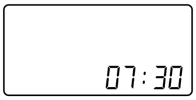
モーニングコールが予約されているときはこの表示が出ます。

20秒たつと、エラー音が鳴りもとの表示に戻ります。20秒たつ前にもとの表示に戻したいときは(切)を押してください。

モーニングコールを予約する

ご注意
エラー音が聞こえ、「CALL」が表示されないときは、親機や別の子機の通話を終えてから操作してください。

1 **通話を切った状態で、(#)(モーニング）を押す。**



2 **(1)を押す。**
「CALL」が表示され、確認のために、「ピー」と鳴ります。

モーニングコール予約を解除するには

モーニングコールは、設定した時刻になると自動的に解除されますが、その前に解除するには以下の操作をします。

モーニングコールが予約されている子機で操作します。

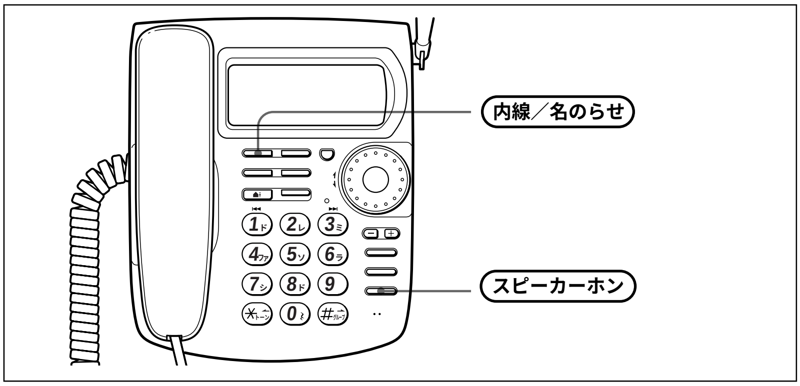
1 **通話を切った状態で、(#)(モーニング）を押す。**

2 **(0)を押す。**
「CALL」の表示が消え、確認のために、「ピー」と鳴ります。

電話に出ずに相手の名前をたずねる（お名前名のらせ機能）

電話がかかってきたときに、電話に出ずに、相手に「お名前をおっしゃってください」のメッセージを出して、相手が誰かを言ってもらうことができます。

親機で操作します。



かかってきた電話の相手の名前をたずねる

ちょっと一言
相手の名前が聞き取れなかったときなどに、再び名のらせメッセージを相手の電話に流すには、「電話を切ります」のメッセージが流れ終わるまでにもう一度（内線／名のらせ）を押します。

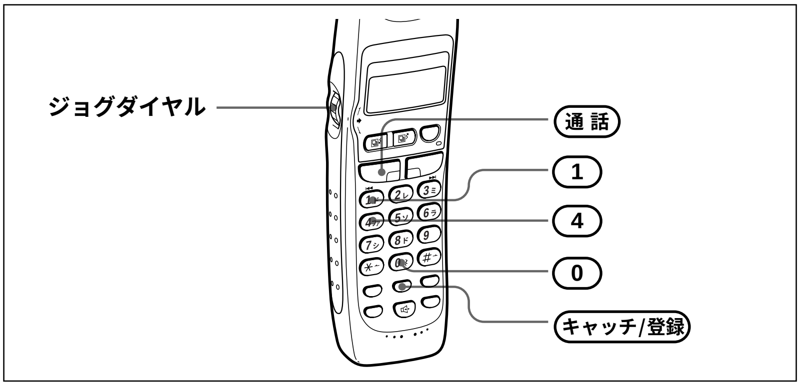
1 **ベルが鳴っている間に、（内線／名のらせ）を押す。**
「お名前をおっしゃってください」という名のらせメッセージが、相手の電話に流れます。

2 **電話を受ける場合：受話器を取る。または、（スピーカーホン）を押す。**
通常の通話ができます。

電話を受けない場合：
約30秒後に「電話を切ります」というメッセージが流れて、相手側の電話は自動的に切れます。

クイック通話の設定を変える

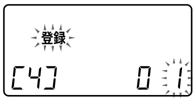
子機は(通 話)を押さなくても充電台から子機を持ち上げるだけで通話ができるようになっています（クイック通話「設定」）。クイック通話の設定を解除することもできます。



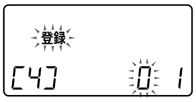
1 **通話を切った状態で、(キャッチ/登録)を押す。**



2 **(通 話)または(4)を押す。または、ジョグダイヤルを回して「4」を点滅させ、ジョグダイヤルを押す。**



3 **(0)（解除）を押す。または、ジョグダイヤルを回し、「0」を点滅させる。**



4 **(キャッチ/登録)またはジョグダイヤルを押す。**

確認のために、「ピー」と鳴ります。

クイック通話機能に戻すには

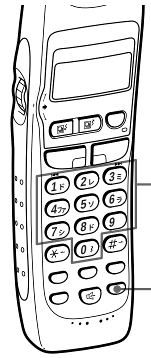
上記の手順3で(1)（設定）を押します。

(キャッチ/登録)を押すと、「ピー」と鳴ります。

指定した子機を先に鳴らす（優先着信）

ご注意
優先着信にしているときは、トールセーバー機能（☞102ページ）は使えません。

子機のベルを親機よりも先に約4回鳴らすことができます（優先着信）。友達からの電話を家族よりも先に取りたいときなどに便利です。子機が2台以上ある場合は、いずれかひとつの子機で設定できます。
優先着信は、設定してから1〜9時間（指定した時間）後に自動的に解除されます。
先に鳴らしたい子機で操作します。



ご注意
- 他の子機が優先着信または子機プライベート着信（☞70ページ）になっているときは設定できません。
- すでに優先着信に設定されている子機でこの操作をしたり、子機プライベート着信に設定すると、設定内容が更新されます。
- 他の子機で設定済みのときは、「C52」と表示されます。
- 子機のベル音量を「切」にしていると、ベルは鳴りません。

ちょっと一言
- 留守番状態にしているときは、親機のベルが鳴り始めてから設定されているベルの回数（☞99ページ）のあとで応答メッセージが流れます。
- 電話をかけてきた相手に聞こえるベルの回数は、子機または親機で鳴る回数より1〜2回多く聞こえます。

1 **通話を切った状態で、(優 先)を押す。**

2 **(1)〜(9)で 優先着信が自動的に解除される時間（1桁）を押す。**
確認のために、「ピー」と鳴ります。
電話がかかってくると、その子機のベルが他より先に鳴ります。

優先着信をやめるには

優先着信は、設定した時間後に自動的に解除されますが、その前に解除するには以下の操作をしてください。
優先着信が設定されている子機で操作します。

1 **通話を切った状態で、(優 先)を押す。**

2 **(0)を押す。**
確認のために、「ピー」と鳴ります。
優先着信が解除されます。

子機が2台以上ある場合

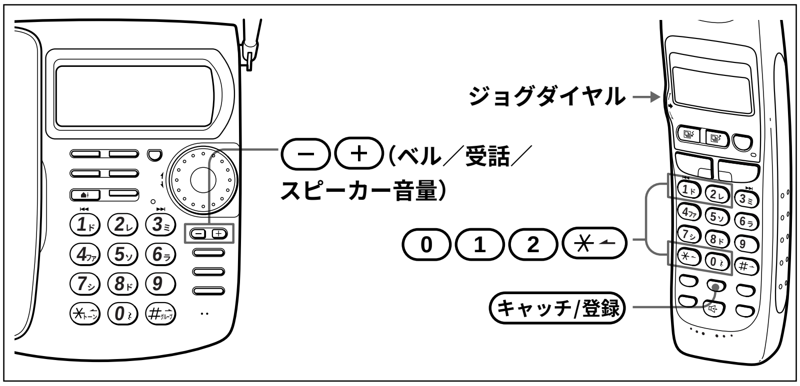
優先着信を設定した子機で優先着信中（ベル4〜5回）に電話に出ると、他の子機には着信データ履歴は残りません。（親機には残ります。）

便利な使いかた

ベル音量を調節する

親機 ベル音量大、ベル音量中、ベル音量小、ベル音「切」の4つから選びます。

子機 ベル音量大、ベル音量小、ベル音「切」の３つから選びます。



親機のベル音量

受話器を置いたままで、＋（大）または−（小）（ベル／受話／スピーカー音量）ボタンを押す。

大←→中←→小と切り換わり、設定した音量でベルが鳴ります。ベル音を「切」にするには、ベル／受話／スピーカー音量ボタンの −を「ベルOFFです」と聞こえるまで押し続けます（約2秒間）。

おやすみ応答（☞92ページ）になっているときは、続けて「おやすみ応答設定」と聞こえます。

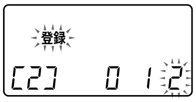
ちょっと一言



- 「切」ではベルが鳴りませんが、この表示が点滅して、電話がかかってきたことが分かります。
- お買い上げ時は、「大」になっています。

子機のベル音量

1 **通話を切った状態で（キャッチ/登録）（＊）と押す。**



2 **（0）（切）（1）（小）（2）（大）のうちひとつを押す。または、ジョグダイヤルを回し「0」か「1」か「2」を点滅させる。**

選んだ音量でベルが鳴ります。

3 **（キャッチ/登録）またはジョグダイヤルを押す。**

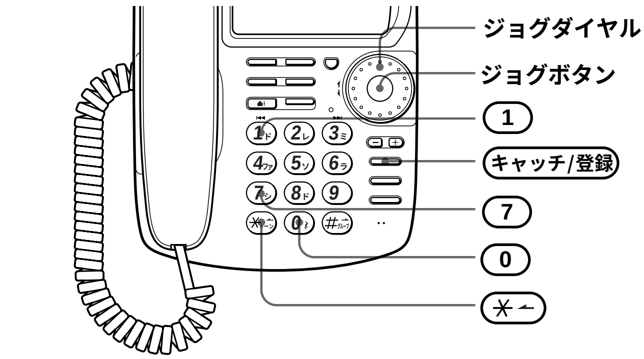
確認のために、「ピー」と鳴ります。

ちょっと一言

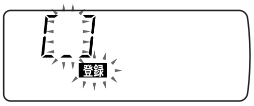
- 「切」ではベルが鳴りませんが、着信／充電ランプなどの点滅で、電話がかかってきたことが分かります。
- お買い上げ時は、「大」になっています。
- 手順1で（＊）の代わりに（2）を押すこともできます。
- 内線通話のベル音量は「切」になっていても「小」で鳴ります。
- ベル音が「切」になっていても、モーニングコールのベル音・音声は聞こえます。

留守番電話の応答を聞こえなくする（おやすみ応答）

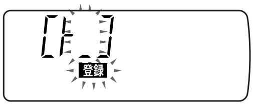
おやすみ応答を設定すると、親機のベル音も「切」になり、留守設定中に電話がかかってきたとき、応答メッセージや相手の声が聞こえなくなります。
親機で操作します。



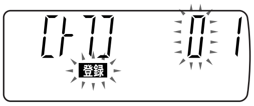
1 **受話器を置いたままで、(キャッチ/登録)を押す。**
ボイスガイドが聞こえます。



2 **(＊←)を押す。または、ジョグダイヤルを回して、「ｰ」を表示させ、ジョグダイヤルを押す。**
ボイスガイドが聞こえます。



3 **(7)を押す。または、ジョグダイヤルを回して、「ｰ7」を表示させ、ジョグダイヤルを押す。**
「おやすみ応答設定」



4 **(1)を押す。または、ジョグダイヤルを回して、「1」を点滅させる。**



5 **(キャッチ/登録)またはジョグボタンを押す。**
「ピー」と鳴り、確認のため「おやすみ応答、設定。ベルOFFです」と聞こえます。

おやすみ応答を解除に戻すには

91ページのように、(＋)(大)を押して、ベル音量を小、中または大にします。「おやすみ応答、解除」

ちょっと一言
- お買い上げ時はおやすみ応答は解除になっています。
- おやすみ応答設定時には



この表示の点滅で、電話がかかってきたことが分かります。

ちょっと一言
ベル音「切」のまま、おやすみ応答のみを解除するには手順4で(0)(解除) を選んで(キャッチ/登録)を押します。

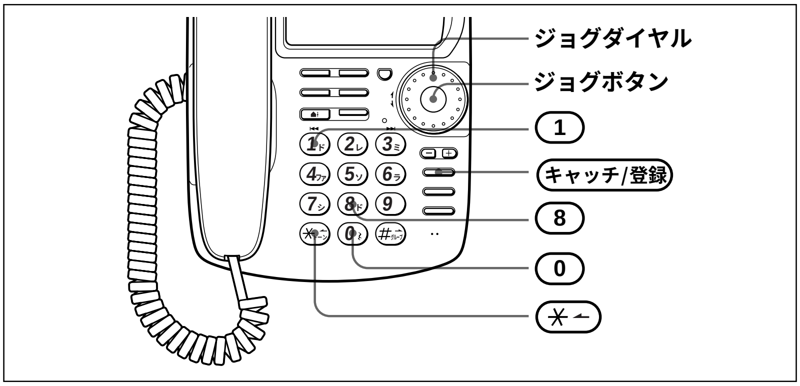
ちょっと一言
右記の方法で、ベル音量を小、中または大にした場合、次にベル音「切」にすると、自動的におやすみ応答になります。

電話の自動着信をやめる（自動応答解除）

> **ご注意**
> - 自動応答を解除すると、留守電のリモコン操作ができなくなります。
> - 自動応答を解除すると、α-ALPHA5Liteのオンライン通信ができなくなります。

ベルが鳴っても電話に出ないと、15回ベルが鳴ったときに、「ただ今留守にしています。のちほどおかけ直しください。」のメッセージが流れます。この自動応答機能を解除することができます。

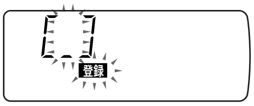
親機で操作します。



> **ちょっと一言**
> お買い上げ時は自動応答機能は設定になっています。

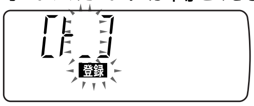
1 **受話器を置いたままで、（キャッチ/登録）を押す。**

ボイスガイドが聞こえます。



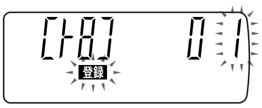
2 **（＊）を押す。または、ジョグダイヤルを回して、「ト」を表示させ、ジョグダイヤルを押す。**

ボイスガイドが聞こえます。

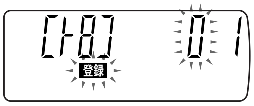


3 **（8）を押す。または、ジョグダイヤルを回して、「ト8」を表示させ、ジョグダイヤルを押す。**

「自動応答設定」



4 **（0）を押す。または、ジョグダイヤルを回して、「0」を点滅させる。**



5 **（キャッチ/登録）またはジョグボタンを押す。**

「ピー」と鳴り、確認のため、「解除」と聞こえます。

自動応答を設定に戻すには

上記の手順4で（1）（設定）を押します。

（キャッチ/登録）を押すと、「ピー」と鳴り、確認のため「設定」と聞こえます。

留守番電話の基本の使いかた

外出前に

必ず日付•時刻は合わせておいてください（☞15ページ）。
親機で操作します。



(留守)を押して点灯させる。

> **ご注意**
> - (留守)を押したときにエラー音が聞こえ、「C42 FULL」と表示されたときは、メモリーが満杯です。不要な用件を消去(☞100ページ) してから、もう一度(留守)を押してください。
> - 相手が約7秒以上黙っていると電話は切れます。
> - 留守中に用件がいっぱいになったときは、応答専用メッセージ「ただ今留守にしています。のちほどおかけ直しください。」に切り換わり、用件は録音されません。
> 帰宅してから不要な用件を消去するか(☞100ページ)、外出先からリモコン操作で用件を聞いたあと、消去してください(☞103ページ)。

留守中に電話がかかると

かかってきた電話に誰も出ないと、女性の声で「ただ今留守にしています。発信音のあとにお話しください」が流れ、相手の話した用件を録音します。

用件の録音時間は

合計約10分（最大30件）まで録音できます。用件がいっぱいになると、それ以上は録音できません。自分で応答メッセージを録音した場合や、呼び出し音声を録音した場合は、用件を録音できる時間が短くなります。

自分で応答メッセージを録音するには

97ページをご覧ください。

相手を確かめてから電話に出るには

応答メッセージと相手の声は親機のスピーカーから聞こえます。この間に親機または子機で電話に出られます。電話に出ると録音は止まります。

帰宅してから

親機で操作します。



1 **新しい用件があるか確かめる。**

2 **留守番状態のまま用件を聞くには**

(再生/停止)を押す。

「用件はXX件です」

↓

用件の再生が始まる。1件終わるごとに、

「X月X日、X曜日、午前（午後）XX時XX分」（タイムスタンプ機能）

↓

すべての用件を再生し終わると、再生を停止します。

「再生終了」

↓

(留守)ボタンのランプが点灯に変わります。

留守番状態を解除して用件を聞くには(留 守)を押す。

(留守)ボタンのランプが消え、

「用件はXX件です」

↓

用件の再生が始まる。1件終わるごとに、

「X月X日、X曜日、午前（午後）XX時XX分」（タイムスタンプ機能）

↓

すべての用件を再生し終わると、再生を停止します。（着信データ履歴から用件を再生するには（ダイレクト用件再生）☞38ページ）

ご注意

- 用件の再生中に電話がかかってくると、再生は止まります。
- 外出先からリモコン操作で用件を聞いた場合、留守ボタンは点灯に変わりません。

ちょっと一言

- 用件がないときに(再生/停止)を押すと「用件はありません」と聞こえます。
- 用件がないときに(留守)を押して留守解除すると「用件はありません」と聞こえます。

用件の再生を途中でやめるには

(再生/停止)を押します。

用件をもう一度聞くには

(再生/停止)を押すと1件目からもう一度聞くことができます。

用件を消すには

(保留/消去)を押します。
（詳しくは100ページをご覧ください。）
すべての用件を消すと表示窓の「用件あり」が消えます。

今聞いている用件をもう一度聞くには（リピート）

(1)（⏮）を押します。
再生が始まってから2秒以内にボタンを押したときは1つ前の用件に戻ります。

次の用件を聞くには（スキップ）

(3)（⏭）を押します。
次の用件の最初から再生します。

用件再生の音量は

(+)（大）または(−)（小）（ベル／受話／スピーカー音量）ボタンで調節します（☞29ページ）。

子機で用件を再生するには

(再生)を押す。

充電台にあるときは、背面のスピーカーから用件が聞こえます。
（そのあと子機を充電台から持ち上げても、用件はスピーカーから聞こえます。）
充電台にないときは、受話口から用件が聞こえます。

> **ご注意**
> 子機で用件を再生し終わっても(留守)ボタンのランプは点滅のままです。

用件の再生を途中でやめるには

(切)を押します。

用件をもう一度聞くには

(再生)を押すと1件目からもう一度聞くことができます。

今聞いている用件をもう一度聞くには（リピート）

(1)（⏮）を押します。
再生が始まってから2秒以内にボタンを押したときは1つ前の用件に戻ります。

次の用件を聞くには（スキップ）

(3)（⏭）を押します。
次の用件の最初から再生します。

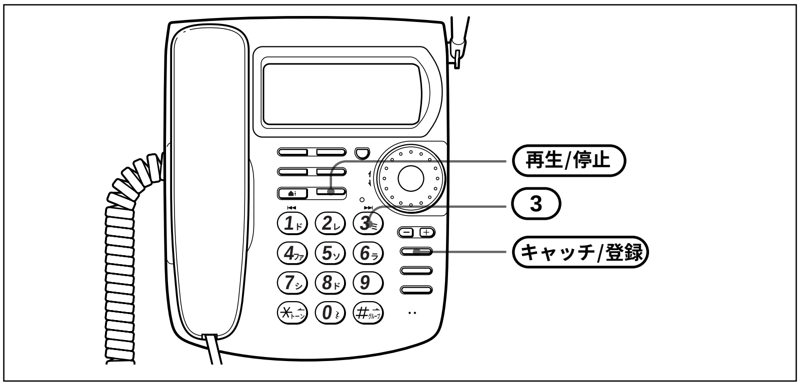
用件再生の音量は

子機が充電台にあるときは、(スピーカー)（スピーカーホン音量）ボタンで調節します（☞30ページ）。
子機が充電台にないときは、(通話)（音量）ボタンで調節します（☞21ページ）。

自分で応答メッセージを録音する

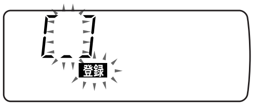
ちょっと一言
自分で応答メッセージを録音すると、留守番電話の応答はそのメッセージに変わります。あらかじめ録音されている応答メッセージに戻すには98ページをご覧ください。

あらかじめ録音されている応答メッセージ(☞94ページ) を使いたくないときは、自分で応答メッセージを録音できます。
親機で操作します。

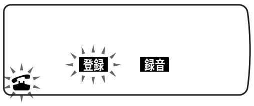


ご注意
- 応答メッセージは、聞き取りやすいように、ゆっくり、はっきりと話してください。
- 録音しようとするとき、エラー音が聞こえ、「C42 FULL」と表示されたときは、用件がいっぱいに録音されていて、メモリーが満杯です。不要な用件を消去してください(☞100ページ)。
  本機の録音可能時間は、用件、自分で録音した応答メッセージ、呼び出し音声を含めて約10分です。

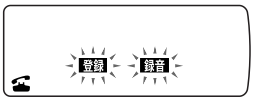
1 **受話器を置いたままで、(キャッチ/登録)を押す。**
ボイスガイドが聞こえます。



2 **(3)を押す。または、ジョグダイヤルを回して「3」を表示させ、ジョグボタンを押す。**
「応答メッセージ録音。受話器を取って発信音のあとにお話しください。録音のあとに停止を押してください。」



3 **受話器を取り、「ピー」と鳴ったら受話器に向かって応答メッセージを話す。**



4 **(再生/停止)を押す。または受話器を戻す。**
「ピー」と鳴り、録音した応答メッセージが聞こえます。
録音内容を確認してください。

録音した応答メッセージを聞くには

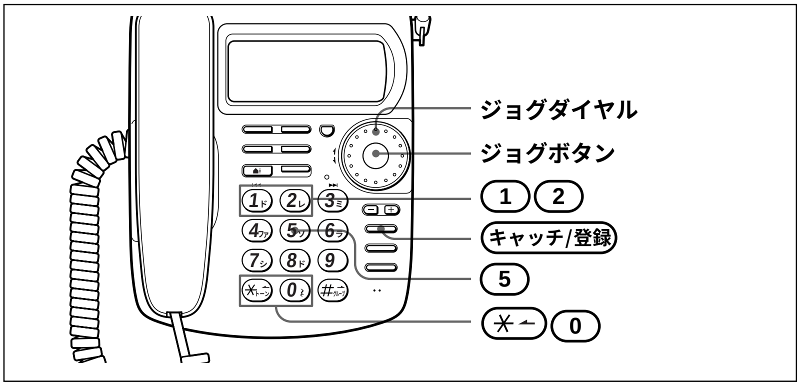
(留守) を押して、留守番状態に設定します。

録音した応答メッセージを消去するには

1 応答メッセージを再生中に(保留/消去)を押します。
「もう一度消去を押してください」
2 もう一度(保留/消去)を押します。「ピー」と鳴ります。

応答メッセージを選ぶ

応答メッセージを選ぶことができます（メッセージの内容については手順4をご覧ください）。
お買い上げ時はあらかじめ録音されたメッセージ（レディメイドメッセージ）で応答し、応答メッセージを録音すると、そのメッセージに変わるようになっています。
親機で操作します。



ご注意

- 自作の応答メッセージがない場合は、あらかじめ録音されている応答メッセージで応答します。
- ナンバー・ディスプレイが「切」になっているとき（☞34ページ）は「2」を選んだ場合、あらかじめ録音されたメッセージのみが使われます。

ちょっと一言

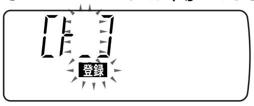
手順4で「0」に設定してあっても、応答メッセージを録音（☞97ページ）すると、自動的に「1」に変わります。

1 **受話器を置いたままで、キャッチ/登録を押す。**

ボイスガイドが聞こえます。

2 **＊を押す。またはジョグダイヤルを回して「ﾄ」を表示させ、ジョグボタンを押す。**

ボイスガイドが聞こえます。



3 **5を押す。または、ジョグダイヤルを回して「ﾄ5」を表示させ、ジョグボタンを押す。**

「応答メッセージ選択」



4 **0～2を押して希望の応答メッセージを選ぶ。または、ジョグダイヤルで選ぶ。**



0　あらかじめ録音されている応答メッセージ（☞94ページ）
1　自分で録音した応答メッセージ*（☞97ページ）
2　電話帳に登録された（☞48ページ）電話にだけ自作の応答メッセージ*で応答する（ナンバー・ディスプレイ（☞32ページ）をお使いの場合）（自動切り換え応答）

* グループ応答メッセージが録音されている（☞74ページ）場合はグループ応答メッセージが優先します。

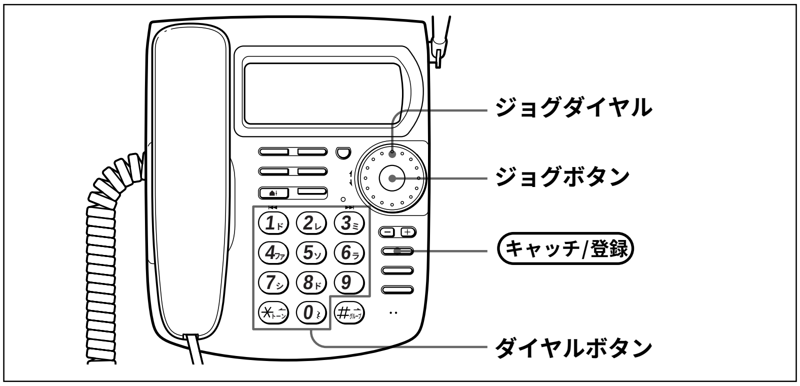
5 **キャッチ/登録またはジョグボタンを押す。**

確認のため、「ピー」と鳴ります。

ベルの鳴る回数を変える

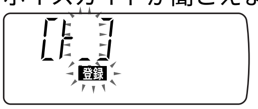
ご注意
このページで説明している「ベルの鳴る回数」とは、かけてきた相手に聞こえるベル音の回数のことです。本機側で聞こえる回数とは異なる場合があります。ご注意ください。

留守番電話として使っているときに応答メッセージが流れるまでに鳴るベルの回数を選ぶことができます。お買い上げ時は、用件がないときは約5回、再生されていない用件があるときは約2回鳴ってからつながるようになっています（トールセーバー機能、☞102ページ）。
ベルの回数は、2回〜9回の間で選ぶことができます。ベルの鳴る回数を変えると、用件の有無に関係なく、選んだ回数だけベルが鳴ります。トールセーバー機能は使えません。
親機で操作します。



1 **受話器を置いたままで、（キャッチ/登録）を押す。**
ボイスガイドが聞こえます。

2 **（＊トーン）を押す。**
ボイスガイドが聞こえます。



3 **（1）を押す。または、ジョグダイヤルを回して「ト1」を表示させ、ジョグボタンを押す。**
「ベル回数」



4 **（2）〜（9）を押して回数を選ぶ。または、ジョグダイヤルを回して回数を点滅させる。**



5 **（キャッチ/登録）またはジョグボタンを押す。**
「ピー」と鳴り、選んだ回数「ベル回数（2〜9の番号）」が聞こえます。

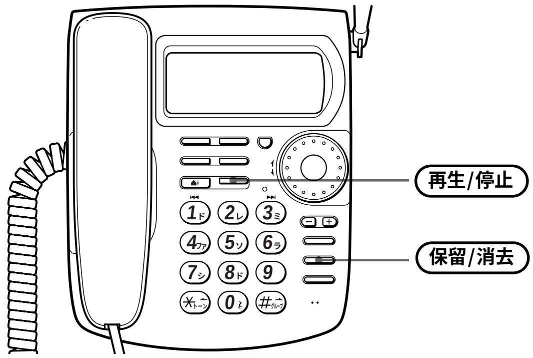
トールセーバー機能に戻すには

上記の手順4で（0）を押す。
（キャッチ/登録）を押すと、「ピー」と鳴り、「トールセーバー」が聞こえます。

用件を消す

ご注意
- 用件は、親機またはリモコン操作で、一度は再生しないと消せません。
- 子機では用件を消すことはできません。

録音した用件は、以下の操作またはリモコン操作（☞103ページ）で消去するまで残っています。用件がいっぱいになってしまうと（約10分）新しい用件を録音できなくなるので、不要な用件は消してください。一度にすべての用件を消すことも、不要な用件だけを消すこともできます。
親機で操作します。



すべての用件を一度に消す

ご注意
(保留/消去)を押したときに、「ピピピピピ」と鳴って「C61」が表示されたら、すべての用件を再生してから操作をやり直してください。

1 **すべての用件を再生する(☞95ページ)。**
「再生終了」

2 **受話器を置いたままで、(保留/消去)を押す。**
「もう一度消去を押してください」

3 **(保留/消去)を押す。**
表示窓の「用件あり」が消え、確認のため、「ピー」と鳴ります。

用件を1件ずつ再生しながら消す

1 **消したい用件を再生する(☞95ページ)。**

2 **再生している間に、(保留/消去)を押す。**
「もう一度消去を押してください」

3 **(保留/消去)を押す。**
確認のため、「ピー」と鳴り、次の用件の再生が始まります。
再生を止めるには、(再生/停止)を押します。

留守番電話の使いかた

外出先で用件を聞く（リモコン操作）

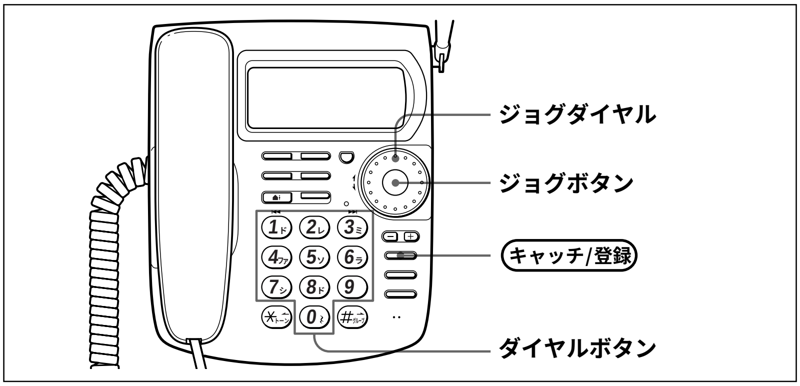
つづく→

外出先から自宅に電話をかけて、留守中に録音された用件を聞くことができます。外出時には、103ページのリモコンカードを持っていくと便利です。

親機で操作します。

暗証番号を登録する

まず、暗証番号を登録します。この番号は「用件を外出先に転送する」（☞105ページ）でも共通に使います。



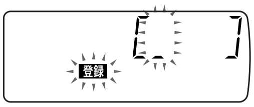
ご注意

- 暗証番号は確認することができません。忘れてしまったら、登録し直してください。
- 暗証番号を消すことはできません。

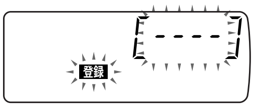
1 **受話器を置いたままで、（キャッチ/登録）を押す。**
ボイスガイドが聞こえます。

2 **（7）を押す。または、ジョグダイヤルを回して「7」を表示させ、ジョグボタンを押す。**
「暗証番号登録」

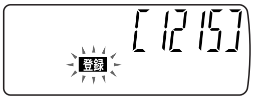
初めて設定する場合



設定済みの場合



3 **ダイヤルボタンで4桁の数字を押す。**
例：1215を登録する場合



4 **（キャッチ/登録）、またはジョグボタンを押す。**
「ピー」と鳴ります。忘れないように、103ページのリモコンカードにメモしておいてください。

暗証番号を変えるには

上記の手順1〜4を行う。

外出先で用件を聞く

ご注意

- ダイヤル回線の場合、手順2の前にトーンボタンなどでプッシュホン信号に切り換えてから、(#)と暗証番号を押します。
- 暗証番号を3回間違えると電話は切れます。
- 命令待ちの20秒の間に何も操作しないと電話は切れます。
- 一連の操作は5秒以内に行ってください。（例えば(#)(2)(#)と操作する場合、(#)を押して5秒以内に(2)を、(2)を押して5秒以内に(#)を押してください。）5秒以上かかると、命令待ちの20秒に戻るので、もう一度操作をやり直してください。

ちょっと一言

用件再生の途中で再生を停止したり、他のリモコン操作をしたい場合は、(*)(*)と押してください（☞104ページ）。

プッシュ回線の電話（公衆電話など）またはトーンボタンなどでプッシュホン信号の出せる電話機から操作してください。

1 **プッシュ回線の電話（公衆電話など）で本機に電話をかける。**

2 **応答メッセージが流れている間に(#)と4桁の暗証番号を押す。**

用件があるときは、「用件はXX件です」が聞こえ、用件が再生されます。再生が終わると「再生終了」と「ピー」という音の後に命令待ちの音「ピッ...ピッ...」が聞こえます。
用件がないときは、「用件はありません」が聞こえ、すぐに命令待ちになります。

3 **さらにリモコン操作をする場合は、103ページの表に従って操作する。**
リモコン操作をしない場合は、電話を切る。

留守番電話にするのを忘れて外出したら

ご注意

自動応答機能が解除されている（☞93ページ）と操作できません。

1 本機に電話をかけ、ベルが15回以上鳴るのを待つ。
2 「ただ今留守にしています・・・」が聞こえたら、(#)と暗証番号を押す。
「ピー」と鳴ります。
3 命令待ちの音が聞こえている間に(#)(0)(#)と押す。
応答メッセージが流れ、本機は留守番状態になります。

外出先で用件の有無を確かめるには（トールセーバー機能）

ご注意

ベルの鳴る回数を変えているとき（☞99ページ）は、トールセーバー機能は働きません。

お買い上げ時には、再生されていない用件があるときはベルが約2回、用件がないときはベルが約5回鳴るとつながるようになっています。
外出先から電話をして、ベルが3回鳴ってもつながらないときには用件は入っていませんので、この時点で電話を切れば電話料金がかかりません。

つづく→

外出先でできる操作

命令待ちの音「ピッ...ピッ...」（20秒間）が聞こえている間に以下の操作をしてください。
それぞれの操作が終わると確認音「ピー」が鳴り、命令待ちの状態に戻ります。

こんなときは	この操作をします
用件を聞く（再生）	(#)(2)(#)
今聞いている用件をとばして次の用件を聞く（スキップ）	再生中に：(#)(3)(#)
今聞いている用件をもう1度聞く（リピート）	再生中に：(#)(1)(#) 再生が始まってすぐに操作すると、1件前の用件に戻ります。
用件を全部消す（消去）	すべての用件を再生した後に：(#)(4)(#)→（5秒以内に）(#)(4)(#) （リモコン操作では特定の用件を消すことはできません。）
用件を録音する	(#)(5)(#)→「ピー」→用件を吹き込む→(*)(*)（停止命令）
「携帯転送」（A）に設定する	(#)(7)(1)(#)（「携帯転送B」は解除されます。）
「携帯転送」（B）に設定する	(#)(7)(2)(#)（「携帯転送A」は解除されます。）
「携帯転送」（AまたはB）を解除する	(#)(8)(#)

リモコンカード

- 外出先からのリモコン操作にお使いください。
- 点線から切り取ってお使いください。
- 暗証番号を記入しておくと忘れたときなどに便利です。

SPP-C500/C500PG リモコン操作

暗証番号 # □□□□

外出先から用件を聞くには

1 自宅に電話をかける。
2 応答メッセージが聞こえている間に、(#)と暗証番号を押す。

用件が1件目から聞こえます。

外出先から留守番電話に設定するには

1 自宅に電話をかけ、ベルが15回以上鳴るのを待つ。
2 「ただ今留守にしています・・」と聞こえたら、(#)と暗証番号を押す。
3 (#)(0)(#)と押す。

応答メッセージが流れ、自宅の電話は留守番状態になります。

他の操作をするには、裏面を見てください。

SPP-C500/C500PG リモコン操作

暗証番号 # □□□□

外出先から用件を聞くには

1 自宅に電話をかける。
2 応答メッセージが聞こえている間に、(#)と暗証番号を押す。

用件が1件目から聞こえます。

外出先から留守番電話に設定するには

1 自宅に電話をかけ、ベルが15回以上鳴るのを待つ。
2 「ただ今留守にしています・・」と聞こえたら、(#)と暗証番号を押す。
3 (#)(0)(#)と押す。

応答メッセージが流れ、自宅の電話は留守番状態になります。

他の操作をするには、裏面を見てください。

外出先で用件を聞く（リモコン操作）（つづき）

こんなときは	この操作をします
留守番携帯転送（☞105ページ）の用件の転送先を登録変更する	転送先Aに登録するには：＃⑨→①→＃→転送先電話番号→＃⑨→①→＃ 転送先Bに登録するには：＃⑨→②→＃→転送先電話番号→＃⑨→②→＃ 例：ポケベルを転送先のBに登録する場合：＃⑨②＃→ポケベル番号→（本機をダイヤル回線で使っている場合のみ＃③）→＃④・＃④・＃④・＃④・＃④・＃④（ポーズ6回分*）→メッセージ** →＃②・＃②（終了命令）→＃⑨②＃ ＃③は「トーン」を、＃④は「ポーズ」を置き換えたものです。
応答メッセージを録音する	＊⑦＊→「ピー」→応答メッセージを吹き込む→＊＊（停止命令）→応答メッセージの確認
留守番状態を設定/解除する	＃⓪＃ 押すたびに、設定←→解除切り換わります。 留守番に設定されたときは、応答メッセージが再生されます。 解除されたときは、「留守解除」と聞こえます。
リモコン操作をやり直す	＊＊ 今の操作が中止され、確認音が「ピー」と鳴り、命令待ちになります。用件再生中にリモコン操作をやめるときは、必ず＊を2回 押してから受話器を戻してください。この操作をしないと、本機はすべての用件の再生が終わるまで話し中の状態が続く場合があります。

* サービス会社によって、ポーズ（＃④）の登録回数が異なります。ポケベルが呼び出されたときに、登録したメッセージが表示されなかったときは、ポーズの回数を調節してください（ポーズ1回は約4秒です）。

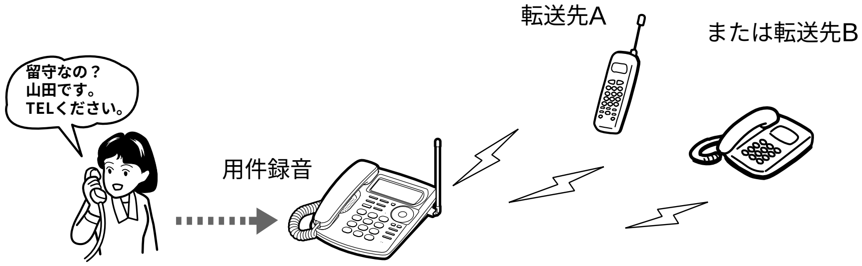
** 電話番号やメッセージを入力するとき、＊（アスタ）は＃①に、＃（シャープ）は＃②に置き換えてください。

用件を聞く**（再生）**	＃②＃
次の用件を聞く**（スキップ）**	＃③＃
今聞いている用件をもう1度聞く**（リピート）**	＃①＃
用件を全部消す**（消去）**	＃④＃→＃④＃
用件録音	＃⑤＃
「携帯転送」設定	＃⑦①~②＃
「携帯転送」解除	＃⑧＃
転送先登録	＃⑨→①~②→＃→電話番号→＃⑨→①~②→＃
留守設定・解除	＃⓪＃
応答メッセージ録音	＊⑦＊
リモコン操作やり直し	＊＊

用件を聞く**（再生）**	＃②＃
次の用件を聞く**（スキップ）**	＃③＃
今聞いている用件をもう1度聞く**（リピート）**	＃①＃
用件を全部消す**（消去）**	＃④＃→＃④＃
用件録音	＃⑤＃
「携帯転送」設定	＃⑦①~②＃
「携帯転送」解除	＃⑧＃
転送先登録	＃⑨→①~②→＃→電話番号→＃⑨→①~②→＃
留守設定・解除	＃⓪＃
応答メッセージ録音	＊⑦＊
リモコン操作やり直し	＊＊

用件を外出先に転送する（携帯転送） つづく→

留守中に録音された用件を外出先に転送することができます。
携帯電話、PHS、外出先の電話、ポケベルなどを転送先として登録できます。
転送先は2か所（携帯転送A、携帯転送B）まで登録しておけますが一度に転送できるのは転送先Aか転送先Bのどちらかです。
転送は15分間隔で3回呼び出します。それでもつながらない場合は、そこで終了します。



操作の流れ

準備1：暗証番号を登録する　（☞101ページ）
準備2：転送先の電話番号を登録する（☞106ページ）
⬇
外出前に：「携帯転送」に設定する　（☞108ページ）
⬇
外出先で：転送された用件を聞く　（☞109ページ）

転送先として登録できるのは

- 携帯電話、PHS
- プッシュ回線の電話
- トーンボタンなどでプッシュホン信号の出せる電話機
- ポケベル

準備1：暗証番号を登録する

101ページ「暗証番号を登録する」の手順を行う。
暗証番号はリモコン操作（☞102ページ）で共通に使います。

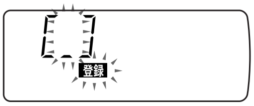
準備2：転送先の電話番号を登録する

親機で操作します。



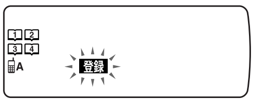
かかってきた用件をすべて転送する

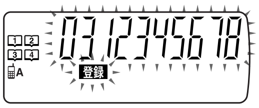
1 **受話器を置いたままで、（キャッチ/登録）を押す。**
ボイスガイドが聞こえます。



2 **（携帯転送A）または（携帯転送B）を押す。**
「転送先登録」

3 **ジョグボタンまたは（キャッチ/登録）を押す。**
初めて設定する場合　　設定済みの場合





4 **転送先の電話番号を押す。**
（携帯転送A、Bとも40桁以内）
ポケベルに転送する場合は、次のページをご覧ください。



5 **（キャッチ/登録）、またはジョグボタンを押す。**
「ピー」と鳴り、確認のため、登録した番号が聞こえます。

登録してある転送先の電話番号を消すには
手順4で電話番号の代わりに（保留/消去）を押し、（キャッチ/登録）を押します。

ご注意
転送先の電話番号は2つまで登録しておくことができますが、外出の際にどちらに転送するか選ぶ必要があり、両方に転送することはできません。

ちょっと一言
転送先の電話番号を修正するには手順４で（保留/消去）を押すと、1文字削除されます。正しい数字を押してください。

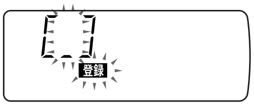
外出先での操作

かけてきた相手によって転送する・しないを選ぶ

ナンバー・ディスプレイ（☞32ページ）をお使いのとき、グループ機能（☞71ページ）を使うと、電話帳に登録してある相手によって、用件を転送する・しないを選ぶことができます。

1　受話器を置いたままで、（キャッチ/登録）を押す。

ボイスガイドが聞こえます。

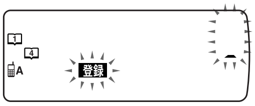


2　（携帯転送A）または（携帯転送B）を押す。

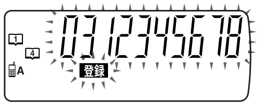
「転送先登録」

3　ジョグダイヤルを回して登録したいグループを点滅させ、ジョグボタンまたは（キャッチ/登録）を押す。

初めて設定する場合



設定済みの場合



4　転送先の電話番号を押す。

（携帯転送A、Bとも40桁以内）

ポケベルに転送する場合は、下記をご覧ください。



5　（キャッチ/登録）、またはジョグボタンを押す。

「ピー」と鳴り、確認のため、登録した番号が聞こえます。

ちょっと一言

ジョグダイヤルを右に回すごとに電話帳グループ表示は次の順に点灯します。

「1+2+3+4」→「1」→「2」→「3」→「4」→「1+2」→「1+3」→「1+4」→「2+3」→「2+4」→「3+4」→「1+2+3」→「1+2+4」→「1+3+4」→「2+3+4」→「1+2+3+4」→・・・

左に回すと逆の順に点灯します。

ご注意

電話帳グループ設定を「1+2+3+4」に設定すると、電話帳に登録されていない人からの用件も転送されます。それ以外の設定では選択したグループに登録された人の用件のみ転送されます。

ポケベルに転送するときは

ポケベルに表示させるメッセージも登録できます。

手順4で番号を登録するとき、以下のように入力します。

ポケベル番号 →（＊）（トーン）*→（発信/着信データ）を6回**→ 表示させるメッセージ →（＃）（＃）

（40桁以内）

* 本機をダイヤル回線（☞17ページ）でお使いの場合のみ

** サービス会社によって、（発信/着信データ）ボタンの登録回数が異なります。ポケベルが呼び出されたときに、登録したメッセージが表示されなかったときは、（発信/着信データ）ボタンの登録回数を調節してください（（発信/着信データ）ボタンを1回押すごとに、約4秒のポーズが作られます）。

外出前に：「携帯転送」に設定する

ご注意

- 「ピピピピピ」とエラー音が鳴ったときは、下記の項目を確認してください。
- 表示窓に「C62」が出た場合：
  - 暗証番号が登録されているか（☞101ページ）。
  - 転送先が登録されているか（☞106ページ）。
- 「C42 FULL」が出た場合：メモリーが満杯です。不要な用件を消去してください（☞100ページ）。
- 「携帯転送A」が設定されているときに、（携帯転送B）を押すと、「携帯転送A」が解除され、「携帯転送A」に登録されている転送先へは転送されません。同様に「携帯転送B」が設定されているときに、（携帯転送A）を押すと、「携帯転送B」が解除され、「携帯転送B」に登録されている転送先へは転送されません。

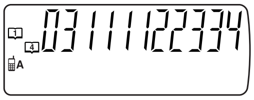
ちょっと一言

一度「携帯転送A」または「携帯転送B」に設定すると、解除するまで、留守番状態にするたびに自動的に「携帯転送A」または「携帯転送B」に設定されます。

親機で操作します。

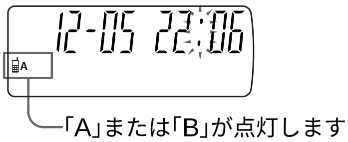


受話器を置いたままで、（携帯転送A）または（携帯転送B）を押す。



「ピー」と鳴り、「携帯転送設定」と聞こえます。

押された携帯転送ボタンにより



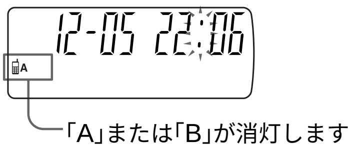
留守番状態になっていないときは留守ボタンも点灯し、留守番状態になります。

転送の設定を解除するには

受話器を置いたままで、（携帯転送A）または（携帯転送B）を押す。

「ピー」と鳴り、「携帯転送解除」と聞こえます。

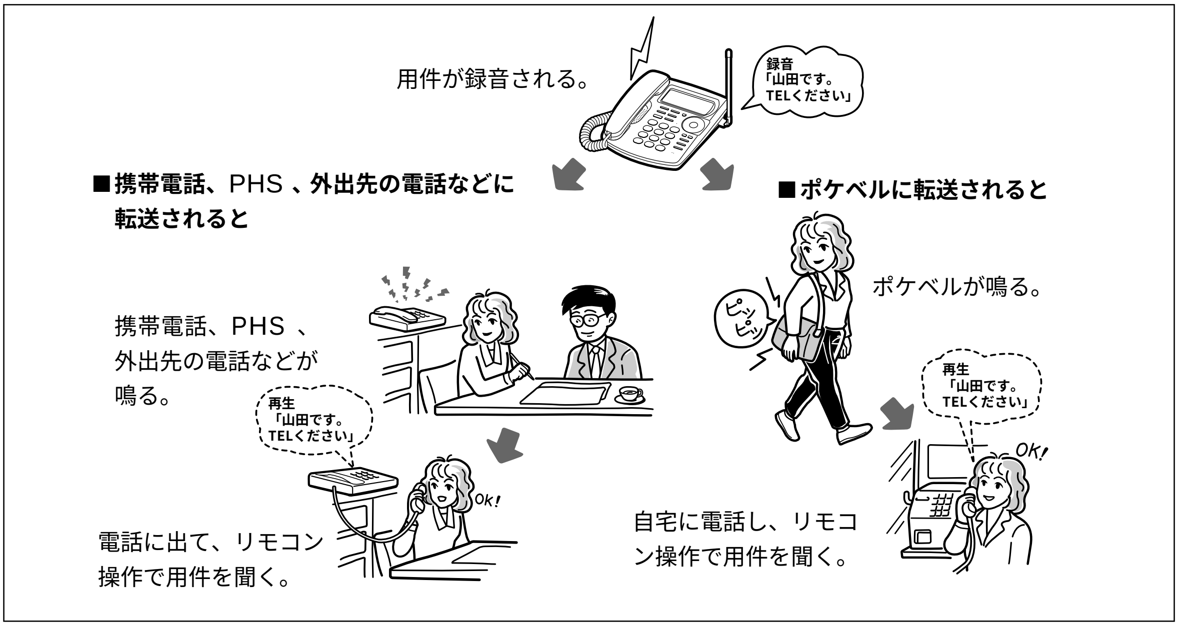
押された携帯転送ボタンにより



外出先からの転送を解除するときは103ページをご覧ください。

外出先での操作

外出先で：転送された用件を聞く



ご注意

- ダイヤル回線の電話から操作する場合は、トーンボタンなどでプッシュホン信号に切り換えてから、(#)と暗証番号を押します。
- 暗証番号を3回間違えると電話は切れます。
- 電話に出てから約40秒以内に暗証番号を押さないと、電話は切れます。
- 外出先からリモコン操作で用件を聞いても、(留守)ボタンのランプは点滅のままです。

1 外出先の電話またはポケベルが鳴ったら、以下の操作をする。

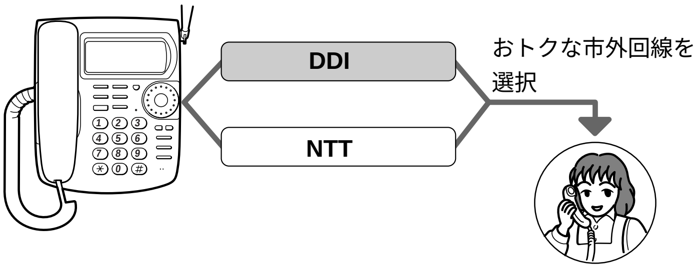
- 転送先が電話のとき：電話を取り「暗証番号を押してください」が聞こえたら、(#)と4桁の暗証番号を押す。
- 転送先がポケベルのとき：本機に電話をかけ、応答メッセージが聞こえている間に(#)と4桁の暗証番号を押す。

用件が1件目から聞こえます。再生が終わると命令待ちの音「ピッ…ピッ…」が聞こえます。

2 さらにリモコン操作をする場合は、**103ページの表に従って操作する。****リモコン操作しないときは、電話を切る。**

α-ALPHA5Lite（アルファファイブライト）とは？

電話をかけたとき、相手先の場所、曜日、時間帯を判定して、DDI（第二電電）とNTTの通常料金を比較して、おトクな市外回線を自動的に選び電話代を節約する機能です。
電話をかけるとき、DDIにつなぐ番号（アクセス番号0077）を押す必要がなく、NTTの電話回線を使ってかけるときと同じ操作で利用できます。
α-ALPHA5Liteを利用して電話をかけたとき、また国際電話（DDI「0078」）をご利用したときは、通話料金を表示窓で確認することができます。



α–ALPHA5Lite**の各機能をご利用になるには、**DDI**（第二電電株式会社）への**α–ALPHA5Lite**機能のご利用のお申し込みと**DDI**市外電話サービスのご利用が必要です。（登録料、基本料は無料です。）**

DDI**（第二電電）問い合わせ先：**

DDI **カスタマサービスセンター**

0077-772**（無料）**

受付時間 9:00〜21:00
（土・日・祝も受付中）

ご注意
- 通話料金がDDIとNTTで同額の場合は、DDIの市外回線が選択されます。
- α-ALPHA5Liteは、各電話会社の割引サービス適用前の通常通話料金をもとに、選択します。

ご利用にあたって
- 「アルファスタート」および「自宅の電話番号を登録する」操作にてα-ALPHA5Liteのご利用に基づきDDIより提供される電話サービス等は、DDI電話サービス等契約約款によります。
- アルファスタートにて、α-ALPHA5Lite利用のDDIへのお申し込みを行ったことになります。
ご移転などに伴い本機に登録されている電話番号を変更される際は、アルファスタートはご利用できません。この場合は、「自宅の電話番号を登録する」操作を行ったあと、DDIカスタマサービスセンターへご連絡ください。
- 通話料金の請求のため、必要に応じ、お客様の電話番号、住所、氏名などについてDDIはNTTより情報の提供を受けることがあります。
- ピンク電話・共同電話・着信専用電話などにおいてはα-ALPHA5Liteはご利用になれません。
- お申し込み者が、未成年のかたは、親権者の同意を得たうえでお申し込みください。

ご利用料金の請求および支払いについて
- ご利用いただいたDDIの通話料金はDDIからご請求書をお送りいたします。
- 窓口振り込み（コンビニなど含む）か、口座振り替えにてお支払いいただけます。口座振り替えはお手続きが必要となりますので、DDIカスタマサービスセンターへご連絡ください。
- NTTご利用の通話料金は従来通りNTTから請求されます。

ご利用にあたってのお願い

- α-ALPHA5Liteは、本機から電話をかけるときだけご利用になれます。（同じ回線につないでいる他の電話機から電話をかけても利用できません。）
- 本機で西暦、日付、時刻を合わせていない場合でも、α-ALPHA5Liteの手続きが完了すると、自動的に西暦、日付、時刻が設定されます。
- 時刻がずれると、α-ALPHA5Liteが正しく働かない場合がありますので、定期的に時刻を確認し、ずれていたら正しい時刻に設定し直してください（☞15ページ）。
- ダイヤルインサービス*、二重番号サービスをご利用になっている場合は、主番号をDDIに登録する必要があります。
- α-ALPHA5Lite機能を一時的に働かせないで、NTTの市外回線を指定して電話をかけるときなどは、電話番号を押すまえに、0000を押してください。
- 本機を構内交換機設備（PBX）、ホームテレホンに接続してお使いになる場合は、ALPHAランプが緑に点灯していても、α-ALPHA5Liteをご利用になれません。α-ALPHA5Liteを解除してください。（☞117ページ）
- 同じ回線にファクシミリを接続してお使いになる場合、ファクシミリを自動受信モードに設置すると、DDIからのオンライン通信ができない場合があります。できるだけファクシミリは手動受信モードでお使いください。
- ご利用いただくためのアルファスタート（☞113ページ）、および電話番号登録操作（☞115ページ）を行った場合、NTTの発信者番号表示サービスにより、お客様のご利用されている電話番号がDDIに通知されます。この場合、「通常非通知（回線ごと非通知）」でNTTと契約されているお客様の電話番号も、「186」が付加されDDIへ通知されますので、ご了承ください。（その後、オンライン通信が行われます。）（料金無料）

* 本機では、ダイヤルインサービスとナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイを併用してお使いいただけません。

次の場合は，DDI カスタマサービスセンターへご連絡ください。

- 転居などにより住所、電話番号が変更になったとき。
- 他社の料金割引サービスをご利用になるとき。
- 通話料金・サービスなどに関してのお問い合わせ。
- ALPHAランプが緑に点灯したあと、何らかの理由により消えたとき、または赤に点灯したとき。
- ダイヤルイン子番号に本機を設置したとき。
- 本機を他の電話機と取り替えたとき。
- NTTを除く他の電話会社（地域系新電電を含む）と契約されているとき。

α-ALPHA5Liteのご利用を始めるには

アルファスタートまたは自宅の電話番号登録を行う

α-ALPHA5Liteをご利用いただくために下記の操作を行います。

操作方法について

●ALPHA**ランプが赤色に点灯している場合、アルファスタートを行う（**☞113**ページ）**

この操作にてα-ALPHA5Lite利用のDDIへのお申し込みを行ったことになります。操作後すぐにオンライン通信が行われます。（その他、割り引きサービス等へのお申し込みは除きます。）

●ALPHA**ランプが消灯、または緑色に点灯している場合、自宅の電話番号を登録する（**☞115**ページ）**

α-ALPHA5LiteのDDIへのご利用準備の操作です。

これらの操作はお客様がお使いになる地域の料金・地域データなどをDDIが受け取るために必要な操作であり、他の目的に使用するものではありません。

アルファスタート、または
自宅の電話番号の登録が終わると

↓

本機が自動的にDDIに電話をかけます（料金無料）

このとき本機を設置した電話番号がDDIへ通知されます。

↓

オンライン通信（☞114、116ページ）

DDIから本機にお客様がお使いになる地域の料金・地域データなどを送信します(料金無料)。

↓

α-ALPHA5Liteが利用できます

オンライン通信が正常に終了すると、ALPHAランプが緑に点灯します。

つづく→

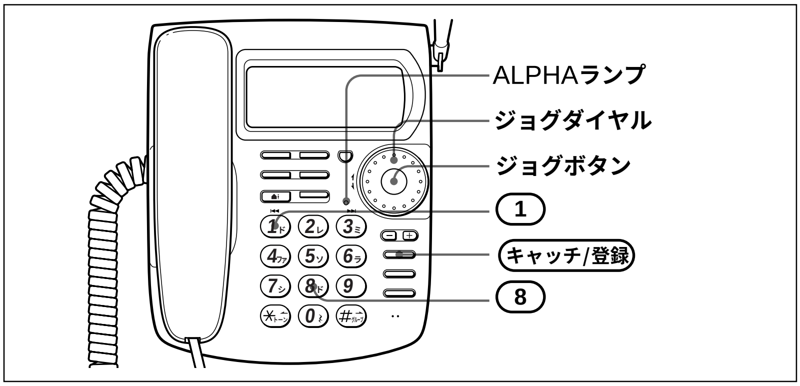
アルファスタートを行う

ご注意
ダイヤルイン子番号に本機を設置される場合は、アルファスタートを行わずに自宅の電話番号を登録する（☞115ページ）を行ってください。

アルファスタートを行います。この操作でα-ALPHA5Lite利用のDDIへのお申し込みを行ったことになります。（その他、割引サービス等へのお申し込みは除きます。）

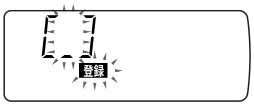
アルファスタートを行っていないときは、ALPHAランプは赤色に点灯しています。

親機で操作します。



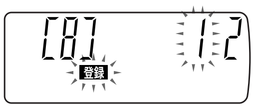
1 受話器を置いたままで、（キャッチ/登録）を押す。

ボイスガイドが聞こえます。



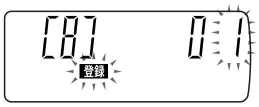
2 （8）を押す。または、ジョグダイヤルを回して「8」を表示させ、ジョグボタンを押す。

「アルファファイブ設定」



3 （1）を押してから、（キャッチ/登録）を押す、またはジョグダイヤルを回して「1」を点滅させ、ジョグボタンを押す。

「アルファスタート設定」



4 （1）（設定）を押す。または、ジョグダイヤルを回して「1」を点滅させる。



5 （キャッチ/登録）、またはジョグボタンを押す。

「ピー」と鳴り、確認のため、「設定」と聞こえます。

ALPHAランプが消えます。

α-ALPHA5Liteのご利用を始めるには（つづき）

アルファスタート実行後、DDIから利用準備または確認の連絡が入ることがあります。
すでにα-ALPHA5Liteをご利用の場合も、DDI カスタマサービスセンターへの電話連絡が必要です。

ご注意
アルファスタートを行うと、本機が自動的にDDIに電話をかけます。この際、NTTの発信者番号表示サービスにより、お客様のご利用されている電話番号がDDIに通知されます。この場合、「通常非通知（回線ごと非通知）」でNTTと契約されているお客様の電話番号も、「186」が付加されDDIへ通知されますので、ご了承ください。（その後、オンライン通信が行われます。）（料金無料）

オンライン通信とは？
通話料金のおトクな市外回線を選択するために必要な料金データをDDIから送ってもらう通信のことです。
ALPHAランプが緑に点灯すれば、お使いになれます。
- オンライン通信中に電話をかけようとしたときも話し中の音が聞こえ、電話はかけられません。受話器を置いて約5分間お待ちください。
- α-ALPHA5Liteの手続きが終了すると，日付，時刻はDDI標準時刻に書き換えられます。

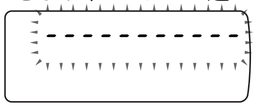
アルファスタートを行うと
ALPHAランプは消えています。

↓（約1時間後）

本機が自動的にDDIに電話をかけます（料金無料）
このとき本機を設置した電話番号がDDIへ通知されます。お客様がお使いになる地域の料金データなどを受け取るため、技術的に必要な動作です。
他の目的に使用するものではありません。

↓

引き続きオンライン通信が行われます（約5分間）
DDIから料金データが電話回線を通じて送られてきます（オンライン通信）。



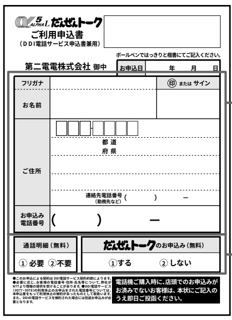
↓

オンライン通信終了後、ALPHAランプが緑に点灯します。

α-ALPHA5Liteが利用できます
電話をかけるとき、DDIを選択すると表示窓のALPHAランプが約5秒間点滅します。

DDIへ「α-ALPHA5Liteご利用申込書」のハガキを出す

必要事項を記入のうえ、付属の「α-ALPHA5Liteご利用申込書」のハガキを郵送します。当お申し込み書にて、「割引サービス」に同時にお申し込みいただけます。
店頭で申し込みがお済みの場合は不要です。



DDI市外電話サービスの利用をされる方の名前と住所、ご利用いただく電話番号を記入します。

どちらかに○をつけてください。

おトクな市外回線の自動選択

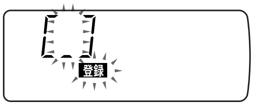
つづく→

自宅の電話番号を登録する

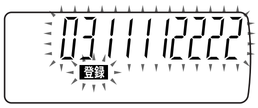
移転などにより自宅の電話番号が変更になった場合（ALPHAランプが消灯または緑色に点灯している）は、下記の操作で自宅の電話番号を登録してから、DDI カスタマサービスセンターへご連絡ください。
親機で操作します。



1 **受話器を置いたままで、（キャッチ/登録）を押す。**
ボイスガイドが聞こえます。



2 **（8）を押す。または、ジョグダイヤルを回して「8」を表示させ、ジョグボタンを押す。**
「アルファファイブ。あなたの電話番号を市外局番から押して、最後に登録を押してください。」



3 **自宅の電話番号を市外局番から押す（9桁～12桁）。**

4 **（キャッチ/登録）またはジョグボタンを押す。**
「少しお待ちください」
「ピー」と鳴り、確認のため、登録した番号が聞こえます。

5 **DDIカスタマサービス（0077-772）へ連絡する。**

電話番号を間違えた、電話番号が変更になったときは

最初から操作をやり直してください。前の電話番号は自動的に書き換えられます。

ご注意
- 電話番号を初めて設定するかたは、116ページの「電話番号を初めて設定するときは」をご覧ください。
- 市外局番から入れなかった場合や、9桁～12桁以外の番号を入力した場合、「ピピピピピ」と鳴ります。手順1からやり直してください。
- 携帯電話、PHSの番号は登録しないでください。

ちょっと一言
登録してある電話番号を確認するには、（キャッチ/登録）（8）と押します。すでに登録してある番号が表示されます。

ご注意
自宅の電話番号を登録すると、本機が自動的にDDIに電話をかけます。この際、NTTの発信者番号表示サービスにより、お客様のご利用されている電話番号がDDIに通知されます。この場合、「通常非通知（回線ごと非通知）」でNTTと契約されているお客様の電話番号も、「186」が付加されDDIへ通知されますので、ご了承ください。（その後、オンライン通信が行われます。）（料金無料）

α-ALPHA5Liteのご利用を始めるには（つづき）

オンライン通信とは？

通話料金のおトクな市外回線を選択するために必要な料金データをDDIから送ってもらう通信のことです。
オンライン通信の電話がかかってきたとき、本機で電話を受けると、「ピポパ」音のあとに「こちらはDDIです。ただいまからデータを送信します。ありがとうございました」と聞こえます。電話を切って約5分間お待ちください。ALPHAランプが緑に点灯すれば、お使いになれます。このとき、ナンバー・ディスプレイの着信データ履歴は残りません。

- オンライン通信中に電話をかけようとしたときも話し中の音が聞こえ、電話はかけられません。受話器を置いて約5分間お待ちください。
- 留守番電話に設定していなくても、呼び出し音が15回鳴ると、自動的につながり、オンライン通信が行われます。
- 留守番電話に設定していない場合、自動応答機能が解除されていると（☞93ページ）、オンライン通信ができません。自動応答を設定に戻してください。
- 同じ回線につないでいる他の電話機で電話を受けた場合は、「ピポパ」音を数回繰り返し、電話は切れます。オンライン通信はできませんので、DDIカスタマサービスセンターへご連絡ください。
- α-ALPHA5Liteの手続きが終了すると，日付，時刻はDDI標準時刻に書き換えられます。
- 料金改定などに際し、必要に応じてDDIより自動的にオンライン通信を行う場合があります。

自宅の電話番号を登録したかたは、すでにα-ALPHA5Liteをご利用の場合も、DDI カスタマサービスセンターへの電話連絡が必要です。

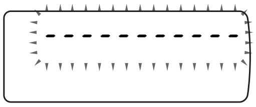
自宅の電話番号の登録が終わると　—　ALPHAランプは消えています。

↓（約1時間後）

本機が自動的にDDIに電話をかけます（約1分間）（料金無料）　—　このとき本機を設置した電話番号がDDIへ通知されます。お客様がお使いになる地域の料金データなどを受け取るため、技術的に必要な動作です。
他の目的に使用するものではありません。

↓（約2~3日かかる場合があります）

オンライン通信　—　DDIから料金データが電話回線を通じて送られてきます（オンライン通信）。
オンライン通信終了後、ALPHAランプが緑に点灯します。



↓

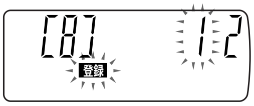
α-ALPHA5Liteが利用できます　—　電話をかけるとき、DDIを選択するとALPHAランプが約5秒間点滅します。

この登録操作後、DDIから利用準備、または確認連絡が入ることがあります。

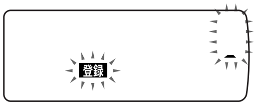
電話番号を初めて設定するときは

115ページの手順2で、⑧を押す、またはジョグダイヤルを回して「8」を表示され、ジョグボタンを押します。

「アルファファイブ設定」



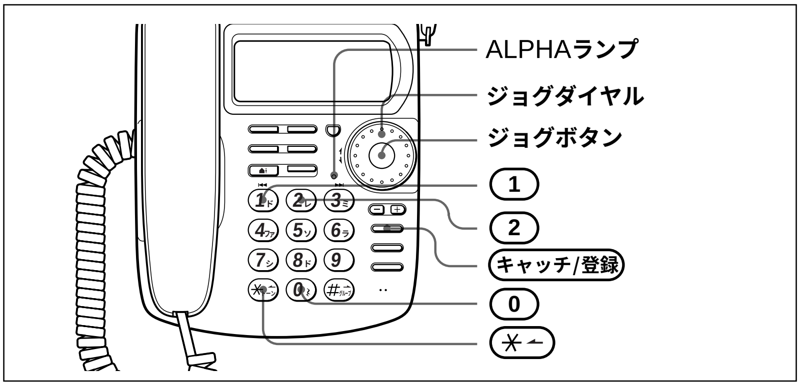
次に、②を押して、（キャッチ/登録）を押すと、「アルファファイブ。あなたの電話番号を市外局番から押して、最後に登録を押してください。」と聞こえます。



続けて、手順3〜5を行ってください。

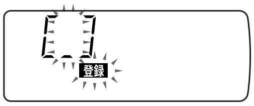
α-ALPHA5Liteを設定または解除する

α-ALPHA5Liteを利用して電話をかけるかどうかの設定を行います。
お買い上げ時、α-ALPHA5Liteは「設定」になっています。
親機で操作します。

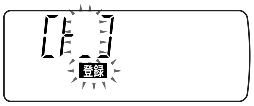


> **ご注意**
> 本機を構内交換機設備（PBX）に接続してお使いになる場合は、ALPHAランプが点灯していても、α-ALPHA5Liteをご利用になれません。α-ALPHA5Liteを解除してください。解除するには、右の手順4で（0）（解除）を押します。

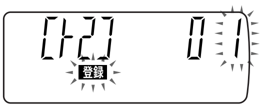
1 **受話器を置いたままで、（キャッチ/登録）を押す。**
ボイスガイドが聞こえます。



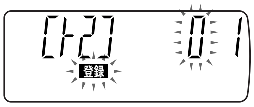
2 **（＊）を押す。または、ジョグダイヤルを回して「ト」を表示させ、ジョグボタンを押す。**
ボイスガイドが聞こえます。



3 **（2）を押す。または、ジョグダイヤルを回して「ト2」を表示させ、ジョグボタンを押す。**
「アルファファイブ設定」



4 **（1）（設定）または（0）（解除）を押す。または、ジョグダイヤルを回して「1」か「0」を点滅させる。**



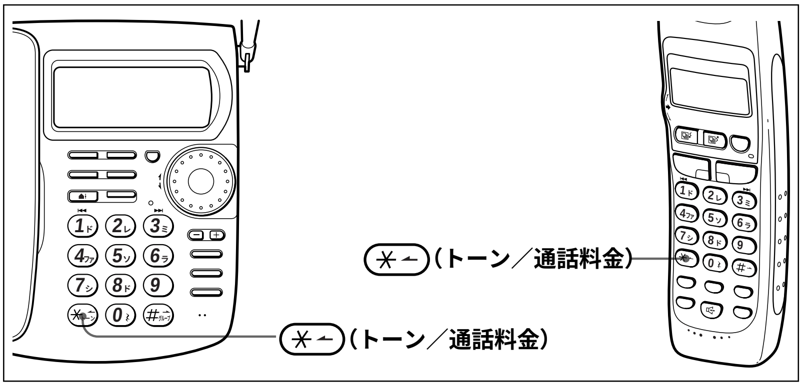
5 **（キャッチ/登録）、またはジョグボタンを押す。**
「ピー」と鳴り，「アルファファイブ設定」または「アルファファイブ解除」と聞こえます。
解除すると、ALPHAランプが消灯します。

> **ちょっと一言**
> ALPHAランプが赤く点灯している場合は、消灯しません。

おトクな市外回線の自動選択

通話料金を確認する

α-ALPHA5Liteを利用して電話をかけたとき、また国際電話（DDI「0078」）を利用して電話をかけたときは、通話を終えたあとに、通話料金の目安をお知らせします。

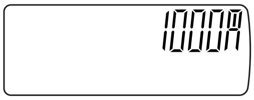


ご注意

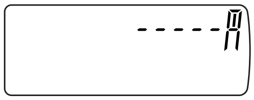
- α-ALPHA5Liteを解除しているときは料金を確認できません。
- (キャッチ/登録)を押して電話を切ってからかけ直すと、電話料金は正しく表示できません。電話を切るときは、受話器を戻す、または(切)を押して切ってください。

電話を切ったあとに、(＊⌐)（トーン／通話料金）を押す。

表示窓に通話料金が表示されます。



通話料金がお知らせできない場合



5万円以上の場合、「50000円」と点滅します。

通話料金のお知らせについてのご注意

ご注意

子機から親機、親機から子機、または子機間で電話を取り次いだとき（子機が2台以上ある場合）は、通話を終えた側で料金の確認ができます。

- お知らせする通話料金はおよその目安です。
- かかってきた電話の通話料金はお知らせしません。
- キャッチホンやトリオホンサービスをご利用になっている場合、通話料金が正確にお知らせできないことがあります。
- 一般の料金体系とは異なる次のような電話番号をご利用になるときは、料金はお知らせできません。
  - 着信による通話
  - 携帯電話・自動車電話（090）、PHS（070）
  - 1から始まる3桁の番号（104、177など）
  - ダイヤルQ2サービス（0990）
  - フリーダイヤル（0120）
  - ナビダイヤル（0570）
  - DDIを指定してダイヤルした電話（0077+03...など）
  - その他、ラインライン（0190）、テレドーム（0180）などの特殊電話サービス
  - 構内交換機やホームテレホンシステムに接続してお使いのとき
- ISDN回線に接続した場合、ご使用になるターミナルアダプターによって、料金通知ができない場合があります。

正しくお使いいただくために

取り扱いについて

- 電話機の内部を改造することは法律で禁じられています。
- コードレス電話機は、親機と子機の間で電波を使って交信します。無線機を使用している場所や放送局の近くなどでは電波障害を受けることがあります。
- このコードレス電話機は国内用です。海外ではお使いになれません。
- このコードレス電話機は、交信に複数の電波を利用し傍受されにくいようにしてあります。しかし第三者が特殊手段を講じて通話内容を傍受するケースが全くないとは言えませんのでご注意ください。この電話機にはスクランブル（盗聴防止）機能はついていませんので、特に重要な通話には、親機をご利用ください。

電源について

- 親機はDC 9Vで動作します。付属の電源アダプターAC-T34を家庭用電源コンセント（AC 100V）につないでお使いください。
- 充電台はAC 100Vで動作します。電源コードを家庭用電源コンセント（AC 100V）につないでお使いください。
- 使用中、電源アダプターが暖かくなりますが、故障ではありません。
- 電源アダプターや電源コードをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、必ず電源アダプター本体か電源プラグを持って抜いてください。またコードを傷つけないように注意してください。

お手入れについて

キャビネットのクリーニング

柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤液を水でうすめたもので湿らせた布で拭いたあと、から拭きします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

停電時のご使用について

停電時に電話をかけたり受けたりするには

停電中でも、親機では電話をかけたり受けたりすることができます。
子機は使えません。

親機で

- 電話をかけたり受けたりすることはできます。
  ただし、プッシュ回線でお使いの場合は、2時間以上の停電中は電話機の設定がダイヤル回線になってしまうため、電話をかけられなくなることがあります。
  この時は、電話をかける度に(＊)（トーン／通話料金）ボタンを押してから相手の電話番号を押してください（☞83ページ）。なお、停電から復帰すると、自動的にプッシュ回線に再設定されますので（☞16ページ）、通常通りお使いになれます。
- 電話がかかってくると、通常のベルではなく、停電時用のベルが鳴ります。
- 表示窓には何も表示されません。
- 受話音量は調節できません。
- ナンバー・ディスプレイ機能は使えません。
  ナンバー・ディスプレイに加入しているかたは、電話がかかってきたときに、最初に短く鳴っても電話に出ずに、普通にベルが鳴ってから出てください。電話に出るときに「ジャー」という音が聞こえた場合は、いったん受話器を戻してください。
- スピーカーホンは使えません。
- α-ALPHA5Liteは使えません。
- 発信データ履歴、着信データ履歴、電話帳は使えません。
- おことわり機能は使えません。
- お名前名のらせ機能は使えません。
- 停電中、親機のすべてのランプは消えています。

留守番機能は

- 留守番電話としては使えません。
- 用件の再生など、留守番電話の機能はすべて使えません。

長い停電から復帰すると

ランプと日付、時刻が点滅します。日付、時刻を設定(☞15ページ)し直すまで点滅は止まりません。α-ALPHA5Liteをお使いのかたは、日付、時刻を設定し直してもALPHAランプが赤色に点灯、または消灯している場合、DDI カスタマサービスセンターへご連絡ください。

電話帳などの登録内容や録音内容は？

以下の内容は、2時間以上の停電があった場合はお買い上げ時の状態に戻ります。（電源に接続してから2時間以上たっていないときは、2時間以内の停電であっても、お買い上げ時の状態に戻る場合があります。なお、電源アダプターを2時間以上抜いた場合も停電時と同じです。）

- 日付、時刻設定（1999年1月1日にリセットされます。☞15ページ）
- 親機の受話音量（☞20ページ）、親機のベル音量（☞91ページ）、スピーカー音量（☞29ページ）
- 優先着信の設定（☞90ページ）
- 子機プライベート優先着信の設定（☞70ページ）
- 音声呼び出し機能設定（☞67ページ）
- 発信データ（☞79ページ）
- 留守の設定（☞94ページ）

以下の内容は保持されます。

- 録音された用件とその時刻（タイムスタンプ）
- 録音した応答メッセージ（グループ応答含む）
- 呼び出し音声（グループご指名含む）
- ベルの回数
- 携帯転送設定
- 携帯転送先電話番号
- 携帯転送グループ指定
- 暗証番号
- 自宅の電話番号
- 電話帳の登録内容
- 着信データ
- おことわり先電話番号
- 非通知理由音声呼び出し設定
- ナンバー・ディスプレイの設定
- キャッチホン・ディスプレイの設定
- α-ALPHA5Liteの設定
- 応答メッセージの選択設定
- 着信メロディー
- 着信メロディー設定
- 子機音声設定
- おやすみ応答設定
- 自動応答設定
- ナンバーコール設定

以下の内容は、子機のバッテリーをはずしたり、消耗した場合はお買い上げ時の状態に戻ります。

- クイック通話設定（☞89ページ）
- 子機のベル音量（☞91ページ）
- 子機発信データ（☞79ページ）
- モーニングコール指定時刻（☞86ページ）
- モーニングコール予約設定（☞87ページ）

以下の内容は保持されます。

- 子機電話帳の登録内容
- 子機着信データ
- 親機音声設定
- 着信メロディー
- 着信メロディー設定

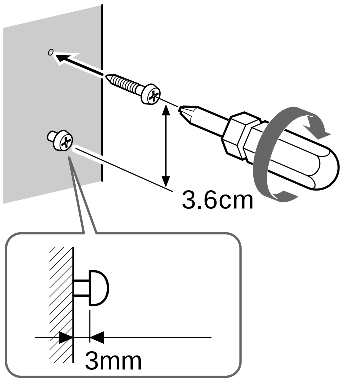
壁に取り付ける

子機の充電台を壁に取り付ける

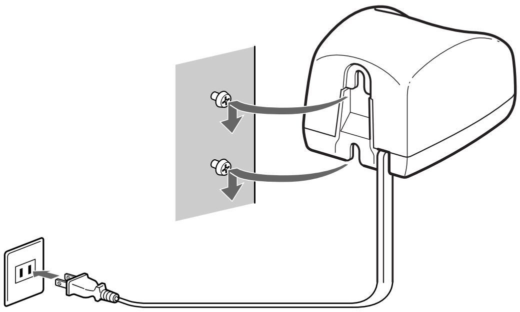
- 家庭用電源コンセントにつなぐことができる場所を選んでください。
- 壁に充電台と子機の重みがかかるので、しっかりした壁を選んで取り付けてください。

1 **ネジを壁に取り付ける。**

下記の子機充電台用型紙をお使いください。

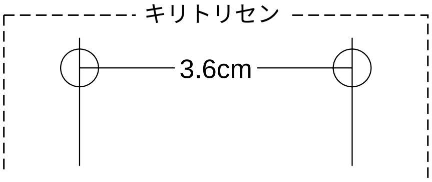


2 **充電台をかける。**

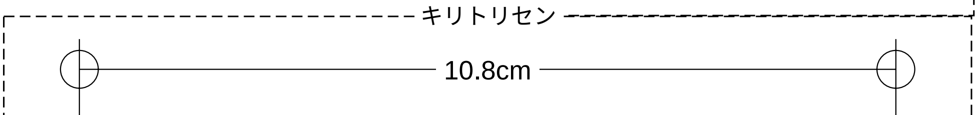


電源コンセントへ

子機充電台用型紙



親機用型紙

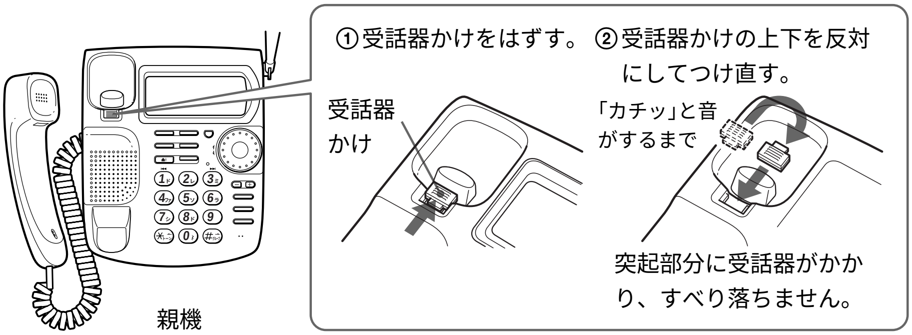


その他

親機を壁に取り付ける

- 電話回線と家庭用電源コンセントにつなぐことのできる場所を選んでください。
- 壁に親機の重みがかかりますので、しっかりした壁を選んで取り付けてください。

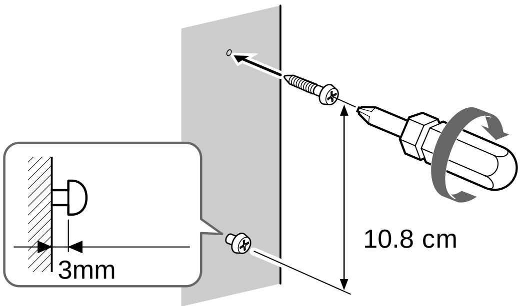
1 **親機を準備する。**



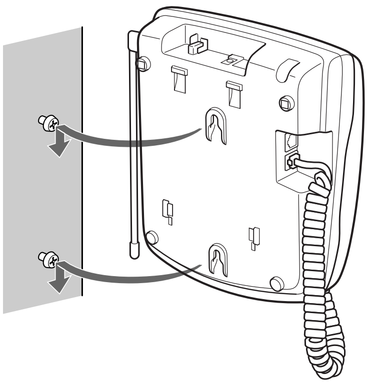
付属のネジを使うとき

2 **ネジを壁に取り付ける。**

122ページの親機用型紙をお使いください。



3 **親機を壁にかける。**

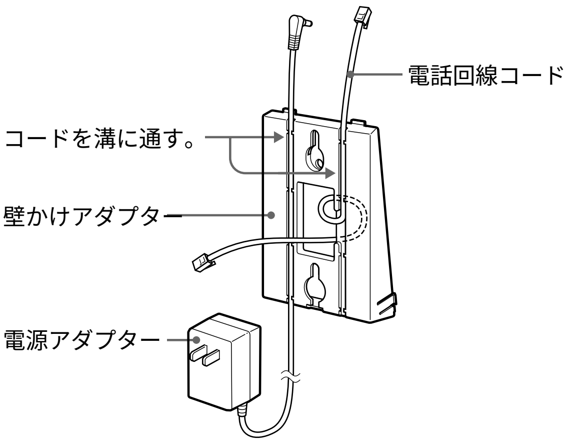


4 **アンテナをまっすぐに上に立てる。**

壁かけアダプターTL-E96（別売り）を使うとき

2 **壁かけアダプターを準備する。**

電話回線コードをアダプターの穴に通し、電源アダプターのコードを溝に通す。



3 **壁かけアダプターと親機を壁に取り付ける。**

取り付けかたについては、詳しくはTL-E96の「取り付けかた」をご覧ください。

ご注意
TL-E96に付属のネジをお使いください。

4 **アンテナをまっすぐに上に立てる。**

故障かな？と思ったら

親機

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
「ツー」という発信音が聞こえない。	• 電話回線コード、受話器コードはしっかりつながっていますか？	☞ 12
	• ナンバー・ディスプレイのデータ受信中ではありませんか？いったん受話器を置いて、普通にベルが鳴ってから、もう一度持ち上げてください。	☞ 14
電話をかけたり受けたりはできるが、その他の操作ができない。	• 停電中ではありませんか？停電の間は親機の受話器でのみかけたり受けたりすることができます。（スピーカーホン通話できません。）	☞ 120
	• 電源アダプターはしっかりつながっていますか？	☞ 12
スピーカーホン通話できない。	• 停電中ではありませんか？　停電中はスピーカーホン通話できません。	☞ 120
スピーカーから聞こえる音が小さい。	• スピーカー音量が最小になっていませんか？ 通話中にベル／受話／スピーカー音量ボタンを押して聞きやすい音量に調節してください。	☞ 29
ベルが鳴らない。	• ベル音量を「切」にしていませんか？	☞ 91
子機で保留にした電話を親機で受けようとしても受けられない。	• 子機で保留にしたあと、充電台に戻すか、切ボタンを押しましたか？いずれかをしないと、親機で電話に出ることはできません。	☞ 25
発信データ履歴から電話できない。	• 21桁以上ダイヤルしませんでしたか？	☞ 79
	• 発信データ履歴すべてを消去してありませんか？	☞ 81
	• 電源アダプターを抜くか停電がありませんでしたか？	☞ 120
受話器を上げたのにベルが鳴っている。	• ナンバー・ディスプレイのデータの着信中です。 いったん受話器を置いてから、もう一度持ち上げてください。	☞ 14
ALPHAランプが赤色に点灯している。	• α-ALPHA5Liteを利用されるかたは設定を行ってください。	☞ 112
	• ALPHAランプが赤色に点灯しているときは、消灯にしておくことはできません。	—
3桁の番号が表示され、呼び上げられる。	• 販売店で設定するための機能です。故障ではありません。	—
色々な表示が次々に出て、どのボタンを押しても動作しない。	• 電話回線コードは接続されていますか？	☞ 13

子機

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
ベルが鳴らない。	• バッテリーが消耗していませんか？バッテリーを10時間ほど充電してみてください。	☞ 19
	• 本機の近くで他のコードレス電話を使っていませんか？2組以上のコードレス電話機を使用するときはできるだけ離れた場所に設置してください。	☞ 11
	• ベル音量を「切」にしていませんか？	☞ 91
	• 他の子機を優先着信に設定していませんか？その子機を子機プライベート着信に設定していませんか？	☞70、90

つづく→

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
「ツー」という発信音が聞こえない。（充電台から取ったとき、または通話ボタンを押したとき）	• バッテリーが消耗していませんか？バッテリーを10時間ほど充電してみてください。	☞ 19
	• 停電中ではありませんか？停電中は子機では電話をかけたり受けたりできません。	☞ 120
	• 親機の電話回線コードや電源アダプターはしっかりつながっていますか？	☞ 12
	• 親機に子機を近づけて再び試してみてください。	☞ 11
雑音が多い。	• 親機と離れすぎていませんか？	☞ 11
	• 他の電化製品から離してみてください（親機、子機とも）。	☞ 10
電話を受けようとしたが、通話できない。	• 子機のベルが鳴り始める前に、電話を受けようとしませんでしたか？子機のベルが鳴り始める前に、電話を受けると、通話できないことがあります。	☞ 22
親機（または他の子機）で保留にした電話を子機で受けようとしても、受けられない。	• 親機（または他の子機）で保留にしたあと、受話器を戻しましたか？親機（または他の子機）の受話器を戻さないと、子機では電話に出ることはできません。	☞24、26
発信データ履歴から電話できない。	• 21桁以上ダイヤルしませんでしたか？	☞ 79
	• 発信データ履歴すべてを消去してありませんか？	☞ 81
モーニングコールが鳴らない。	• 指定時刻になったときに電話中だったり、他の操作中の場合には、ベル音は鳴らないことがあります。	☞ 86
充電できない。	• 充電台の上に子機を置いたとき、ランプは点灯していますか？充電台の電源コードが電源コンセントにしっかりつながれているかどうか確認してください。	☞ 18
	• バッテリーの寿命ではありませんか？	☞ 19
子機を充電台にのせても充電ランプが点灯しない.。	• 充電台の電源コードが電源コンセントにしっかりつながれているかどうか確認してください。	☞ 18
子機で通話していないのに通話ボタンのランプが点灯している。	• 子機を充電台にのせたまま充電台の電源コードを抜きませんでしたか？充電台を電源コンセントにつないでください。	☞ 18

親機/子機共通

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
電話をかけても電話がかからないか、違う相手にかかる。	• 電話回線の種類の設定を確かめてください。使用している電話回線の種類に合わせます。	☞ 17
	• 停電中ではありませんか？親機でも、プッシュ回線でお使いの場合、2時間以上の停電中は、電話機の設定がダイヤル回線になってしまうために、電話をかけられなくなることがあります。この場合は、電話をかける度に(＊⁻)（トーン／通話料金）ボタンを押してから相手の電話番号を押してください。	☞ 120
内線通話ができない。	• 停電中ではありませんか？	☞ 120
	• 電源アダプターはしっかりつながっていますか？	☞ 12
電話をかけていないのに電話がかかってしまった。	• 用件の転送中の可能性があります。受話器を戻し、本機が再び転送を始める前に転送を解除してください。	☞ 108

故障かな？と思ったら（つづき）

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
ベル音の種類が違うことがある。	• 電話帳に登録された相手からの通話を検出して鳴り分けています。	☞39、59
通話中の会話が途切れ、無音状態になる。	• キャッチホン・ディスプレイを設定していませんか？キャッチホン・ディスプレイの設定をされると、本機が通話中の会話をキャッチホンの割り込み音と誤認して動作することがあります。その場合、約4秒間無音の状態になりますが、故障ではありません。	☞ 76
短いベル音が普通のベル音の前に鳴る。	• ナンバー・ディスプレイが「切」になっていませんか？	☞ 34
受話器を取ると「ジャー」という雑音が聞こえる。	• ナンバー・ディスプレイが「切」になっていませんか？	☞ 34
通話料金が正しく表示されない。	• ダイヤルするときに、（キャッチ/登録）を押してからかけ直していませんか？	☞ 118

ナンバー・ディスプレイ機能

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
相手の電話番号が表示されない。	• NTTのナンバー・ディスプレイに加入していますか？	☞ 32
	• ナンバー・ディスプレイが「切」になっていませんか？	☞ 34
	•「表示圏外」などの表示が点灯していませんか？	☞32、33
呼び出し音声が出ない。	•「名のってる」の表示が消灯していませんか？	☞ 67
	• 誰からコールが正しく登録されているか確認してください。	☞ 60
	• ご指名コールが正しく登録されているか確認してください。	☞ 63
	• 呼び出し音声が正しく録音されているか確認してください。	☞ 65
	• 非通知理由音声呼び出し機能が解除されていませんか？	☞ 44
	• ナンバーコール機能が解除されていませんか？	☞ 45
	• 留守番状態になっていませんか？このとき着信ベルの設定によっては、ナンバーコールが最後まで聞こえない場合があります。	☞ 99
	• ナンバーコール機能が設定になっていても、子機の電話帳に登録されている相手からの電話については、番号を読み上げない場合があります。	☞ 45
	• 電話帳に登録するときに市外局番から登録してありますか？	☞ 48
外出先から電話すると「恐れいりますが、186を最初にダイヤルしてからおかけ直しください」と聞こえる。	•「非通知」をおことわり先に指定していませんか？「186」を頭につけてダイヤルしてください。	☞ 42

留守番機能

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
留守ボタンが点灯しない。	• 用件が満杯ではありませんか？不要な用件は消去してください。	☞ 100

つづく→

こんなときは…?	もう一度お確かめください…	参照ページ
留守中に電話がかかったのに応答しない。	• 電話回線コードや電源アダプターはしっかりつながっていますか？	☞ 12
	• 停電がありませんでしたか？ 停電中は留守録音しません。	☞ 120
	• 留守番状態を解除していませんか？	☞ 95
相手の用件を最後まで録音しない。	• 相手の声が小さすぎたり、言葉が途切れて約7秒以上黙ったままでいると電話は切れてしまいます。	☞ 94
用件を録音できない。	• 用件が満杯ではありませんか？不要な用件は消去してください。	☞ 100
用件を録音した時間（タイムスタンプ）が実際とずれる。	• 日付、時刻の設定は合っていますか？	☞ 15
	• 電源アダプターを抜いたか停電がありませんでしたか？日時の設定をし直してください。	☞ 15
自作応答メッセージが流れない。	• 自作応答メッセージが正しく録音されていますか？	☞ 97
	• 応答メッセージを切り換えていませんか？	☞ 98

外出先からリモコン操作するとき

こんなときは…?	もう一度お確かめください…	参照ページ
6回ベルを鳴らしても応答しない。	• 留守番状態を解除しているのではありませんか？	☞95、104
	• ベルの鳴る回数を変えていませんか？	☞ 99
暗証番号を押しても受け付けない。	• ダイヤル回線の電話ではありませんか？プッシュホン（トーン）信号を出す機能のある電話機の場合はプッシュホン信号に切り換えてください。 ない場合は、プッシュ回線の電話（公衆電話など）からかけ直してください。	☞ 102
暗証番号を押すとすぐ「暗証番号を押してください」が流れる。	• 電話機に登録した暗証番号と違う番号を押していませんか？暗証番号を3回間違えると電話は切れます。	☞ 102
(#)(0)(#)と押しても留守番状態にならない。	• 用件が満杯ではありませんか？不要な用件を消してから、やり直してください。	☞100、103
本機と同じ回線につないだファクシミリが動作してしまう。	• ファクシミリのリモコンモードに入っていませんか？ ファクシミリのリモコン命令番号を変更してください。	—
「恐れいりますが、186を最初にダイヤルしてからおかけ直しください」が流れる。	• 「非通知」をおことわり先に指定していませんか？（ただし、おことわりメッセージが流れている間に暗証番号を押すと、リモコン操作はできます。）	☞ 42

外出先へ用件を転送するとき

こんなときは…?	もう一度お確かめください…	参照ページ
外出先で転送されてきた用件が聞けない。	• 転送先の電話がダイヤル回線ではありませんか？ プッシュ回線またはプッシュホン信号の出せる電話でないと用件は聞けません。	☞ 105
用件の転送ができない。	• 暗証番号を登録してありますか？暗証番号を登録していないと転送はできません。	☞ 101
	• 転送先の電話番号を登録してありますか? 登録していないときや、他の番号を登録してあるときは、登録し直してください。	☞ 106

警告音

	こんな警告音が聞こえたら	もう一度お確かめください…
子機	「ピッ.....ピッ.....（3秒間隔）」	• バッテリーが消耗しています。子機を充電台に戻して充電してください。通話中のときは、通話を切るか、19ページの方法で親機で続けて通話することもできます。
	「ピッ・ピッ・ピッ…（1秒間隔）」	• 親機との距離が通話可能な範囲（見通しで約50〜100m)を越えています。約15秒間で通話が切れてしまうので、通話できる距離まで近づいてください（☞11ページ）。
		• 親機のアンテナをまっすぐ立ててください。
	「ピー・ピー・ピー・ピー・ピー」	• 子機でかけようとしたが、親機（または他の子機）で通話中または何らかの操作中のとき。 ➔このとき電話はかけられません。
		• 子機でかけようとしたが親機から離れすぎているとき。 ➔親機に近づいてみてください（☞11ページ）。
		• 子機でかけようとしたが停電のとき。 ➔このとき子機では電話はかけられません（☞120ページ）。
親機・子機共通	「ピー・ピー・ピー・ピー・ピー」	• 親機でかけようとしたが、子機で通話中または何らかの操作中のとき。 ➔このとき電話はかけられません。
		• 登録操作をしようとしたが、親機、または他の子機が通話中のとき。 ➔通話を切ってから操作をやり直してください。
		• 親機の設置場所をご確認ください（☞10ページ）。
	「ピピピピピ」	• 登録操作が間違っているとき。
	「プーッ・プーッ・プーッ（話し中の音）」	• 充電台の電源コードが抜けて通話ボタンの ランプが点灯していませんか？ ➔充電台を電源コンセントにつないでください。
		• 親機の受話器がはずれていませんか？

アルファベットで始まる表示が出たら、次ページをご覧ください。

自己診断表示（アルファベットで始まる表示が出たら）

本機には自己診断表示がついています。これは本機が正しく動作していないときに、表示窓にアルファベットと数字の表示でお知らせする機能です。表示によって、本機の状態がわかるようになっています。
以下の表をご覧になり、各表示にあった対応をしてください。

表示	原因	対応のしかた
C42 FULL	• 親機・子機の電話帳のメモリー満杯時にさらに登録しようとした。	不要な電話番号を消去してください（☞54ページ）。
	• おことわり先が20件登録されているときにさらにおことわり先登録を行おうとした。	不要なおことわり先を消去してください（☞43ページ）。
	• 未消去用件が多く残っているときに応答メッセージ録音や呼び出し音声録音を行った。	不要な用件を消去してください（☞100ページ）。
	• 未消去用件が多く残っているときに留守設定を行った。	不要な用件を消去してください（☞100ページ）。
	• 録音用のメモリーが満杯時に応答メッセージ録音、または呼び出し音声録音を行った。	不要な用件を消去してください（☞100ページ）。
	• 録音用のメモリーが満杯時に留守設定、または転送設定を行った。	不要な用件を消去してください（☞100ページ）。
C43	• 子機が使用中のため、親機の操作ができない。	子機の通話を終えてから操作してください。
C51	• 制限時間内に有効な操作をしなかった。	操作をやり直してください。
	• 登録できる桁数より、多くまたは少なく入れようとした。	正しい桁数で登録してください。
C52	• 優先着信または子機プライベート着信設定済みのときに、別の子機で設定しようとした。	設定済み子機の設定を解除してから操作してください。
C53	• 現在時刻を設定せずにモーニングコールの時刻を設定しようとした。	日時・時刻を設定してから、やり直してください（☞15ページ）。
C61	• 登録時、無効なボタンを押した。	正しいボタンを押し直してください。
	• 未再生用件が残っているときに消去しようとした。	用件をすべて再生してください。
C62	• 暗証番号が未登録のまま転送設定を行った。	暗証番号を登録してから操作してください（☞101ページ）。
	• 転送先電話番号を登録せずに転送設定を行った。	転送先を登録してから操作してください（☞106ページ）。
C72	• 電話回線がとだえた。	電話回線コードが正しく接続されているか確認してください（☞12ページ）。
		電話回線コードに重いものがのっていたり、何かにはさまれていたりしないか確認してください。
	• 受話器が上がりっぱなしになっている。	受話器を戻してしばらくお待ちください。
C73	• 子機でベルが鳴る前に出ませんでしたか？	子機でベルが鳴ってから出てください。
	• 親機と離れ過ぎていたり、他の電化製品が近くにありませんか？	設置場所を確認してください（☞10、11ページ）。
	• 子機で着信データが正しく受信されなかった。	親機で着信データを確認してください。
C74	• FAX、モデム、ISDN回線のターミナルアダプターをつないでいませんか？	これらの機器をつないでいると、ナンバー・ディスプレイが正しく受信されない場合があります。FAX、モデム、ターミナルアダプターのメーカーにお問い合わせください。
	• ナンバー・ディスプレイが正しく受信されなかった。	回線事情や雑音によってナンバー・ディスプレイの情報が正しく受信できなかったときは、電話番号が表示されません。この場合、「C74」という表示が出ますが、本機は正常に動作しているので、そのままお使いいただけます。
		この表示が頻繁に出るときは、お買い上げ店かサービス窓口にご相談ください。
E01	• 故障	お買い上げ店かサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

機器名	SPP-C500またはSPP-C500PG
適合認定番号	親機の底面に記載
ダイヤル方式	回転ダイヤル回線/プッシュホン回線切り換え可能
付属品	受話器（1個） 受話器コード（1本） 電話回線コード（長さ2m）（1本） 電源アダプターAC-T34（長さ1.8m）（1本） 親機壁かけ用ネジ（2本） バッテリーパック（充電式ニカド電池）BP-T50（子機用）（SPP-C500:1個、SPP-C500PG:2個） 子機（SPP-C500:1台、SPP-C500PG:2台） 充電台（SPP-C500:1台、SPP-C500PG:2台） 充電台壁かけ用ネジ（SPP-C500:2本、SPP-C500PG:4本） α-ALPHA5Liteご利用申込書（1部） α-ALPHA5Liteご使用の手引き（1部） 取扱説明書（1部） 保証書（1部） ソニーご相談窓口のご案内（1部）

親機

電源	付属の電源アダプターAC-T34使用 （入力：AC100V、10VA、50/60Hz 出力：DC9V）
消費電力	着信待機時：約1.5W 動作時最大：約3W
最大外形寸法	約176×83×200mm （幅/高さ/奥行き、アンテナ含む）
質量	約640g
保留メロディー	「主よ、人の望みの喜びを」

子機

電源	バッテリーパック（充電式ニカド電池） （BP-T50、DC2.4V、600mAh、Ni-Cd）
充電時間	約10時間
バッテリーの使用可能時間	待ち受け時：約240時間（約10日間） 連続通話時：約6時間
最大外形寸法	約49×186×41mm（幅/高さ/奥行き）
質量	約170g（付属のバッテリーを含む）

充電台

電源	AC100V
最大外形寸法	約67×61×99mm（幅/高さ/奥行き）
質量	約150g

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売り品

- 増設用子機SPP-HC700
  別売りの子機を増やすことができます（SPP-C500にはあと2台、SPP-C500PGにはあと1台）。
  －SPP-C500/C500PGの子機として増設できるのは、上記の指定された別売りの増設用子機のみです。ソニー製の他の電話機に付属の子機はお使いになれません。
  －子機を増設してお使いいただくためには、ID コードの登録が必要です。コードレス子機をお買い上げの際、必ず親機と付属の子機をご持参のうえ、お買い上げ店でIDコードを登録していただくよう、お願いいたします（IDコードの登録は有料となります）。
- バッテリーパックBP-T50
- 壁かけ用アダプターTL-E96

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件に従って修理をいたします。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、通話などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、電話機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低7年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては、修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- **型名：**SPP-C500/500PG
- **故障の状態：できるだけ詳しく**
- **お買い上げ年月日**

アフターサービスを依頼するときは

必ず親機とすべての子機・充電台（増設子機を含む）とバッテリーをお持ちください。すべてそろっていないと修理できないことがあります。

各部の名前

各部の説明は（　）内のページをご覧ください

親機

内線／名のらせボタン
(☞24、27、88)

携帯転送A/Bボタン
(☞106、108)

留守ボタン(赤)(☞94、95)

スピーカー(☞29)

発信／着信データボタン(☞35、
40、49、50、52、79)

名のってる／通話優先ボタン
(☞67、78、82)

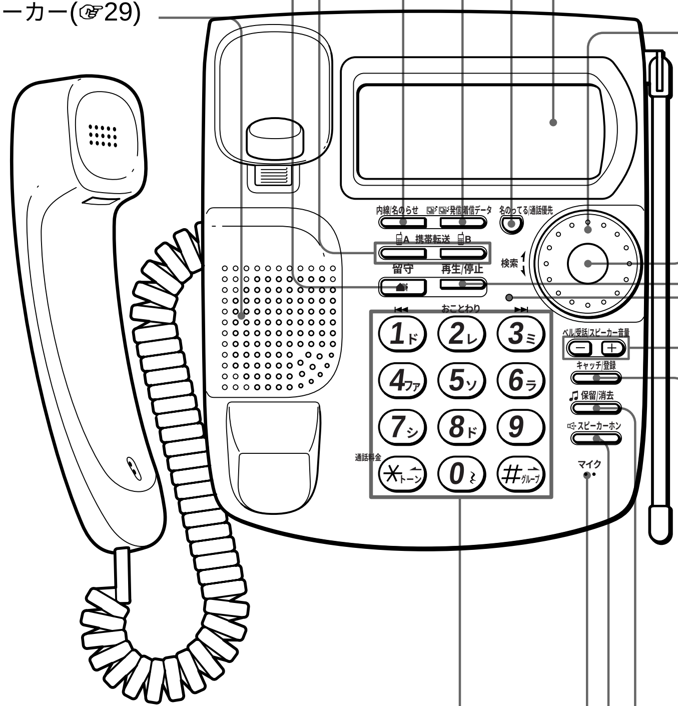
表示窓(☞133)

ジョグダイヤル
(☞35、46、56、79)

ジョグボタン(☞35、46)

再生／停止ボタン(☞38、43、74、
95、100)

ALPHAランプ(☞113、115、117)
赤点灯：自宅の電話番号未登録
緑点灯：α-ALPHA5Lite利用可能



ベル／受話／スピーカー音量－/＋
ボタン(☞20、22、29、91)

キャッチ／登録ボタン
(☞8、78、82)

保留／消去ボタン(☞23、38、43、
53、100)

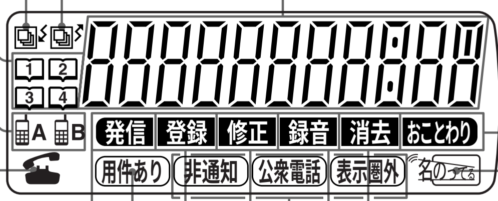
スピーカーホンボタン(緑)(☞29、
88)

マイク(☞29)

ダイヤルボタン(☞20)
- (＊)(トーン/通話料金)ボタン
(☞9、57、83、118)
- (#)(グループ)ボタン(☞8、47、57)
- (1)(|◀◀)ボタン(☞96)
- (3)(▶▶|)ボタン(☞96)
- (2)(おことわり)ボタン(☞41、42、43)
- (1)～(8)(音符)ボタン(☞85)
- (0)(𝄽休符)ボタン(☞85)

その他

表示窓



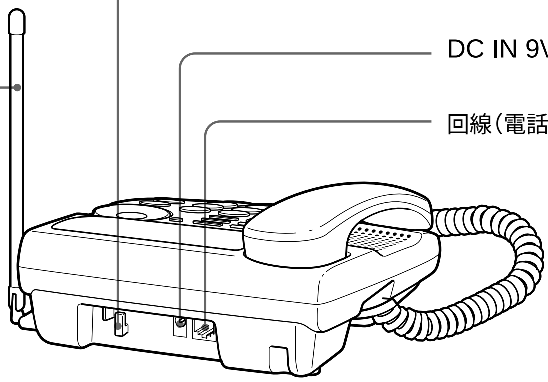
- 発信データ履歴を使用しているときに点灯(☞52、79)
- 着信データ履歴を使用しているときに点灯(☞35、50)
- 電話帳機能を使用しているときに、使用している電話帳のグループが点灯(☞46〜58、71〜75)
- 転送設定されているときに点灯(☞108)
- 通話中、または受話器を上げているときに点灯
- 発信操作中に点灯
- 留守番電話に用件が録音されているときに点灯(☞36、38）
- 登録操作中に点灯
- 修正操作中に点灯

次の表示が出ます
- 日付、現在時刻（操作をしていないとき）
- ダイヤルしている電話番号
- 着信データ履歴(☞35、50)
- 発信データ履歴(☞52、79)
- おおよその通話時間
- 通話料金(☞118)
- 登録された電話番号／アドレス番号(☞46、56)
- 内線・取り次ぎ情報(☞24)
- 自己診断表示(☞129)

- ナンバー・ディスプレイのおことわり機能を使うときに点灯(☞40〜42)
- 音声呼び出し機能が設定されているときに点灯(☞67)
- 消去操作中に点灯
- 録音操作中に点灯
- ナンバー・ディスプレイで番号表示できない理由(☞32)

記号は以下のように表示されます。

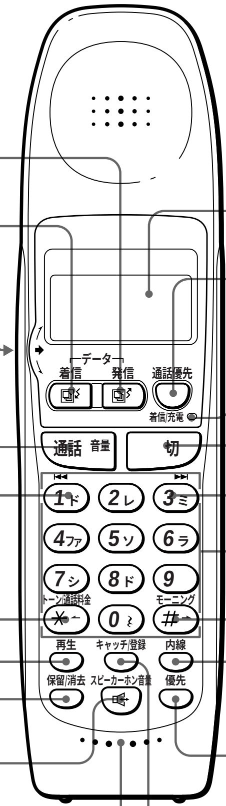
記号	#	⚹（トーン）	ポーズ
表示			



- コードかけ(☞12)
- DC IN 9V(電源接続)端子(☞12)
- 回線（電話回線接続）端子(☞12)
- アンテナ(☞12)

その他

子機



発信データボタン(☞52、79)
着信データボタン(☞35､50)
ジョグダイヤル(☞35､46､56､79)
通話ボタン(青)(☞21､22､24､26､27､30､89)
音量ボタン(☞21､22)
①(⏮)ボタン(☞96)
⊛ボタン(☞57)
トーン／通話料金ボタン
(☞83､118)
再生ボタン(☞96)
保留／消去ボタン (☞23､53)
(スピーカーホン音量)ボタン
(緑) (☞30､31)
マイク(☞31､65)

表示窓(☞下記)
通話優先ボタン(☞78､82)
着信／充電ランプ(☞18)
切ボタン(赤)(☞21､22)
③(⏭)ボタン(☞96)
ダイヤルボタン(☞21､85)
#ボタン(☞57)
モーニングボタン(☞86､87)
内線ボタン(☞25､26､27)
優先ボタン(☞70､90)
キャッチ/登録ボタン
(☞9､78､82)

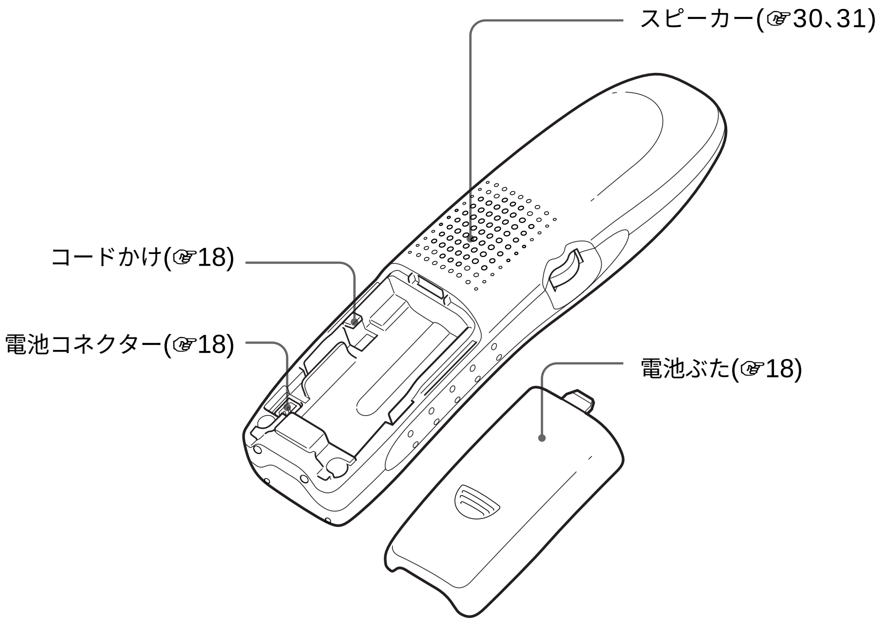
表示窓



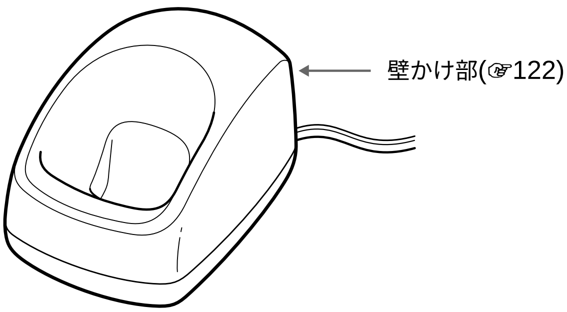
修正操作中に点灯
着信データ履歴を使用しているときに点灯(☞35､50)
発信操作中に点灯
登録操作中に点灯
ナンバー・ディスプレイで番号表示できない理由(☞33)

電話帳機能を使用しているときに点灯(☞46～58)
録音操作中に点灯
発信データ履歴を使用しているときに点灯(☞52､79)
消去操作中に点灯
バッテリーが消耗したときに点灯(☞19)
優先着信で電話がかかってきたときに点灯(☞90)

次の表示が出ます
- ダイヤルしている電話番号
- 着信データ履歴(☞35､50)
- 発信データ履歴(☞52､79)
- おおよその通話時間
- 通話料金(☞118)
- 登録された電話番号／アドレス番号(☞46､56)
- 内線・取り次ぎ情報(☞25､26)
- モーニングコール設定／設定された時間(☞86､87)
- 自己診断表示(☞129)



子機用充電台



索引

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

A~Z

ソニー株式会社〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル …… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は … 03-5448-3311
● Fax …… 0466-31-2595
受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

保証期間中のお取り扱いと技術的なお問い合わせはテクニカルインフォメーションセンターへ
• 0120-51-7411

Sony online http://www.world.sony.com/
「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

Printed in Japan